元総社蒼海遺跡群（24）

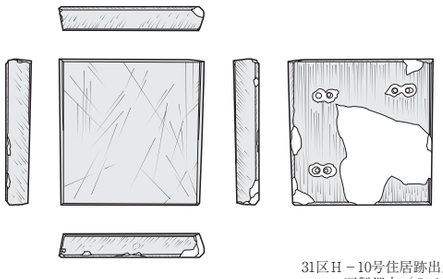
前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

２００９．３

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

元総社蒼海遺跡群（24）

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

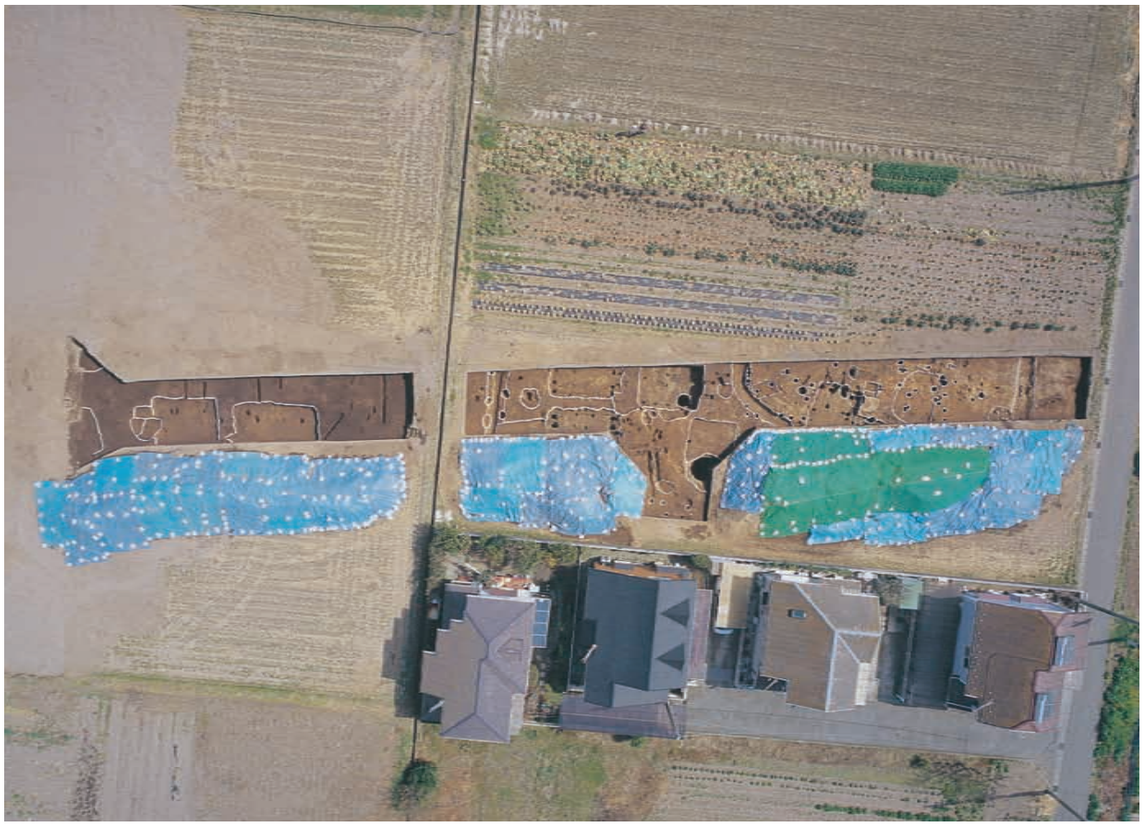


31区Ｈ－10号住居跡出土の
石製巡方（Ｓ=1/2）

２００９．３

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

1　31区全景（中央・東側、下が南）



2　32区全景（下が西）

3　31区Ｊ－２号住居跡全景（南東より）

4　31区Ｈ－７号住居跡出土遺物

はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、２万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所に人々の息吹を感ぜられる歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野の国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群（24）は古代上野国の中枢地域の調査であります。上野国府推定区域に隣接することから、調査成果に多くの注目を集めております。今回の調査では、国府そのものに関連する遺構の検出はかないませんでしたが、古墳時代から平安時代にいたる多くの竪穴式住居跡を検出しました。今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果といえます。また、寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成 21 年 3 月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

団　長　　**依　田　三次郎**

例　　言

1．本報告書は、前橋市都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群（24）発掘調査報告書である。

2．調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。

3．発掘調査の要項は次のとおりである。

調　査　場　所	群馬県前橋市元総社町 1715-2 番地、1574 番地ほか
遺　跡　コ　ー　ド	20A130-24
発　掘　調　査　期　間	平成 21 年 1 月 6 日～平成 21 年 2 月 12 日
整理・報告書作成期間	平成 21 年 2 月 13 日～平成 21 年 3 月 19 日
発　掘　担　当　者	前田和昭・関　健吾（技研測量設計株式会社）
整　理　担　当　者	前田和昭

4．本書の編集は前田が行った。原稿執筆はⅠを山下歳信（前橋市教育委員会）、Ⅱを佐野良平（技研測量設計株式会社）、他を前田が担当した。

5．発掘調査・整理作業に関わった方々は次のとおりである。

宇佐美義春　高林真人　佐野良平　山田誠司　中村岳彦　大川明子　土屋一未　坂田裕之（以上、調査員）

飯塚常子　石田てい子　井上　等　今井忠勇　内嶋勝義　生方秀子　大久保修二　大和田幸宏　岡野　茂　片亀　登

神谷英孝　金田マスミ　木村　哲　木村広美　木暮孝一　小阪定一　後藤孝文　小林清次　斎藤英雄　佐藤和子

品田理恵　篠田貞子　島田圭子　下田順子　関口ケサミ　関根卓美　曽我部鉄一　高野繁雄　高橋鉱一　高山　愛

瀧澤佳子　田辺信治　都丸さち子　都丸幸子　鳥山浪江　永田　薫　永田光子　南雲誠一　萩原廣子　平岩丈夫

平方廣樹　平方正廣　福島禄子　藤田　保　堀越晴子　町田花子　町田英子　間庭啓治　水野さかゑ　三原一重

望月百合子　山根一郎（以上、作業員・整理補助員）

6．発掘調査で出土した遺物および、図面等の資料は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

7．以下の機関に有益な御指導、御協力を賜った。記して謝意を表します。（順不同、敬称略）

山下工業株式会社　株式会社測研　井上測量設計株式会社

凡　　例

1．挿図中に使用した北は、座標北である。

2．挿図に国土地理院発行 1/200,000『宇都宮』『長野』、1/25,000『前橋』、前橋市発行 1/2,500 都市計画図を使用した。

3．遺構、および遺構施設の略称は次のとおりである。

Ｊ･･･縄文時代の竪穴住居跡　Ｈ･･･古墳・奈良・平安時代の竪穴住居跡　Ｔ･･･竪穴状遺構　Ｗ･･･溝跡

ＪＤ･･･縄文土坑　Ｄ･･･土坑　Ｉ･･･井戸跡　Ｐ･･･ピット　Ｘ･･･性格不明遺構

4．土層および遺物の色調は『新版標準土色帖』（農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修）に拠る。

5．遺構・遺物実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。その他、各図スケールを参照されたい。

遺構　住居跡・溝跡・井戸跡・土坑･･･ 1/60、1/80　竈･･･ 1/30　全体図･･･ 1/200

遺物　土器・石製品･･･ 1/3　瓦･･･ 1/6

6．トーン ▨ は地山、太線は遺構面を示す。

7．計測値については（　）は現存値、[　] は復元値を表す。

8．遺物実測図、遺構図のトーン表現は以下の通りである。

須恵器（還元焔焼成）　灰釉陶器　石器磨面　灰・焼土・粘土

9．主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。As-B（浅間Ｂ軽石：供給火山・浅間山、1108 年）、Hr-FP（榛名二ッ岳伊香保テフラ：供給火山・榛名山、６世紀中葉）、Hr-FA（榛名二ッ岳渋川テフラ：供給火山・榛名山、６世紀初頭）、As-C（浅間Ｃ軽石：供給火山・浅間山、４世紀前半～中葉）

目　　次

口絵１
口絵２
序
例言・凡例
Ⅰ　調査に至る経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
Ⅱ　遺跡の立地と環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
Ⅲ　調査の方針と経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
Ⅳ　基本層序・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
Ⅴ　検出された遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
Ⅵ　まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

挿図目次

Fig.１　遺跡の位置
Fig.２　前橋の地形・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
Fig.３　周辺遺跡図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
Fig.４　基本層序・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
Fig.５　元総社蒼海遺跡群位置図とグリッド設定図・・・・・・・・６
FIg.６　調査区全体図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７・８
Fig.７　元総社蒼海遺跡群の竪穴住居跡時期別分布図・・・・・・・29
Fig.８　31区Ｊ－１・２号住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・・31
Fig.９　31区Ｈ－１・２号住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・・32
Fig.10　31区Ｈ－３～５・８号住居跡・・・・・・・・・・・・・・・33
Fig.11　31区Ｈ－６・７・11号住居跡、Ｄ－２・３号土坑・・・・・34
Fig.12　31区Ｈ－９・10・12号住居跡・・・・・・・・・・・・・・・35
FIg.13　31区Ｈ－13・14・17号住居跡、Ｄ－12・13号土坑・・・・・36
Fig.14　31区Ｈ－15・16・18号住居跡、Ｄ－11・18号土坑・・・・・37
Fig.15　31区Ｈ－19～22号住居跡、Ｄ－19～22号土坑・・・・・・・38
Fig.16　31区Ｈ－23～25号住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・・39
FIg.17　31区Ｈ－26・27号住居跡、Ｔ－１・２号竪穴状遺構・・・・40
FIg.18　31区Ｔ－３～５号竪穴状遺構、Ｄ－10号土坑・・・・・・・41
FIg.19　31区Ｗ－１号溝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
FIg.20　31区Ｗ－２～４号溝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
FIg.21　31区Ｗ－５～７号溝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
Fig.22　31区Ｗ－８号溝、ＪＤ－１～５号土坑・・・・・・・・・・45
Fig.23　31区ＪＤ－６・７、Ｄ－４～９・14～23号土坑・・・・・・46
Fig.24　31区Ｐ－１～22号ピット、32区Ｈ－１・２号住居跡・・・・47
Fig.25　32区Ｈ－３・５・７号住居跡・・・・・・・・・・・・・・・48
Fig.26　32区Ｈ－４号住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
Fig.27　32区Ｈ－６・10号住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・・50
Fig.28　32区Ｈ－８号住居跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
Fig.29　32区Ｈ－９号住居跡、Ｗ－１号溝・・・・・・・・・・・・52
Fig.30　32区Ｈ－11号住居跡、Ｉ－１・２号井戸・・・・・・・・・53
Fig.31　32区Ｈ－12号住居跡、Ｄ－10・11号土坑・・・・・・54
Fig.32　32区Ｔ－１号竪穴状遺構、Ｗ－２・３号溝・・・・・55
Fig.33　32区Ｘ－１号跡、Ｄ－１～９・12・13号土坑、
　　Ｐ－18・19号ピット・・・・・・・・・・・・・・・・・56
Fig.34　32区Ｄ－14～20号土坑、Ｐ－１～15号ピット・・・・57
Fig.35　32区Ｐ－16・17・20～45号ピット・・・・・・・・・58
Fig.36　32区Ｐ－46～56号ピット・・・・・・・・・・・・・・59
Fig.37　31区Ｊ－１・２号住居跡出土遺物・・・・・・・・・60
FIg.38　31区Ｊ－２号住居跡、ＪＤ－１号土坑出土遺物・・・61
Fig.39　31区ＪＤ－１・７号土坑、
　　Ｈ－１～３号住居跡出土遺物・・・・・・・・・・・62
Fig.40　31区Ｈ４～７号住居跡出土遺物・・・・・・・・・・63
Fig.41　31区Ｈ－７・８号住居跡出土遺物・・・・・・・・・64
Fig.42　31区Ｈ－９・10・12号住居跡出土遺物・・・・・・・65
Fig.43　31区Ｈ－12号住居跡出土遺物・・・・・・・・・・・66
Fig.44　31区Ｈ－12・13号住居跡出土遺物・・・・・・・・・67
Fig.45　31区Ｈ－14・16号住居跡出土遺物・・・・・・・・・68
FIg.46　31区Ｈ－17～19・21号住居跡出土遺物・・・・・・・69
Fig.47　31区Ｈ－22号住居跡出土遺物・・・・・・・・・・・70
Fig.48　31区Ｈ－23・24号住居跡出土遺物・・・・・・・・・71
Fig.49　31区Ｈ－25～27号住居跡、
　　Ｔ－１・３・４・号竪穴状遺構、
　　Ｗ－１～３号溝、Ｄ－14号土坑、
　　Ｐ－２号ピット出土遺物・・・・・・・・・・・・・・72
Fig,50　31区遺構外出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・73
Fig.51　31区遺構外、32区Ｈ－１・２号住居跡出土遺物・・・74
Fig.52　32区Ｈ－３～６・８・10・11・12号住居跡、
　　Ｉ－１号井戸出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・75
Fig.53　32区Ｔ－１号竪穴状遺構、Ｗ－２号溝、Ｉ－２号井戸、
　　Ｘ－１号、Ｄ－12・17号土坑、遺構外出土遺物・・・76

表目次

Tab.１　元総社蒼海遺跡群周辺遺跡概要一覧表・・・・・・・・・・３
Tab.２　調査経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
Tab.３　土坑・ピット計測表・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
Tab.４　出土遺物観察表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

写真図版目次

PL.１　31区調査区全景
PL.２　31区調査区全景
PL.３　31区Ｊ－１・２、Ｈ－１号住居跡
PL.４　31区Ｈ－１～８号住居跡
PL.５　31区Ｈ－８～12号住居跡
PL.６　31区Ｈ－12～18号住居跡
PL.７　31区Ｈ－19～24号住居跡
PL.８　31区Ｈ－24～27号住居跡、Ｄ－24号土坑、Ｗ－１・７号溝
PL.９　Ｗ－７号溝、Ｐ－１～５号ピット、ＪＤ－４～７号土坑
　　調査風景
PL.10　32区調査区全景
PL.11　32区Ｈ－１～８号住居跡
PL.12　32区Ｈ－９～12号住居跡、Ｗ－１・２号溝、
　　Ｉ－２号井戸、調査風景
PL.13　出土遺物
PL.14　出土遺物
PL.15　出土遺物
PL.16　出土遺物
PL.17　出土遺物
PL.18　出土遺物
PL.19　出土遺物
PL.20　出土遺物

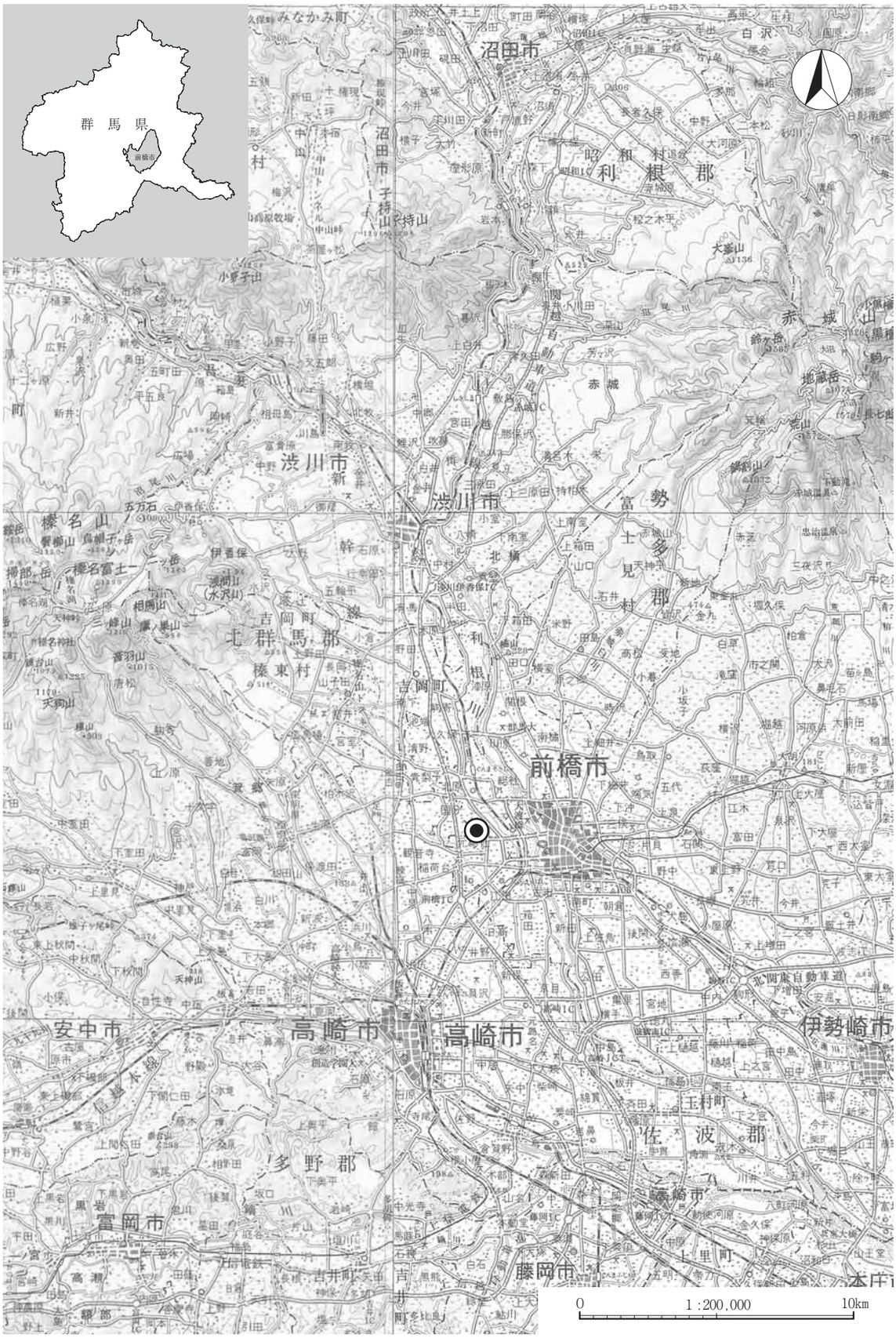

群 馬 県
前橋市
沼田市
昭和村
利根郡
赤城山
渋川市
富士見村
富士見
榛名山
榛名富士
吉岡町
北群馬郡
榛東村
前橋市
高崎市
安中市
伊勢崎市
玉村町
佐波郡
多野郡
富岡市
藤岡市
上里町
0
1:200,000
10km

Fig. 1　遺跡の位置

Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、９年目にあたる。本調査地は、周辺で埋蔵文化財調査が長年に亘って行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

平成 20 年 4 月 1 日付けで、前橋市長高木政夫（区画整理第二課）より前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。教育委員会ではこれを受け、内部で組織する前橋市埋蔵文化財発掘調査団へ調査実施の協議を行った。調査団では直営による本調査の実施が困難であるため、民間調査機関に調査業務を委託したいと回答した。民間調査機関の導入については、依頼者である前橋市の合意も得られ、平成 20 年 12 月 24 日付けで前橋市埋蔵文化財発掘調査団と前橋市との間で埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結した。

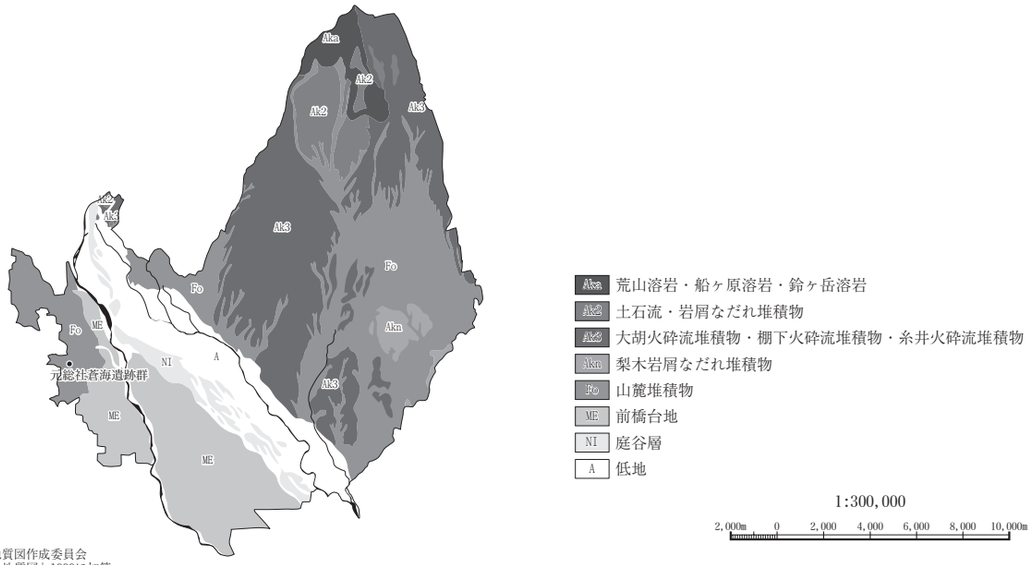
それを受けて調査団は民間調査機関である技研測量設計株式会社と 12 月 26 日付けで業務委託契約を締結し、平成 21 年 1 月 7 日より発掘調査を開始した。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群（24）」（遺跡コード：20 A 130 ― 24）の「元総社蒼海」は区画整理事業名を採用し、数字の「(24)」はすでに実施した調査と区別するために連番を付したものである。

Ⅱ　遺跡の立地と環境

１　遺跡の位置

本調査地は、前橋市街地から利根川を隔て、西へ約 3.6km の地点、前橋市元総社地内に所在し、西約 0.4 km には関越自動車道が南北に、南には国道 17 号、主要地方道前橋・群馬・高崎線が東西に、また東約 0.5km には市道大友・石倉線が南北にそれぞれ走っている。本調査地の立地する地形は、前橋台地上、榛名山麓を源にする牛池川、染谷川が開析し形成した細長い微高地との比高３～５ｍを測る。遺跡が立地する台地上は主として桑畑などの畠地として利用されているが、本遺跡地の所在する位置は南東に開く緩やかな谷地形を呈しており、水田として利用されていた。



新井房夫・群馬県地質図作成委員会
「群馬県10万分の１地質図」1999に加筆

Fig. 2　前橋の地形

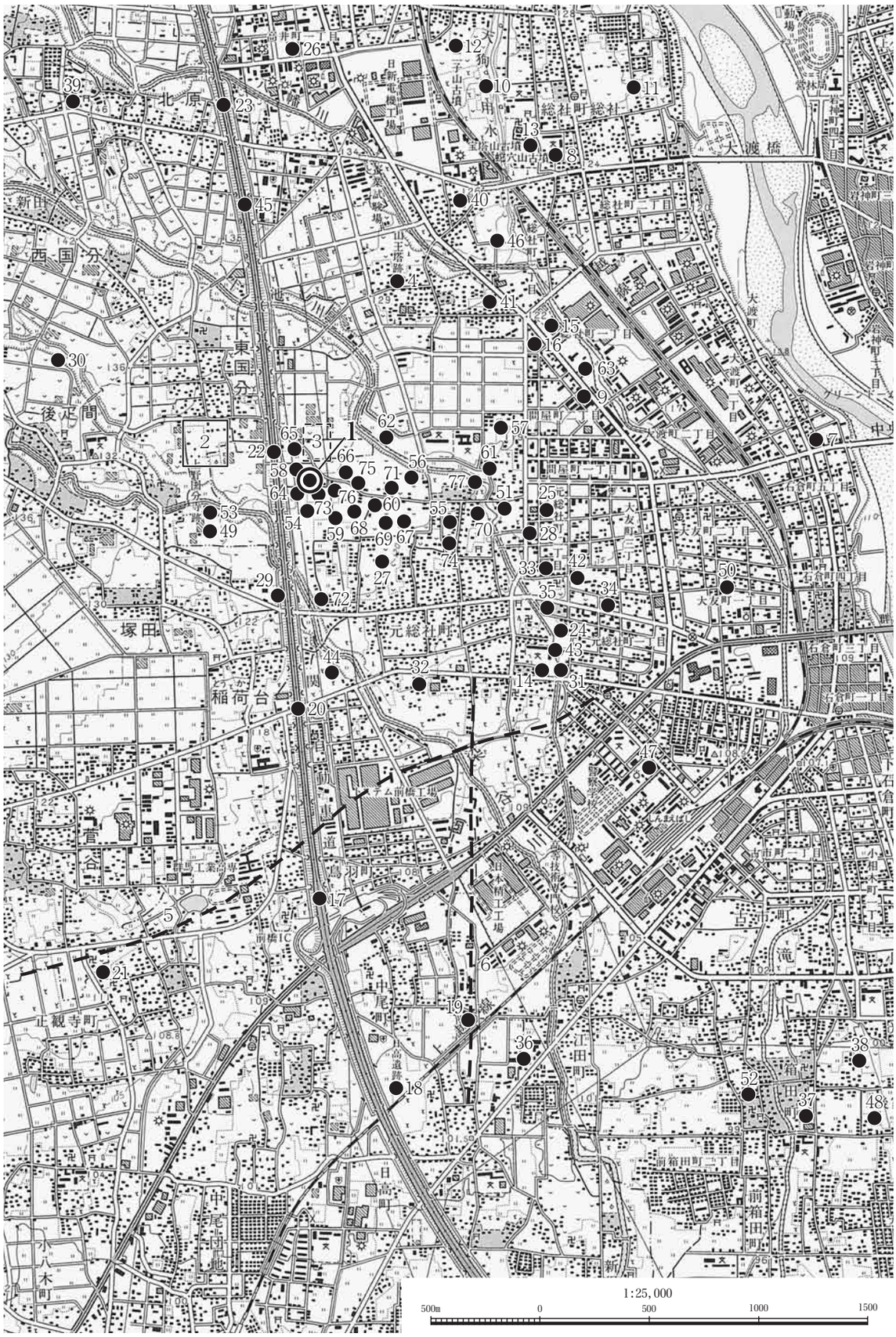


Fig.3　周辺遺跡図

2　歴史的環境

本遺跡が立地する元総社地域には上野国府推定地や上野国分寺を中心に連綿と遺跡が広がる地域である。周辺では関越自動車道建設や区画整理事業等に伴う発掘調査が行われており、多くの遺物・遺構が確認されている。本遺跡周辺地域における時代ごとの遺跡の概要は以下の通りである。

概期の遺跡は八幡川右岸の微高地上に産業道路東（15）・産業道路西（16）・総社閑泉明神北Ⅲ遺跡（61）、本遺跡の立地する牛池川右岸台地上に上野国分僧寺･尼寺中間地域（22）･元総社小見Ⅲ遺跡（59）などが挙げられる。

弥生時代に遺跡としては日高遺跡（18）・（19）、上野国分僧寺・尼寺中間地域（22）、正観寺遺跡（21）等があるがその分布は散漫である。

古墳時代になると本遺跡周辺の区域は県内でも中心的な地域であったことが窺われる。それを示すものとして総社古墳群が上げられ、古墳時代後期･終末期に至り、王山古墳（７）、二子山古墳（12）、愛宕山古墳（10）、宝塔山古墳（13）、蛇穴山古墳（８）等の首長墓が多数築造された。

奈良・平安時代に至ると、本遺跡周辺は上野国府、国分寺（２）、国分尼寺（３）、山王廃寺（４）の建設に示されるように古代の政治・経済・文化の中心地として再編成される。

上野国府は本遺跡の南東の区域におよそ 900 m四方に推定され、関連遺跡として元総社小学校校庭遺跡（14）、元総社寺田遺跡（43）、元総社宅地遺跡（55）などがある。また元総社明神遺跡（24）では南北方向の溝跡、閑泉樋遺跡（25）では東西方向の大溝が確認され、国府域の東外郭線が想定された。

国分寺は昭和 55 年以降の調査により、主要伽藍の礎石、築垣、堀等が確認されている。国分尼寺は昭和 44・45 年のトレンチ調査により伽藍配置が推定され、その後平成 12 年の前橋市埋蔵文化財発掘調査団の確認調査により、東南隅と西南隅の築垣、それと平行する溝跡や道路状遺構が確認された。関連遺跡として中尾遺跡（17）、鳥羽遺跡（20）、上野国分僧寺・尼寺中間地域（22）などが挙げられる。

山王廃寺は昭和３年に日枝神社境内が「山王塔址」として国指定史跡となり、その後昭和 49 ～ 56 年にかけて７次にわたる本格的な発掘調査が行われた。この調査で金堂の検出および「放光寺」箆書の平瓦出土により山王廃寺が「山ノ上碑」「上野交替実録帳」にみられる「放光寺」であることが有力視されるようになった。また平成９～ 11 年の調査でも土坑から大量の塑像が出土、平成 18・19 年の調査では北・東・西面の回廊を検出している。

また本遺跡の南約 1.5km にはＮ－ 64°－ Ｅ方向に東山道（国府ルート）が、日高遺跡（19）では幅約 4.5 mの推定日高道が国府方向へ延びると推定されている。これらは当時の交通網を物語る重要な遺構である。

室町時代になると上野国守護の上杉氏から上野国守護代に任命された長尾氏が永享元年（1429）に蒼海城を築き、これを本拠地とした。蒼海城は県内でも最古級の城郭に位置づけられ、縄張りは国府の掘割と関連深いと考えられている。本遺跡周辺には屋敷に堀を巡らした城館跡が数多く認められる。

Tab. 1　元総社蒼海遺跡群周辺遺跡概要一覧表

番号	遺跡名	調査年度	時代：主な遺構・出土遺物
1	元総社蒼海遺跡群（24）	2009	本遺跡
2	上野国分寺跡（県教委）	1980～88	奈良：金堂基壇・塔基壇
3	上野国分尼寺跡	（1999）	奈良：西南隅・東南隅築垣
4	山王廃寺跡	（1974）	奈良：塔心礎・根巻石・金堂基壇・講堂版築・回廊礎石
5	東山道（推定）	－	
6	日高道（推定）	－	
7	王山古墳	1972	古墳：前方後円墳（６Ｃ中）
8	蛇穴山古墳	1975	古墳：方墳（８Ｃ初）
9	稲荷山古墳	1988	古墳：円墳（６Ｃ後半）
10	愛宕山古墳	1996	古墳：円墳（７Ｃ初）
11	遠見山古墳	未調査	古墳：前方後円墳（５Ｃ後半）
12	総社二子山古墳	未調査	古墳：前方後円墳（６Ｃ末～７Ｃ初）
13	宝塔山古墳	未調査	古墳：方墳（７Ｃ末）
14	元総社小学校校庭遺跡	1962	平安：掘立柱建物跡・柱穴群・周濠跡
15	産業道路東遺跡	1966	縄文：住居跡

番号	遺跡名	調査年度	時代：主な遺構・出土遺物
16	産業道路西遺跡		縄文：住居跡
17	中尾遺跡（事業団）	1976	奈良・平安：住居跡
18	日高遺跡（事業団）	1977	弥生：水田跡・方形周溝墓・住居跡・木製農具、平安：条里制水田跡
19	日高遺跡（高崎市）	(1978)	弥生：水田跡
20	鳥羽遺跡（事業団）	1978～83	古墳：住居跡・鍛冶場跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡
21	正観寺遺跡Ⅰ～Ⅳ（高崎市）	1979～81	弥生：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
22	上野国分僧寺・尼寺中間地域（事業団）	1980～83	縄文：住居跡・配石遺構、弥生：住居跡・方形周溝墓、古墳：住居跡 奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：掘立柱建物跡・溝状遺構・道路状遺構
23	北原遺跡(群馬町)	1982	縄文：土坑・集石遺構、古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡
24	元総社明神遺跡Ⅰ～ⅩⅢ	1982～96	古墳：住居跡・水田跡・堀跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：住居跡・溝跡
25	閑泉樋遺跡	1983	奈良・平安：溝跡
26	柿木遺跡・Ⅱ遺跡	1983、1988	奈良・平安：住居跡・溝跡
27	草作遺跡	1984	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：井戸跡
28	閑泉樋南遺跡	1985	古墳：住居跡、奈良・平安：溝跡
29	塚田村東遺跡（群馬町）	1985	平安：住居跡
30	後疋間遺跡Ⅰ～Ⅲ（群馬町）	1985～87	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：道路状遺構
31	寺田遺跡	1986	平安：溝跡
32	天神遺跡・Ⅱ遺跡	1986、88	奈良・平安：住居跡
33	屋敷遺跡・Ⅱ遺跡	1986、95	古墳：住居跡、平安：住居跡、中世：堀跡・石敷遺構
34	堰越遺跡	1987	奈良・平安：住居跡・溝跡
35	大友屋敷Ⅱ・Ⅲ遺跡	1987	古墳：住居跡、平安：住居跡・溝跡・地下式土坑
36	勝呂遺跡	1987	平安：水田跡
37	村前遺跡	1987	平安：溝状遺構・水田跡
38	五反田遺跡	1987	平安：水田跡
39	熊野谷遺跡	1988	縄文：住居跡、平安：住居跡・溝跡
40	村東遺跡	1988	古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：堀跡
41	昌楽寺廻向遺跡・Ⅱ遺跡	1988	奈良・平安：住居跡
42	堰越Ⅱ遺跡	1988	平安：住居跡
43	元総社寺田遺跡Ⅰ～Ⅲ（事業団）	1988～91	古墳：水田跡・溝跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
39	熊野谷Ⅱ・Ⅲ遺跡	1989	平安：住居跡
44	弥勒遺跡・Ⅱ遺跡	1989、95	古墳：住居跡、平安：住居跡
45	国分境遺跡（事業団）	1990	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
45	国分境Ⅱ遺跡	1991	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
45	国分境Ⅲ遺跡（群馬町）	1991	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、中世：土壙墓
46	大屋敷遺跡Ⅰ～Ⅵ	1992～2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡・地下式土坑・溝跡
47	元総社稲葉遺跡	1993	縄文：土坑、平安：住居跡・瓦塔
48	五反田Ⅱ遺跡	1995	平安：水田跡
49	上野国分寺参道遺跡	1996	古墳：住居跡、平安：住居跡
50	大友宅地添遺跡	1998	平安：水田跡
51	総社閑泉明神北遺跡	1999	古墳：畠跡・水田跡・溝跡、中世：溝跡
52	箱田川西遺跡	1999	古墳：溝状遺構、平安：水田跡
53	元総社西川遺跡（事業団）	2000	古墳：住居跡・畠跡、奈良・平安：住居跡・溝跡
54	元総社小見遺跡	2000	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝・道路状遺構
55	元総社宅地遺跡１～23トレンチ	2000	古墳：住居跡、平安：住居跡・掘立柱建物跡・鍛冶場跡・溝跡・道路状遺構、中世：溝跡、近世：住居跡
56	元総社小見内Ⅲ遺跡	2001	古墳：住居跡・溝跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、中世：掘立柱建物跡・溝跡
57	総社甲稲荷塚大道西遺跡	2001	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：畠跡、近世：溝跡
57	総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺跡	2001	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、近世：溝跡
51	総社閑泉明神北Ⅱ遺跡	2001	古墳：住居跡・溝跡、平安：住居跡・溝跡
58	元総社小見Ⅱ遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：溝跡・道路状遺構
59	元総社小見Ⅲ遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡・道路状遺構
59	元総社草作Ⅴ遺跡	2002	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
60	元総社小見内Ⅳ遺跡	2002	奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡、中世：土壙墓
61	総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡	2002	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・畠跡・溝跡
61	総社閑泉明神北Ⅲ遺跡	2002	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
62	元総社北川遺跡（事業団）	2002～04	古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡・畠跡、中近世：掘立柱建物跡、水田跡・火葬墓
63	稲荷塚道東遺跡（事業団）	2003	古墳:住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡・竈構築材採掘痕・井戸跡
64	元総社小見Ⅳ遺跡	2003	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
65	元総社小見Ⅴ遺跡	2003	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：掘立柱建物跡
61	総社甲稲荷塚大道西Ⅳ遺跡	2003	古墳：畠跡、中世：畠跡
60	元総社小見内Ⅵ遺跡	2003	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：井戸跡
66	元総社小見内Ⅶ遺跡	2003	縄文：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：畠跡・溝跡
67	元総社小見内Ⅷ遺跡	2003	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：竪穴状遺構
64	元総社小見Ⅵ遺跡	2004	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
64	元総社小見Ⅶ遺跡	2004	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
68	元総社小見Ⅸ遺跡	2004	奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
68	元総社小見内Ⅸ遺跡	2004	奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
69	元総社小見内Ⅹ遺跡	2004	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・工房跡・粘度採掘坑、中世：溝跡・土壙墓
60	元総社蒼海遺跡群（２）、（６）	2004	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・井戸跡・鍛冶工房跡、中世：溝跡
70	総社閑泉明神北Ⅴ遺跡	2004	古墳：水田跡、奈良・平安：住居跡
66	元総社蒼海遺跡群（１）	2005	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡・土壙墓
60	元総社蒼海遺跡群（４）	2005	縄文：住居、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡
71	元総社蒼海遺跡群（５）	2005	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：周溝上遺構・土壙墓
70	元総社蒼海遺跡群（７）	2005	奈良・平安：住居跡・溝跡
72	元総社蒼海遺跡群（８）	2006	奈良・平安：住居跡
70	元総社蒼海遺跡群（９）・（10）	2006	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡・溝跡
69	元総社蒼海遺跡群（11）	2006	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：溝跡
56	元総社蒼海遺跡群（12）	2006	古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡、中世：井戸跡
73	元総社蒼海遺跡群（13）	2008	縄文：住居跡、古墳：住居跡、奈良・平安：住居跡・工房跡中・溝跡、中世：溝跡・土壙墓
74	元総社蒼海遺跡群（14）	2008	古墳：住居跡・水田跡、奈良・平安：住居跡・掘立柱建物跡、中世：溝跡・竪穴状遺構・井戸跡
75	元総社蒼海遺跡群（15）	2008	奈良・平安：住居跡・溝跡、中世：溝跡
73	元総社蒼海遺跡群（16）	2008	奈良・平安：住居跡・畠跡、中世：溝跡
76	元総社蒼海遺跡群（18）	2008	平安：住居跡
77	元総社蒼海遺跡群（19）	2008	古墳：小区画水田跡、中世：井戸跡

Ⅲ　調査の方針と経過

1　調査範囲と基本方針

委託調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業の道路予定地で、31 区（北側）、32 区（南側）合わせての総調査面積は約 1,665 ㎡である。グリッド座標については国家座標（日本測地系）X ＝ ＋ 44000.000 m・Y ＝ － 72200.000 を基点とする 4 m ピッチのものを使用し、経線を X、緯線を Y として、北西隅を基点に番付して呼称とした。

本遺跡 31 区の X 40・Y 105 の公共座標は以下のとおりである。

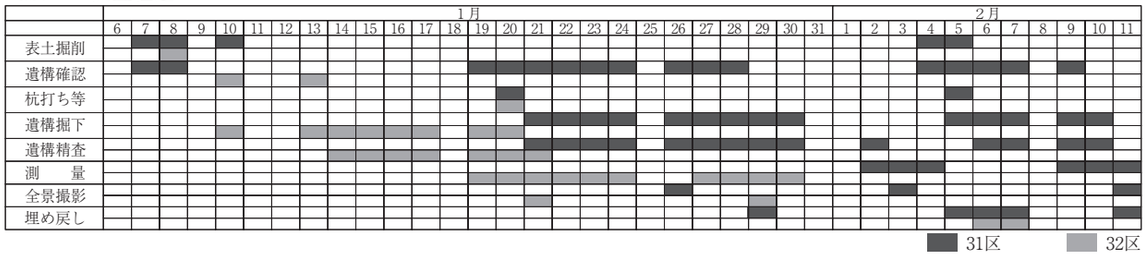
日本測地系	X ＝ ＋ 43580.000	Y ＝ － 72040.000
世界測地系	X ＝ ＋ 43934.9060	Y ＝ － 72331.7518

調査方法は表土掘削・遺構確認・方眼杭打ち等測量・遺構掘り下げ・遺構精査・測量および全景撮影の順序で行うこととし、状況に応じて両調査区を平行して作業を行った。図面作成についてはトータルステーションによる測量を主に使用し、遣り方測量を併用した。写真記録は 35mm モノクロ・リバーサル、デジタルカメラの 3 種類を使用し、ラジコンヘリコプターによる空中撮影も実施した。なお、整理作業にあたっては、ＤＴＰ的手法を用いて本文・図面・図版にわたるすべての作業をパーソナルコンピューターを使用したデジタル編集によって報告書を作成した。

2　調査経過

本遺跡の発掘調査は、平成 20 年 12 月 26 日付けで業務委託契約を締結し、現地調査は平成 21 年 1 月 6 日から 2 月 11 日まで行った。調査経過は以下のとおりである（Tab. 2）

Tab. 2　調査経過



Ⅳ　基本層序

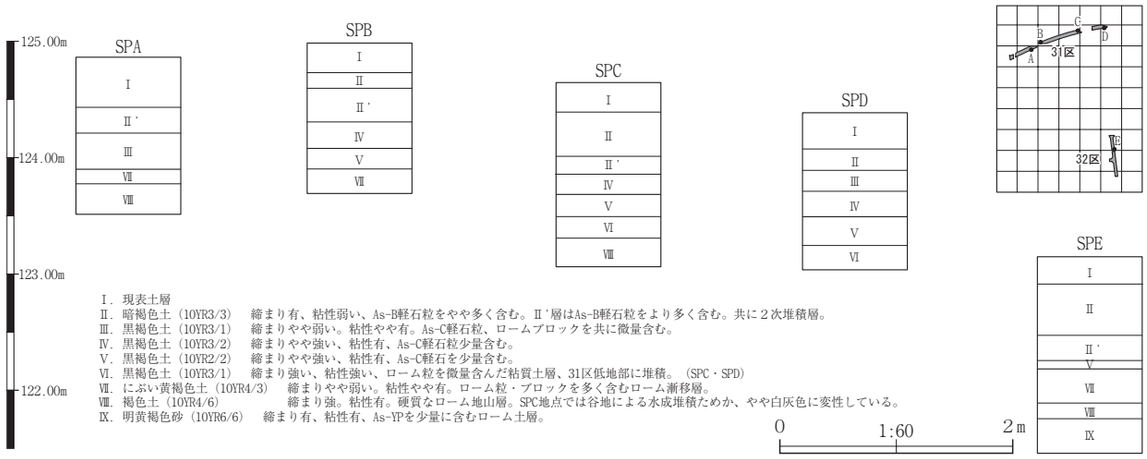


Fig. 4　基本層序

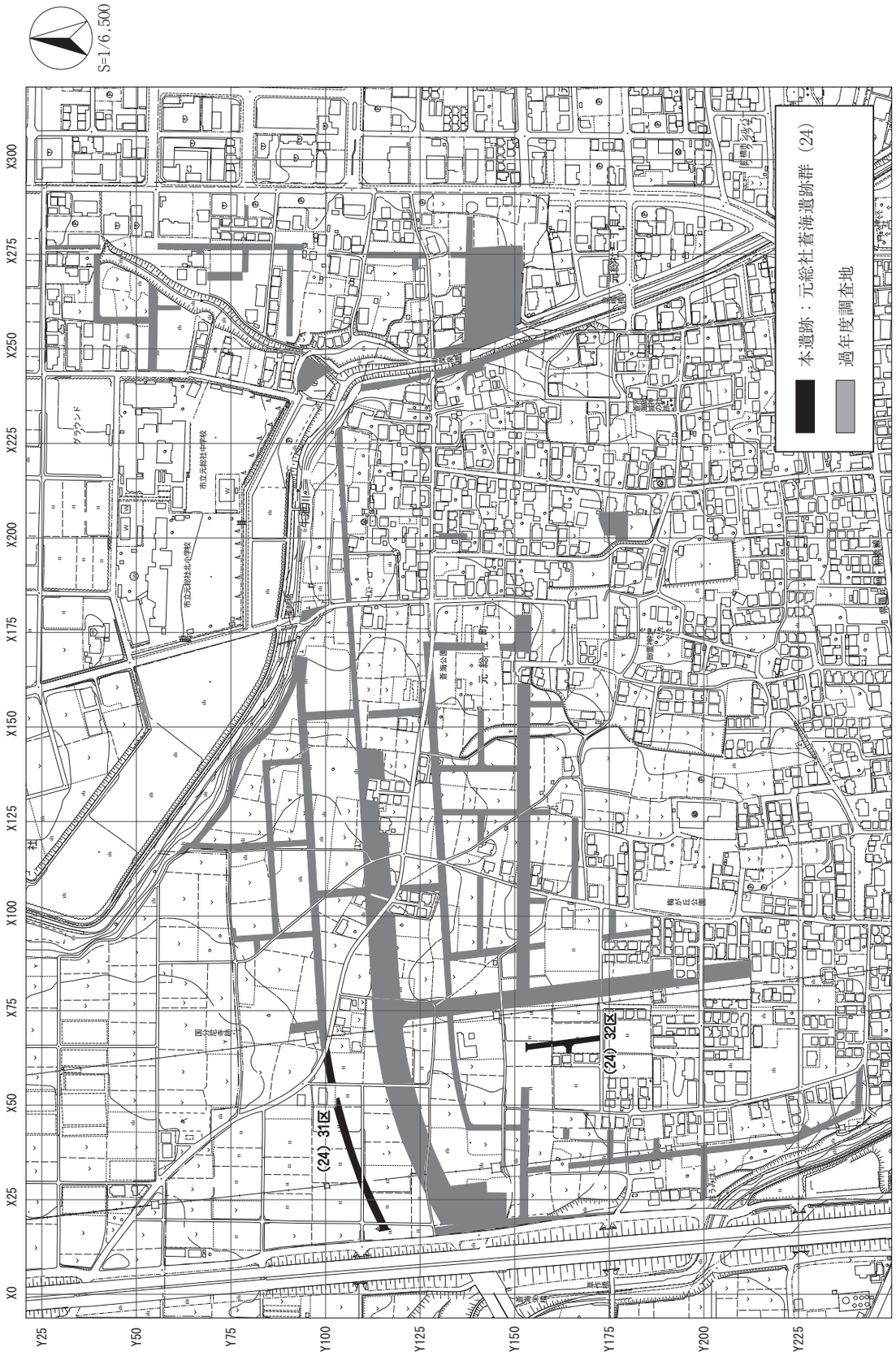
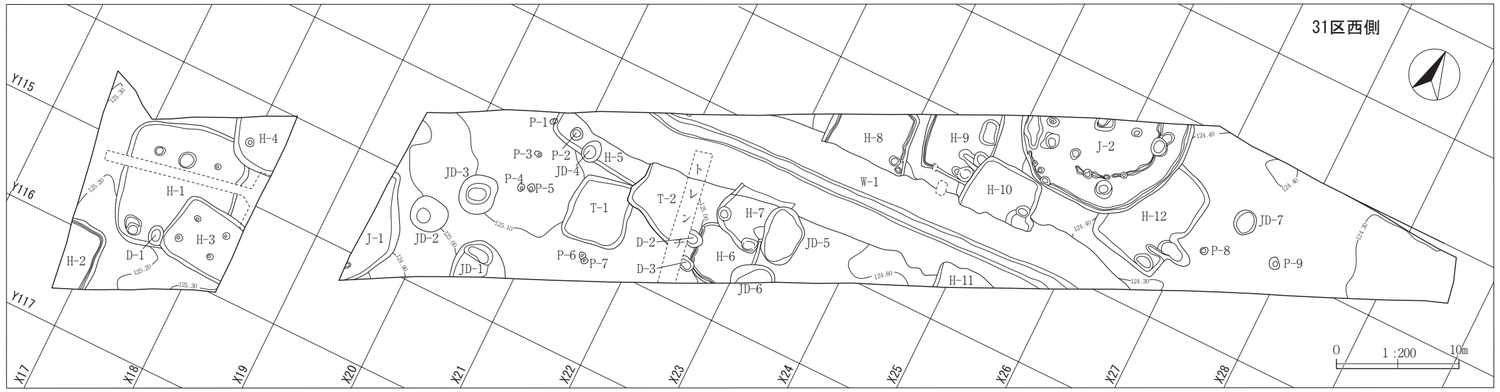
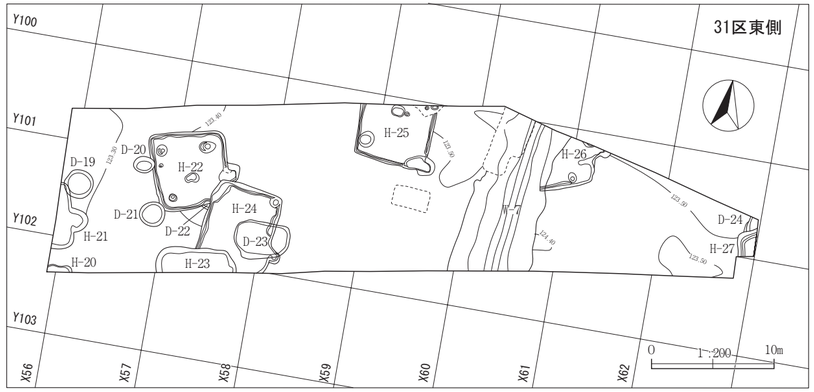
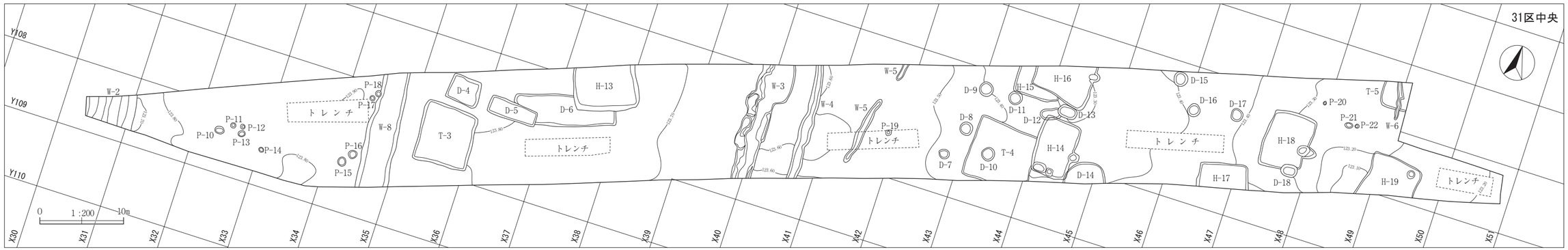


Fig. 5　元総社蒼海遺跡群位置図とグリッド設定図


31区西側
Y115
Y116
Y117
X17
X18
X19
X20
X21
X22
X23
X24
X25
X26
X27
X28
H-1
H-2
H-3
H-4
D-1
P-1
P-2
P-3
P-4
P-5
P-6
P-7
P-8
P-9
JD-1
JD-2
JD-3
JD-4
JD-5
JD-6
JD-7
J-1
J-2
T-1
T-2
D-2
D-3
H-5
H-6
H-7
H-8
H-9
H-10
H-11
H-12
W-1
トレンチ
0
1:200
10m


31区東側
Y100
Y101
Y102
Y103
X56
X57
X58
X59
X60
X61
X62
D-19
D-20
D-21
D-22
D-23
D-24
H-20
H-21
H-22
H-23
H-24
H-25
H-26
H-27
W-7
0
1:200
10m


31区中央
Y108
Y109
Y110
X30
X31
X32
X33
X34
X35
X36
X37
X38
X39
X40
X41
X42
X43
X44
X45
X46
X47
X48
X49
X50
X51
W-2
W-3
W-4
W-5
W-6
W-8
P-10
P-11
P-12
P-13
P-14
P-15
P-16
P-17
P-18
P-19
P-20
P-21
P-22
D-4
D-5
D-6
D-7
D-8
D-9
D-10
D-11
D-12
D-13
D-14
D-15
D-16
D-17
D-18
T-3
T-4
T-5
H-13
H-14
H-15
H-16
H-17
H-18
H-19
トレンチ
0
1:200
10m

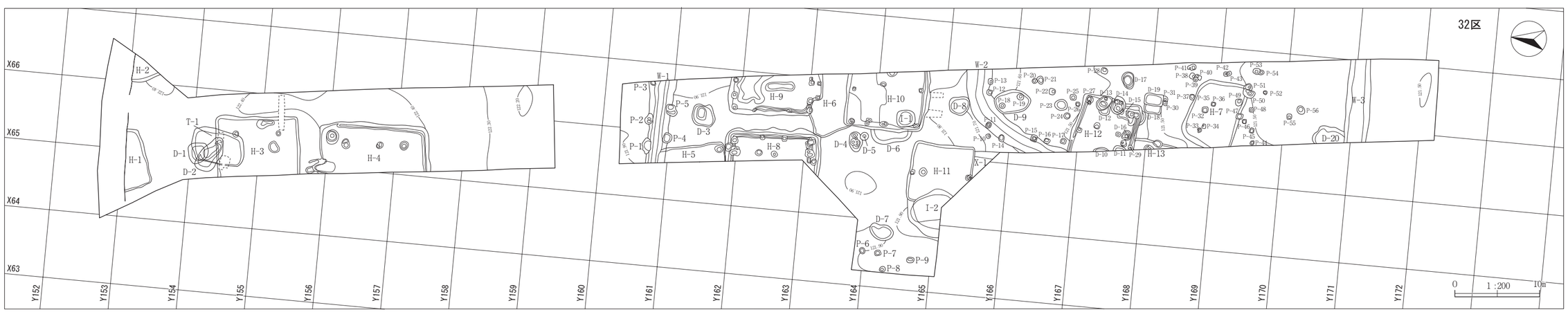

32区
X66
X65
X64
X63
Y152
Y153
Y154
Y155
Y156
Y157
Y158
Y159
Y160
Y161
Y162
Y163
Y164
Y165
Y166
Y167
Y168
Y169
Y170
Y171
Y172
H-1
H-2
H-3
H-4
H-5
H-6
H-7
H-8
H-9
H-10
H-11
H-12
H-13
T-1
D-1
D-2
D-3
D-4
D-5
D-6
D-7
D-8
D-9
D-20
I-1
I-2
X-1
W-1
W-2
W-3
P-1
P-2
P-3
P-4
P-5
P-6
P-7
P-8
P-9
0
1:200
10m

Fig. 6　調査区全体図

V　遺構と遺物

31 区

（１）竪穴住居跡

Ｊ－１号住居跡（Fig. 8・37、PL. 3・13）

位置　X 19、Y 114・115 グリッド　**主軸方向**　N－22°－W　**規模**　東西 (1.52) m、南北 (4.96) m、壁現高 28.2cm。　**面積**　(3.59) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で硬化は弱い。　**出土遺物**　縄文土器、石皿。　**時期**　出土遺物から縄文時代前期後半（諸磯 c 期）と考えられる。

Ｊ－２号住居跡（Fig. 8・37・38、PL. 3・13）

位置　X 25・26、Y 110・111 グリッド　**主軸方向**　N－17°－E　**規模**　東西 (6.12) m、南北 (6.06) m、壁現高 48.3cm。　**面積**　(19.46) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**炉**　中央やや西寄りに地床炉を検出する。長軸方向 N－17°－E。長軸 79cm、短軸 78cm、深さ 15cm。　**重複**　H－12 と重複しており、新旧関係は本遺構→H－12 の順である。　**出土遺物**　縄文土器、凹石、石棒、石皿　**時期**　出土遺物から縄文時代中期後半（加曾利Ｅ３期）と考えられる。

Ｈ－１号住居跡（Fig. 9・39、PL. 3・4・13）

位置　X 16～18・26、Y 110・111 グリッド　**主軸方向**　N－16°－W　**規模**　東西 5.16 m、南北 5.27 m、壁現高 59.9cm。　**面積**　[20.22] ㎡　**床面**　全体的にやや起伏があるが堅緻。　**重複**　H－３・４と重複しており、新旧関係は本遺構→H－３・４の順である。　**出土遺物**　坩、高坏　**時期**　出土遺物から古墳時代前期と考えられる。

Ｈ－２号住居跡（Fig. 9・39、PL. 4・14）

位置　X 16～17、Y 116 グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　東西 (1.79) m、南北 (3.07) m、壁現高 40.7cm。　**面積**　(3.37) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**出土遺物**　土師器坏、軒平瓦　**時期**　出土遺物から９世紀代と考えられる。

Ｈ－３号住居跡（Fig.10・39、PL. 4・14）

位置　X 17・18、Y 115 グリッド　**主軸方向**　N－99°－E　**規模**　東西 (3.06) m、南北 (2.74) m、壁現高 27.0cm。　**面積**　(6.30) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　H－１と重複しており、新旧関係はH－１→本遺構の順である。　**出土遺物**　灰釉陶器壺・埦、土師質高台埦、軒丸瓦、鉄製品　**時期**　出土遺物から 10 世紀代と考えられる。

Ｈ－４号住居跡（Fig.10・40、PL. 4・14）

位置　X 17・18、Y 113・114 グリッド　**主軸方向**　N－83°－E　**規模**　東西 (2.32) m、南北 (2.72) m、壁現高 39.8cm。　**面積**　(3.70) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　H－１と重複しており、新旧関係はH－１→本遺構の順である。　**出土遺物**　丸瓦、平瓦　**時期**　図示には至らなかったが、覆土遺物（羽釜）から 10 世紀代と考えられる。

Ｈ－５号住居跡（Fig.10・40、PL. 4 ・14）

位置　X 20・21、Y 112・113 グリッド　**主軸方向**　N－6°－E　**規模**　東西 (4.34) m、南北 (1.32) m、壁現高 30.6cm。　**面積**　(3.59) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で硬化は弱い。　**重複**　T－2、W－1と重複しており、新旧関係は本遺構→T－2→W－1の順である。　**出土遺物**　小型坏　**時期**　出土遺物から古墳時代前期と考えられる。

Ｈ－６号住居跡（Fig.11・40、PL. 4 ・14）

位置　X 16～17、Y 116 グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　東西 (2.65) m、南北 (2.47) m、壁現高 17.8cm。　**面積**　(4.10) ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**重複**　H－7と重複しており、新旧関係は本遺構→H－7の順である。　**竈**　不明。　**出土遺物**　土師質坏　**時期**　重複関係から 10 世紀以前と考えられる。

Ｈ－７号住居跡（Fig.11・40・41、PL. 4 ・14）

位置　X 22・23、Y 113 グリッド　**主軸方向**　N－112°－E　**規模**　東西 (2.9) m、南北 (2.39) m、壁現高 17.7cm。　**面積**　(4.10) ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**重複**　H－6、W－1と重複しており、新旧関係はH－6→本遺構→W－1の順である。　**竈**　東壁中央やや南寄りに位置する。全長 67.7cm、最大幅 49.1cm、焚口部幅 23.5cm、袖部に凝灰岩、構築材として天井部に平瓦を用いる。　**出土遺物**　土師質坏･高台埦、羽釜、丸瓦、平瓦　**時期**　出土遺物から 10 世紀前半と考えられる。

Ｈ－８号住居跡（Fig.10・41、PL. 4 ・ 5）

位置　X 23・24、Y 111 グリッド　**主軸方向**　N－91°－E　**規模**　東西 (3.62) m、南北 (2.60) m、壁現高 66.0cm。　**面積**　(6.00) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　W－1と重複しており、新旧関係は本遺構→W－1の順である。　**竈**　不明。　**出土遺物**　須恵器坏、土錘、平瓦　**時期**　出土遺物から８世紀中頃～９世紀と考えられる。

Ｈ－９号住居跡（Fig.12・42、PL. 5 ・15）

位置　X 24、Y 110・111 グリッド　**主軸方向**　N－89°－E　**規模**　東西 (2.97) m、南北 (3.26) m、壁現高 41.9cm。　**面積**　(6.41) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　H－10と重複しており、新旧関係は本遺構→H－10の順である。　**竈**　不明。　**出土遺物**　土師質高台埦（墨書「吉」）、鉄製品、砥石　**時期**　出土遺物から 9 世紀後半と考えられる。

Ｈ－10 号住居跡（Fig.12・42、PL. 5 ・15）

位置　X 24・25、Y 111 グリッド　**主軸方向**　N－90°－E　**規模**　東西 (2.99) m、南北 (2.36) m、壁現高 45.2cm。　**面積**　(5.29) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　H－9、W－1と重複しており、新旧関係はH－9→本遺構→W－1の順である。　**竈**　不明。　**出土遺物**　灰釉陶器埦、土師質高台埦、土製品、鉄製品、巡方。　**時期**　出土遺物から 10 世紀代と考えられる。

Ｈ－11 号住居跡（Fig.11、PL. 5）

位置　X 24・25、Y 112 グリッド　**主軸方向**　N－97°－E　**規模**　東西 (2.36) m、南北 (1.29) m、壁現高 60.7cm。　**面積**　(1.46) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　W－1と重複しており、新旧関係は本遺構→W－1の順である。　**竈**　不明。　**出土遺物**　なし。　**時期**　出土遺物がないため、詳細は不明である。

Ｈ－12 号住居跡（Fig.12・42 ～ 44、PL. 5 ・ 6 ・15）

位置　X 26・27、Y 110・111 グリッド　**主軸方向**　N － 104°－ E　**規模**　東西 (4.53) m、南北 (3.36) m、壁現高 40.0cm。　**面積**　10.49 ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**重複**　J － 2 と重複しており、新旧関係は本遺構→ J － 2 の順である。　**竈**　東壁中央やや南寄りに位置する。全長 1.45cm、最大幅 51.3cm、構築材として両側壁内側煙道寄りに 2 枚、南側袖付け根に 1 枚、計 3 枚の丸瓦を用いる。　**出土遺物**　須恵器坏・高台皿、土師質高台埦、土錘、釘、皇朝十二銭「承和昌寳」　**時期**　出土遺物から 9 世紀後半と考えられる。　**備考**　南東隅において確認された貯蔵穴では、穴上面を覆うように丸瓦が凸部を上にして 2 枚並べて置かれた状態で出土した。さらにその直上には、須恵器高台皿が伏せた状態で出土している。

Ｈ－13 号住居跡（Fig.13・44、PL. 6 ・16）

位置　X 37・38、Y 105・106 グリッド　**主軸方向**　N － 20°－ W　**規模**　東西 (3.92) m、南北 (2.72) m、壁現高 64.2cm。　**面積**　(7.96) ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**竈**　不明。　**出土遺物**　須恵器盤、土師器坏・甕　**時期**　出土遺物から 8 世紀前半と考えられる。

Ｈ－14 号住居跡（Fig.13・45、PL. 6 ・16）

位置　X 44、Y 104・105 グリッド　**主軸方向**　N － 93°－ E　**規模**　東西 (2.42) m、南北 (3.53) m、壁現高 30.2cm。　**面積**　6.43 ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**重複**　T － 4 と重複しており、新旧関係は本遺構→ T － 4 の順である。　**竈**　東壁中央に位置する。全長 51.4cm、最大幅 54.5cm。　**出土遺物**　須恵器高台埦、土師質高台埦、羽釜、釘、砥石、軒丸瓦、平瓦　**時期**　出土遺物から 10 世紀前半と考えられる。

Ｈ－15 号住居跡（Fig.14、PL. 6 ）

位置　X 43・44、Y 103・104 グリッド　**主軸方向**　N － 90°－ E　**規模**　東西 (2.72) m、南北 (1.90) m、壁現高 13.0cm。　**面積**　(2.31) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　H － 16 と重複しており、新旧関係は本遺構→ H － 16 の順である。　**竈**　不明。　**出土遺物**　土師質坏、丸瓦等出土したが、いずれも小破片で図示には至らなかった。　**時期**　覆土遺物から 9 世紀後半と考えられる。

Ｈ－16 号住居跡（Fig.14・45、PL. 6 ・16）

位置　X 43・44、Y 103・104 グリッド　**主軸方向**　N － 92°－ E　**規模**　東西 (3.63) m、南北 (2.84) m、壁現高 21.1cm。　**面積**　(6.14) ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**重複**　H － 15 と重複しており、新旧関係は H － 15 →本遺構の順である。　**竈**　東壁に位置する。全長 54.7cm、最大幅 50.1cm。　**出土遺物**　土師質坏、羽釜、丸瓦　**時期**　出土遺物から 10 世紀前半と考えられる。

Ｈ－17 号住居跡（Fig.13・46、PL. 6 ・16）

位置　X 46・47、Y 104 グリッド　**主軸方向**　N － 104°－ E　**規模**　東西 (3.13) m、南北 (1.52) m、壁現高 31.4cm。　**面積**　(3.71) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**竈**　不明。　**出土遺物**　砥石、紡錘車　**時期**　覆土遺物から 9 世紀～ 10 世紀代と考えられる。

Ｈ－18 号住居跡（Fig.14・46、PL. 6 ・16・17）

位置　X 47・48、Y 103・104 グリッド　**主軸方向**　N － 93°－ E　**規模**　東西 (2.79) m、南北 (3.65) m、壁現高 19.4cm。　**面積**　[10.64] ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**竈**　東壁中央やや南寄りに位置する。全長

116.9cm、最大幅 73.4cm。　**出土遺物**　灰釉陶器埦、須恵器高台埦、土師質坏・甕、丸瓦、平瓦。　**時期**　出土遺物から９世紀前半と考えられる。

Ｈ－19 号住居跡（Fig.15・46、PL. ７）

位置　Ｘ 48・49、Ｙ 103・104 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－ 97°－Ｅ　**規模**　東西 (3.32) ｍ、南北 (3.00) ｍ、壁現高 20.7cm。　**面積**　(6.52) ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**竈**　不明。　**出土遺物**　灰釉陶器埦、土師質高台埦、羽釜　**時期**　出土遺物から 10 世紀代と考えられる。

Ｈ－20 号住居跡（Fig.15、PL. ７）

位置　Ｘ 55・56、Ｙ 102 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－ 93°－Ｅ　**規模**　東西 (1.11) ｍ、南北 (0.41) ｍ、壁現高 44.0cm。　**面積**　(0.19) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で硬化は弱い。　**竈**　不明。　**出土遺物**　覆土遺物を含めてなし。**時期**　出土遺物・重複がないために詳細は不明である。

Ｈ－21 号住居跡（Fig.15・46、PL. ７）

位置　Ｘ 55・56、Ｙ 101・102 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－ 76°－Ｅ　**規模**　東西 (1.01) ｍ、南北 (2.91) ｍ、壁現高 48.7cm。　**面積**　(1.29) ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**竈**　東壁中央やや南寄りに位置する。全長 80.6cm、最大幅 104.7cm、焚口部幅 21.3cm、袖部・焚口上部に川原石、構築材に粘土を用いる。　**出土遺物**　土師器坏**時期**　出土遺物から８世紀代と考えられる。

Ｈ－22 号住居跡（Fig.15・47、PL. ７・17）

位置　Ｘ 56・57、Ｙ 100・101 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－ 71°－Ｅ　**規模**　東西 (3.12) ｍ、南北 (3.23) ｍ、壁現高 18.1cm。　**面積**　[8.18] ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**重複**　Ｈ－ 24 と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｈ－ 24 の順である。　**竈**　東壁中央やや南寄りに位置する。全長 69.6cm、最大幅 47.9cm、構築材として丸瓦、平瓦を用いる。　**出土遺物**　須恵器蓋、土師器甕、丸瓦、平瓦。　**時期**　出土遺物から８世紀後半～９世紀前半と考えられる。

Ｈ－23 号住居跡（Fig.16・48、PL. ７・17）

位置　Ｘ 57、Ｙ 101・102 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－ 101°－Ｅ　**規模**　東西 (3.31) ｍ、南北 (1.07) ｍ、壁現高 58.7cm。　**面積**　(2.20) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　Ｈ－ 24 と重複しており、新旧関係はＨ－ 24 →本遺構の順である。　**竈**　不明。　**出土遺物**　須恵器坏、こも網石　**時期**　出土遺物から８世紀中頃と考えられる。

Ｈ－24 号住居跡（Fig.16・48、PL. ７・８・17・18）

位置　Ｘ 57・58、Ｙ 101・102 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－ 98°－Ｅ　規模　東西 (3.09) ｍ、南北 (3.54) ｍ、壁現高 26.5cm。　**面積**　(7.96) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　Ｈ－ 22、Ｈ－ 23 と重複しており、新旧関係はＨ－ 22・23 →本遺構の順である。　**竈**　東壁中央やや南寄りに位置する。全長 48.3cm、最大幅 33.7cm、構築材として丸瓦、平瓦、粘土を用いる。　**出土遺物**　灰釉陶器埦、須恵器高台埦、土師質高台埦・坏、羽釜、土釜、丸瓦、平瓦　**時期**　出土遺物から 10 世紀前半と考えられる。

Ｈ－25 号住居跡（Fig.16・49、PL. ８・18）

位置　Ｘ 58・59、Ｙ 100 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－ 92°－Ｅ　**規模**　東西 (3.13) ｍ、南北 (2.77) ｍ、壁現高

10.0cm。　**面積**　(6.52) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**竈**　東壁南隅に位置する。主軸方向N－104°－E、全長105.0cm、最大幅38.3cm、支脚に凝灰岩、構築材として粘土を用いる。　**出土遺物**　土師質高台埦･坏、砥石、平瓦。　**時期**　出土遺物から11世紀前半と考えられる。

Ｈ－26号住居跡（Fig.17・49、PL. ８・18）

位置　X 60・61、Y 100グリッド　**主軸方向**　N－67°－E　**規模**　東西(2.41) m、南北(2.50) m、壁現高28.1cm。　**面積**　(7.64) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　W－７と重複しており、新旧関係は本遺構→W－７の順である。　**竈**　東壁に位置する。全長137.5cm、最大幅55.0cm、構築材として粘土を用いる。　**出土遺物**　須恵器蓋、土師器坏・甕　**時期**　出土遺物から８世紀前半と考えられる。

Ｈ－27号住居跡（Fig.17・49、PL. ８）

位置　X 62、Y 100グリッド　**主軸方向**　N－82°－E　**規模**　東西(0.81) m、南北(1.20) m、壁現高50.9cm。　**面積**　(0.50) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　D－27と重複しており、新旧関係はD－27→本遺構の順である。　**竈**　不明。　**出土遺物**　須恵器坏　**時期**　出土遺物から７世紀末～８世紀初頭と考えられる。

（２）竪穴状遺構

Ｔ－１号竪穴状遺構（Fig.17・49）

位置　X 21、Y 113グリッド　**主軸方向**　N－10°－W　**規模**　東西(2.60) m、南北(2.79) m、壁現高28.6cm。　**面積**　[5.11] ㎡　**床面**　ほぼ平坦。　**重複**　Ｔ－２と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｔ－２の順である。　**出土遺物**　土師器坏　**時期**　出土遺物から９世紀代と考えられる。

Ｔ－２号竪穴状遺構（Fig.17）

位置　X 21・22、Y 112・113グリッド　**主軸方向**　N－21°－E　**規模**　東西(3.68) m、南北(3.57) m、壁現高31.3cm。　**面積**　(3.89) ㎡　**床面**　ほぼ平坦。　**重複**　Ｔ－１と重複しており、新旧関係はＴ－１→本遺構の順である。　**出土遺物**　土師坏・甕等が出土したが、いずれも小破片で図示には至らなかった。　**時期**　重複関係から９世紀以降と考えられる。

Ｔ－３号竪穴状遺構（Fig.18・49）

位置　X 35・36、Y 106・107グリッド　**主軸方向**　N－０°－E　**規模**　東西(3.47) m、南北(3.71) m、壁現高42.4cm。　**面積**　(9.63) ㎡　**床面**　ほぼ平坦。　**出土遺物**　須恵器高台埦・坏　**時期**　出土遺物から９世紀後半と考えられる。

Ｔ－４号竪穴状遺構（Fig.18・49）

位置　X 43・44、Y 104・105グリッド　**主軸方向**　N－４°－E　**規模**　東西(4.07) m、南北(3.79) m、壁現高9.29cm。　**面積**　(12.55) ㎡　**床面**　ほぼ平坦。　**重複**　Ｈ－14と重複しており、新旧関係はＨ－14→本遺構の順である。　**出土遺物**　鉄製品　**時期**　覆土遺物および重複関係から10世紀前半以降と考えられる。

Ｔ－５号竪穴状遺構（Fig.18）

位置　X 48・49、Y 102グリッド　**主軸方向**　N－４°－E　**規模**　東西(1.73) m、南北(1.66) m、壁現高25.4cm。　**面積**　(2.40) ㎡　**床面**　ほぼ平坦。　**重複**　W－６と重複しており、新旧関係は本遺構→W－６の順

である。　**出土遺物**　土師質坏等が出土したが、いずれも小破片で図示には至らなかった。　**時期**　出土遺物から９世紀以降と考えられる。

（３）溝跡

Ｗ－１号溝跡（Fig.19・49、PL. ８・18）

位置　Ｘ 20 ～ 26　Ｙ 111･112　**主軸方向**　Ｎ－ 87°－Ｅ　**長さ**　(19.41) m　**最大幅**　上幅 3.53 m、下幅 1.44 m。**深さ**　0.92 m　**形状等**　Ｕ字形。　**重複**　Ｈ－５・７～ 11、Ｔ－２と重複しており、新旧関係はＨ－５・７～ 11、Ｔ－２→本遺構の順である。　**出土遺物**　覆土中より置き竈、瓦、板碑、五輪塔（水輪）、石塔片、人骨片　**時期**　出土遺物はいずれも流れ込みによるものであるが、As-B 軽石２次堆積層の混入から、中世以降と考えられる。　**備考**　覆土中には As-B 軽石が流れ込みで混入し、やや厚い層の上に軽石混入が多い薄く硬化した層が堆積しており、断面では３回にわたって順次堆積していることが認められた。また溝底面北側には硬化面、南側にはやや掘り窪めた面が底面と平行して構築されており、通水の痕跡が認められないことからも、道としても使用されたことが想定できる。

Ｗ－２号溝跡（Fig.20・49）

位置　Ｘ 30　Ｙ 109　**主軸方向**　Ｎ－ 175°－Ｅ　**長さ**　(2.16) m　**最大幅**　上幅 (3.04) m、下幅 0.37 m。　**深さ**　1.37 m　**形状等**　Ｕ字形。　**出土遺物**　覆土中より板碑　**時期**　覆土の状況から、As-B 軽石降下以前と考えられる。　**備考**　通水の痕跡は認められない。

Ｗ－３号溝跡（Fig.20・49）

位置　Ｘ 39･40　Ｙ 104 ～ 106　**主軸方向**　Ｎ－ 179°－Ｅ　**長さ**　(7.65) m　**最大幅**　上幅 1.91 m、下幅 1.58 m。**深さ**　0.73 m　**形状等**　逆台形。　**出土遺物**　覆土中より軒平瓦　**時期**　覆土の状況から、As-B 軽石降下以前と考えられる。　**備考**　通水による壁面崩落が北東際および西側中央部に多く、本来の形状は不明である。

Ｗ－４号溝跡（Fig.20）

位置　Ｘ 40　Ｙ 104 ～ 106　**主軸方向**　Ｎ－ 183°－Ｅ　**長さ**　(7.11) m　**最大幅**　上幅 0.79 m、下幅 0.49 m。**深さ**　0.31 m　**形状等**　逆台形。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から、As-B 軽石降下以前と考えられる。**備考**　通水の痕跡は認められない。

Ｗ－５号溝跡（Fig.21）

位置　Ｘ 41　Ｙ 104･105　**主軸方向**　Ｎ－ 167°－Ｗ　**長さ**　(1.19)･(4.37) m　**最大幅**　上幅 0.47 m、下幅 0.27 m。**深さ**　0.45 m　**形状等**　逆台形。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から、As-B 軽石降下以前と考えられる。**備考**　通水の痕跡は認められない。

Ｗ－６号溝跡（Fig.21）

位置　Ｘ 48・49　Ｙ 102　**主軸方向**　Ｎ－ 166°－Ｅ　**長さ**　(2.25) m　**最大幅**　上幅 0.37 m、下幅 0.20 m。　**深さ**　0.53 m　**形状等**　逆台形。　**重複**　Ｔ－５と重複しており、新旧関係はＴ－５→本遺構の順である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　重複および覆土の状況から、９世紀以降、As-B 軽石降下以前と考えられる。　**備考**　通水の痕跡は認められない。

Ｗ－７号溝跡（Fig.21、PL. ８・９）

位置　X 59・60　Y 99～101　**主軸方向**　N－174°－W　**長さ**　(7.08) m　**最大幅**　上幅 3.27 m、下幅 0.26 m。　**深さ**　1.45 m　**形状等**　薬研状。　**重複**　H－26 と重複しており、新旧関係はH－26→本遺構の順である。　**出土遺物**　なし。　**時期**　覆土の状況から、中世以降と考えられる。　**備考**　通水の痕跡は認められない。

Ｗ－８号溝跡（Fig.21）

位置　X 34　Y 106～108　**主軸方向**　N－82°－E　**長さ**　(7.4) m　**最大幅**　上幅 1.93 m、下幅 1.41 m。　**深さ**　0.35 m　**形状等**　U字形。　**出土遺物**　灰釉陶器埦、土師器坏等が出土しているが、いずれも少破片で図示には至らなかった。　**時期**　覆土の状況から、As-B 軽石降下以前と考えられる。　**備考**　通水の痕跡は認められない。

（４）土坑・ピット（Fig.21・24・38・39・49、PL. ９）

土坑・ピットについては、Tab. ３土坑・ピット計測表を参照のこと。

32 区

（１）竪穴住居跡

Ｈ－１号住居跡（Fig.24・51、PL.11）

位置　X 64・65、Y 153 グリッド　**主軸方向**　N－71°－E　**規模**　東西 (3.62) m、南北 (1.46) m、壁現高 22.8cm。　**面積**　(3.59) ㎡　**床面**　ほぼ平坦でローム混入の貼床。　**出土遺物**　須恵器壺類　**時期**　本遺跡の調査では遺物が少なく判断しかねるが、隣接した９区ではH－４住居跡として報告されており、出土遺物から８世紀後半と考えられている。

Ｈ－２号住居跡（Fig.24・51、PL.11）

位置　X 65・66、Y 153 グリッド　**主軸方向**　N－27°－W　**規模**　東西 (1.73) m、南北 (1.70) m、壁現高 25.6cm。　**面積**　(1.32 ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**出土遺物**　須恵器壺類　**時期**　本遺跡の調査では遺物が少なく判断しかねるが、隣接した９区ではH－３住居跡として報告されており、出土遺物から８世紀中葉と考えられている。

Ｈ－３号住居跡（Fig.25・52、PL.11・19）

位置　X 64・65、Y 154 グリッド　**主軸方向**　N－97°－W　**規模**　東西 (3.67) m、南北 4.97 m、壁現高 46.1cm。　**面積**　(12.31) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　T－１と重複しており、新旧関係は本遺構→T－１の順である。　**出土遺物**　土師器坏・小型壺・甕　**時期**　出土遺物から６世紀中葉と考えられる。

Ｈ－４号住居跡（Fig.26・52、PL.11）

位置　X 64・65、Y 155～157 グリッド　**主軸方向**　N－4°－W　**規模**　東西 (3.07) m、南北 6.56 m、壁現高 56.7cm。　**面積**　(16.40) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**竈**　北壁に位置する。全長 172.9cm、最大幅 64.6cm、構築材として粘土を用いる。　**出土遺物**　土師器坏・甕　**時期**　出土遺物から７世紀初頭と考えられる。

Ｈ－５号住居跡（Fig.25・52、PL.11）

位置　X 65、Y 160・161 グリッド　**主軸方向**　N－９°－W　**規模**　東西 (1.17) m、南北 (4.05) m、壁現高

19.7cm。　**面積**　(3.32) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**重複**　Ｈ－８、Ｗ－１と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｈ－８→Ｗ－１の順である。　**出土遺物**　須恵器坏　**時期**　出土遺物から９世紀代と考えられる。

Ｈ－６号住居跡（Fig.27・52、PL.11・20）

位置　Ｘ 66・67、Ｙ 164 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－ 65°－Ｅ　**規模**　東西 (3.55) m、南北 (3.14) m、壁現高 29.1cm。　**面積**　(5.79) ㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**重複**　Ｈ－８～ 10 と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｈ－８～10の順である。　**竈**　不明。　**出土遺物**　土師質坏　**時期**　重複関係から６世紀中葉と考えられる。

Ｈ－７号住居跡（Fig.25、PL.11）

位置　Ｘ 66・67、Ｙ 168・169 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－ 16°－Ｅ　**規模**　東西 (4.26) m、南北 3.11 m、壁現高 18.6cm。　**面積**　(9.60) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で堅緻。　**竈**　不明。　**出土遺物**　覆土より灰釉陶器埦、土師器坏・甕等が出土しているが、いずれも小破片のため図示には至らなかった。　**時期**　覆土遺物から９世紀後半～ 10 世紀代と考えられる。

Ｈ－８号住居跡（Fig.28・52、PL.11）

位置　Ｘ 65・66、Ｙ 161 ～ 163 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－２°－Ｗ　**規模**　東西 (2.82) m、南北 5.67 m、壁現高 63.8cm。　**面積**　(8.98) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で非常に堅緻。　**重複**　Ｈ－５・６と重複しており、新旧関係はＨ－５・６→本遺構の順である。　**出土遺物**　覆土より須恵器坏、鉄滓　**時期**　本遺構は南北方向３間の壁柱穴構造となっており、覆土中の遺物は時期が混在し、いずれも小破片でやや摩滅していることを考え合わせると、中世の方形竪穴の可能性も考慮しなければならない。

Ｈ－９号住居跡（Fig.29、PL.12）

位置　Ｘ 66・67、Ｙ 161 ～ 163 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－３°－Ｅ　**規模**　東西 (2.56) m、南北 5.58 m、壁現高 62.4cm。　**面積**　(10.28) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で非常に堅緻。　**重複**　Ｈ－６と重複しており、新旧関係はＨ－６→本遺構の順である。　**出土遺物**　他に灰釉陶器埦、須恵器坏・甕、土師器坏・甕、平瓦等が出土しているが、いずれもやや摩滅した小破片で時期は混在している。　**時期**　本遺構は南北に柱間３間の壁柱穴で南側に張り出し部を持つ構造となっている。床面直上遺物がないために断定はできないが、中世の方形竪穴である可能性が高い。また、Ｈ－８とは住居規模がほぼ同じで、位置関係も並列となっていることから、何らかの関連性を想定させる。

Ｈ－ 10 号住居跡（Fig.27・52、PL.12・20）

位置　Ｘ 66・67、Ｙ 163・164 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－２°－Ｅ　**規模**　東西 (3.85) m、南北 4.98 m、壁現高 97.37cm。　**面積**　(14.76) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で非常に堅緻。　**重複**　Ｈ－６、Ｉ－１と重複しており、新旧関係はＨ－６→本遺構→Ｉ－１の順である。　**出土遺物**　常滑甕、鉄釘　**時期**　本遺構は柱間３間の壁柱穴構造となっており、出土遺物からも中世の方形竪穴と考えられる。

Ｈ－ 11 号住居跡（Fig.30・52、PL.12）

位置　Ｘ 65・66、Ｙ 164・165 グリッド　**主軸方向**　Ｎ－２°－Ｗ　**規模**　東西 (3.59) m、南北 3.77 m、壁現高 44.5cm。　**面積**　(9.42) ㎡　**床面**　ほぼ平坦で非常に堅緻。　**重複**　Ｉ－２、Ｘ－１と重複しており、新旧関係は本遺構→Ｉ－２・Ｘ－１の順である。　**出土遺物**　灰釉陶器埦、須恵器坏・甕、土師器坏・甕が出土している

が、いずれもやや摩滅した小破片で時期は混在している。　**時期**　本遺構は南北壁中央に壁柱穴を持つ構造となっており、床面直上遺物がないために断定はできないが、覆土の状況、他遺構との比較から中世の方形竪穴である可能性が高い。

Ｈ－12号住居跡（Fig.31・52、PL.12）

位置　Ｘ66・67、Ｙ166・167グリッド　**主軸方向**　Ｎ－11°－Ｅ　**規模**　東西(3.86)ｍ、南北3.82ｍ、壁現高46.4cm。　**面積**　10.31㎡　**床面**　ほぼ平坦で非常に堅緻。　**重複**　Ｈ－13と重複しており、新旧関係はＨ－13→本遺構の順である。　**出土遺物**　茶臼　**時期**　本遺構は南北に柱間３間の壁柱穴を持つ構造であり、出土遺物からも中世の方形竪穴と考えられる。

Ｈ－13号住居跡（Fig.31）

位置　Ｘ66、Ｙ167・168グリッド　**主軸方向**　Ｎ－５°－Ｅ　**規模**　東西(0.84)ｍ、南北(2.84)ｍ、壁現高29.4cm。　**面積**　(0.78)㎡　**床面**　ほぼ平坦でやや堅緻。　**竈**　不明。　**出土遺物**　覆土中より須恵器坏・甕、土師器甕が出しているが、いずれも小破片のために図示には至らなかった。　**時期**　詳細な時期は不明である。

（２）竪穴状遺構

Ｔ－１号竪穴状遺構（Fig.32・53）

位置　Ｘ64・65、Ｙ154グリッド　**主軸方向**　Ｎ－５°－Ｅ　**規模**　東西2.06ｍ、南北3.17ｍ、壁現高24.5cm。　**面積**4.25㎡　**床面**　ほぼ平坦。　**重複**　Ｈ－３と重複しており、新旧関係はＨ－３→本遺構の順である。　**出土遺物**　灰釉陶器埦、須恵器高台埦・坏・蓋、釘　**時期**　出土遺物から９世紀後半と考えられる。

（３）溝跡

Ｗ－１号溝跡（Fig.29、PL.12）

位置　Ｘ65・66　Ｙ160・161　**主軸方向**　Ｎ－88°－Ｗ　**長さ**　(5.11)ｍ　**最大幅**　上幅1.64ｍ、下幅0.26ｍ。　**深さ**　0.59ｍ　**形状等**　逆台形。　**重複**　Ｈ－５、Ｐ－１～５と重複しており、新旧関係はＨ－５→本遺構→Ｐ－１～５の順である。　**出土遺物**　覆土中より須恵器蓋・坏・甕、土師質坏、瓦等が出土しているが、小破片のみで図示には至らなかった。　**時期**　重複関係から９世紀以降と考えられる。　**備考**　通水の痕跡は認められない。

Ｗ－２号溝跡（Fig.32・53、PL.12・20）

位置　Ｘ66・67　Ｙ165・166　**主軸方向**　Ｎ－89°－Ｗ、Ｎ－206°－Ｗ　**長さ**　(6.92)ｍ　**最大幅**　上幅1.49ｍ、下幅0.38ｍ。　**深さ**　0.58ｍ　**形状等**　Ｕ字形。　**出土遺物**　覆土中より石臼　**時期**　覆土の状況から、中世以降と考えられる。　**備考**　通水の痕跡は認められない。

Ｗ－３号溝跡（Fig.32）

位置　Ｘ66～68　Ｙ170・171　**主軸方向**　Ｎ－87°－Ｅ　**長さ**　(5.09)ｍ　**最大幅**　上幅1.40ｍ、下幅0.63ｍ。　**深さ**　0.40ｍ　**形状等**　Ｕ字形。　**出土遺物**　覆土中より須恵器坏・甕、土師器坏等が出土しているが、小破片のため図示には至らなかった。　**時期**　覆土の状況から、As-B軽石降下以降と考えられる。　**備考**　通水の痕跡は認められない。

（４）井戸跡

Ｉ－１号井戸跡（Fig.30・52、PL.12）

位置　X 66、Y 164　**形状等**　円形。上幅 (1.10) × (1.01) m、深さ (3.17) m。　**重複**　H－10 と重複しており、新旧関係はH－10 →本遺構の順である。　**出土遺物**　かわらけ、常滑甕、茶臼、骨片、他古代遺物混入。　**備考**　出土遺物、重複から中世以降と考えられる。

Ｉ－２号井戸跡（Fig.30・53、PL.12・20）

位置　X 64・65、Y 164・165　**形状等**　円形。断面漏斗状。上幅 (2.88) × (2.67) m、深さ (3.86) m。　**重複**　H－11 と重複しており、新旧関係はH－11 →本遺構の順である。　**出土遺物**　青磁折縁皿、鉢、石臼、銅製留金具　**備考**　出土遺物、重複から中世以降と考えられる。

（５）土坑・ピット（Fig.33 ～ 36・53）

土坑・ピットについては、Tab.〇土坑・ピット計測表を参照のこと。

（６）その他

Ｘ－１号跡（Fig.33・53・20）

位置　X 65・66、Y 165　**形状等**　隅丸長方形。長軸 (1.89) m、短軸 (1.84) m、深さ (0.25) m。　**重複**　H－11 と重複しており、新旧関係はH－11 →本遺構の順である。　**出土遺物**　骨片、北宋銭「天禧通寶」　**備考**　覆土は灰層を主体として、砂粒や微量の骨片が混入した土層であり、その下層に焼土層は認められない。中世以降の葬送に関連する遺構と考えられる。

Tab. 3　土坑・ピット計測表

31区

遺構名	位置	長軸	短軸	深さ	形状	出土遺物	備考
ＪＤ－1	X20・21、Y114・115	(2.28)	(1.53)	0.47	楕円形	縄72、石４	加曾利Ｅ３
ＪＤ－2	X20、Y114・115	1.54	1.47	0.52	楕円形		
ＪＤ－3	X20・21、Y114	1.62	1.51	0.72	楕円形	縄14	加曾利Ｅ３
ＪＤ－4	X21・22、Y114	0.95	0.74	0.41	楕円形	縄５	加曾利Ｅ３
ＪＤ－5	X23・24、Y113	2.37	1.68	0.74	楕円形	縄79、土１	
ＪＤ－6	X23、Y113・114	1.82	(0.74)	(0.62)	楕円形	縄５	
ＪＤ－7	X27・28、Y110・111	1.04	0.91	0.22	楕円形	縄14、石２	加曾利Ｅ３、埋甕
Ｄ－1	X17・18、Y115・116	0.81	0.59	0.26	楕円形	土１、縄11	
Ｄ－2	X22・23、Y113・114	0.72	(0.72)	0.21	楕円形	土１	
Ｄ－3	X22・23、Y113・114	(0.63)	0.60	0.21	楕円形		
Ｄ－4	X35・36、Y106・107	1.96	1.62	0.25	長方形		
Ｄ－5	X36・37、Y106・107	2.99	1.15	0.33	長方形		
Ｄ－6	X36～38、Y106・107	6.12	1.95	0.33	長方形	縄21、土206、須40、灰２、瓦３	
Ｄ－7	X42・43、Y105・106	0.66	0.58	0.18	円形		
Ｄ－8	X43、Y105	0.78	0.76	0.24	円形	土８、須１、他１	
Ｄ－9	X43、Y104・105	0.87	0.83	0.17	円形	他３	
Ｄ－10	X43・44、Y105・106	0.82	0.79	0.20	円形	須１	
Ｄ－11	X43・44、Y104・105	0.82	0.82	0.23	円形	土７、須５、灰１	
Ｄ－12	X44、Y104・105	(1.33)	0.72	0.25	楕円形		
Ｄ－13	X44・45、Y104・105	1.23	0.81	0.18	楕円形	土３、須１、他３	10世紀
Ｄ－14	X45・Y105	2.54	(1.30)	0.17	楕円形	土３、須７、灰１	
Ｄ－15	X45・46、Y103・104	0.88	0.84	0.14	円形	須１	
Ｄ－16	X46・47、Y103・104	0.79	0.75	0.12	円形	土５、須４、灰１、瓦２	
Ｄ－17	X46・47、Y103・104	0.79	0.74	0.13	円形		
Ｄ－18	X47・48、Y104	1.06	0.80	0.34	楕円形	土15、須５、瓦３	
Ｄ－19	X56、Y101・102	1.18	1.15	0.28	円形	土22、須６、瓦１、石１	
Ｄ－20	X56・57、Y101・102	0.93	0.73	0.17	楕円形		
Ｄ－21	X56・57、Y101・102	1.12	1.08	0.40	円形	土36、須３	
Ｄ－22	X57・58、Y101・102	(0.28)	(0.26)	0.16	不明		
Ｄ－23	X58、Y101・102	2.26	1.60	0.15	楕円形	土１、須２、瓦２、他３	
Ｄ－24	X62・63、Y100・101	(0.44)	(0.63)	(0.49)	不明		
Ｐ－1	X20・21、Y112・113	0.32	0.21	0.19	楕円形		
Ｐ－2	X20・21、Y112・113	0.54	0.49	0.46	円形	縄１、土７、石１	
Ｐ－3	X20・21、Y113・114	0.31	0.22	0.27	楕円形		
Ｐ－4	X20・21、Y113・114	0.32	0.28	0.33	円形	土１、須１	
Ｐ－5	X20・21、Y113・114	0.34	0.31	0.23	円形	土１、須１、灰２	
Ｐ－6	X21・22、Y114	(0.27)	0.27	0.19	円形		
Ｐ－7	X21・22、Y114	0.28	0.23	0.26	円形		
Ｐ－8	X27・28、Y111・112	0.33	0.30	0.58	円形	土１	
Ｐ－9	X27・28、Y111	0.50	0.41	0.61	楕円形		
Ｐ－10	X32・33、Y108・109	0.57	0.45	0.16	楕円形		
Ｐ－11	X32・33、Y108・109	0.32	0.32	0.15	円形		
Ｐ－12	X32・33、Y108・109	0.30	0.28	0.12	円形		
Ｐ－13	X32・33、Y108・109	0.43	0.38	0.15	円形		
Ｐ－14	X33、Y108・109	0.33	0.28	0.12	楕円形		
Ｐ－15	X34・35、Y108・109	0.55	0.59	0.23	円形		
Ｐ－16	X34・35、Y108・109	0.53	0.49	0.23	円形		
Ｐ－17	X34・35、Y107・108	0.32	0.31	0.16	円形	石１	
Ｐ－18	X34・35、Y107・108	0.38	0.35	0.17	円形	土１、須１	
Ｐ－19	X41・42、Y105・106	0.40	0.37	0.30	長方形		
Ｐ－20	X47・48、Y103	0.24	0.20	0.07	円形		
Ｐ－21	X48・49、Y103・104	0.49	0.33	0.13	楕円形	黒曜石１	
Ｐ－22	X48・49、Y103・104	0.26	0.24	0.11	円形	須１	

32区

遺構名	位置	長軸	短軸	深さ	形状	出土遺物	備考
Ｄ－1	X65、Y154	1.38	1.23	0.61	円形	土３	
Ｄ－2	X65、Y154・155	2.27	1.18	(0.55)	楕円形	須１	
Ｄ－3	X66・67、Y161・162	1.31	1.39	0.58	長方形		
Ｄ－4	X66、Y163・164	1.18	0.77	0.44	楕円形		
Ｄ－5	X66・67、Y163・164	0.48	0.48	0.29	円形		
Ｄ－6	X66・67、Y164	2.43	2.29	0.57	楕円形	須１	
Ｄ－7	X64・65、Y164・165	1.43	0.98	0.25	楕円形		
Ｄ－8	X66・67、Y165・166	1.28	1.17	0.29	円形		
Ｄ－9	X67、Y166	2.11	1.40	0.21	楕円形	土２	
Ｄ－10	X66・67、Y167・168	(0.93)	(0.23)	(0.44)	楕円形	土４、須９	
Ｄ－11	X66・67、Y167・168	(0.78)	(0.29)	(0.53)	楕円形		
Ｄ－12	X67、Y167・168	0.68	0.65	0.40	円形	土１、須３	
Ｄ－13	X67、Y167・168	1.07	0.68	0.77	楕円形		
Ｄ－14	X67、Y167・168	1.07	0.84	1.34	楕円形		
Ｄ－15	X66・67、Y167・168	1.13	0.98	0.72	楕円形		
Ｄ－16	X66・67、Y167・168	0.59	0.49	0.61	楕円形	土２、須１	
Ｄ－17	X67・68、167・168	1.02	0.73	0.57	楕円形	土３、須２、他１	
Ｄ－18	X67、Y168	1.03	(0.54)	0.22	長方形	土３、須１、石２	

註）縄･･･縄文土器片、土･･･土師器片、須･･･須恵器片、石･･･石器、灰･･･灰釉陶器片を表す。

遺構名	位置	長軸	短軸	深さ	形状	出土遺物	備考
D－19	X67・68、168	(1.13)	0.74	0.29	長方形		
D－20	X66・67、Y170・171	(1.88)	(1.10)	0.97	楕円形		
P－1	X65・66、Y160・161	0.94	0.52	0.31	不整形		
P－2	X66・67、Y160・161	0.65	0.47	0.45	楕円形		
P－3	X66・67、Y160・161	0.31	(0.24)	0.54	楕円形		
P－4	X65・66、Y161	0.60	0.51	0.59	楕円形		
P－5	X66・67、Y161	0.72	0.64	0.55	楕円形		
P－6	X64・65、Y164	0.38	0.32	0.18	楕円形		
P－7	X64・65、Y164・165	0.37	0.32	0.13	楕円形		
P－8	X64・65、Y164・165	0.37	0.32	0.64	楕円形		
P－9	X64・65、Y164・165	0.44	0.33	0.22	楕円形		
P－10	X66・67、Y165・166	0.26	0.26	0.22	円形		
P－11	X66・67、Y165・166	0.38	0.31	0.60	楕円形		
P－12	X67、Y165・166	0.32	0.32	0.57	楕円形		
P－13	X67・68、Y165・166	0.35	0.28	0.59	楕円形		
P－14	X66・67、Y165・166	0.41	0.32	0.38	楕円形		
P－15	X66・67、Y166・167	0.39	0.36	0.83	長方形		
P－16	X66・67、Y166・167	0.34	0.30	0.42	楕円形		
P－17	X66・67、Y166・167	0.32	0.31	0.34	長方形		
P－18	X66・67、Y165・166	0.36	0.32	0.50	円形		
P－19	X67、Y166・167	0.40	0.36	0.33	円形		
P－20	X67・68、Y166・167	0.30	0.29	0.18	円形		
P－21	X67・68、Y166・167	0.48	0.37	0.28	楕円形		
P－22	X67・68、Y166・167	0.37	0.38	0.79	楕円形		
P－23	X67、Y166・167	0.76	0.65	0.52	楕円形		
P－24	X66・67、Y166・167	0.38	0.37	0.67	円形		
P－25	X67・68、Y166・167	0.36	0.33	0.67	長方形		
P－26	X67、Y166・167	0.26	0.25	0.25	円形		
P－27	X67、Y167・168	0.22	0.19	0.61	楕円形		
P－28	X67・68、167・168	0.39	0.36	0.71	楕円形		
P－29	X66・67、Y167・168	0.34	0.28	0.60	楕円形		
P－30	X67・68、Y168・169	0.28	0.27	0.28	楕円形		
P－31	X67・68、Y168・169	(0.30)	0.29	0.19	不整形		
P－32	X66・67、Y168・169	0.23	(0.11)	0.46	楕円形		
P－33	X66・67、Y168・169	0.22	(0.17)	0.44	楕円形		
P－34	X66・67、Y168・169	0.26	0.22	0.45	長方形		
P－35	X67・68、Y168・169	0.42	0.39	0.40	長方形		
P－36	X67・68、Y168・169	0.30	0.29	0.39	長方形		
P－37	X67・68、Y168・169	0.34	0.32	0.67	円形		
P－38	X67・68、Y168・169	0.37	0.36	0.45	楕円形		
P－39	X67・68、Y168・169	0.28	0.27	0.32	楕円形		
P－40	X67・68、Y168・169	(0.39)	0.26	0.30	長方形		
P－41	X67・68、Y168・169	0.51	0.36	0.63	不整形		
P－42	X67・68、Y169・170	0.27	0.24	0.21	楕円形		
P－43	X67・68、Y169・170	0.30	0.25	0.20	楕円形		
P－44	X66・67、Y169・170	0.30	0.24	0.32	長方形		
P－45	X66・67、Y169・170	0.31	0.26	0.34	長方形		
P－46	X66・67、Y169・170	0.29	0.29	0.26	長方形		
P－47	X67、Y169・170	0.46	0.37	0.36	長方形		
P－48	X67・68、Y169・170	0.31	0.30	0.38	長方形		
P－49	X67・68、Y169・170	0.44	0.41	0.50	楕円形		
P－50	X67・68、Y169・170	0.72	0.47	0.31	楕円形		
P－51	X67・68、Y169・170	0.50	(0.40)	0.52	楕円形		
P－52	X67・68、Y169・170	0.24	0.23	0.19	楕円形		
P－53	X67・68、Y169・170	0.40	0.36	0.17	楕円形		
P－54	X67・68、Y169・170	0.29	(0.27)	0.13	楕円形		
P－55	X67・68、Y170・171	0.37	0.35	0.37	長方形		
P－56	X67・68、Y170・171	0.53	0.43	0.80	楕円形		

Tab. 4　31区出土遺物観察表

Ｊ－１

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	縄文土器　鉢	－	－	－	白・黒・赤色粒、黒雲母	良好	黒褐色 明赤褐色	口縁部斜位の集合沈線文。以下、中位に地文の縄文施文を残して区画とし、横位の集合沈線文施文。		肩下部（屈曲部下部）～胴部片残存。 諸磯ｂ新段階
2	床面直上	縄文土器　深鉢	－	－	－	砂粒、橙色粒、黒雲母、小礫	良好	暗オリーブ褐色	口端部欠損。中位に縄文施文を残して区画とし、横位の集合沈線文施文。		肩下部片（屈曲部下）。
3	床面直上	縄文土器　鉢	－	－	－	砂粒、チャート、黒雲母	良好	橙色	口縁は屈曲し、口端内面に貼付文。５条を１単位とする集合沈線文による縦位、斜位の施文後、貼付文。以下横位の集合沈線文施文。		口縁部片残存。 諸磯ｃ期
番号	**出土位置**	**種別、器種**	**長さ(cm)**	**幅(cm)**	**厚さ(cm)**	**石質**	**焼成**	**色調**	**重さ(g)**	**器形、成・整形、文様等の特徴**	**残存状況、備考**
4	床面直上	石製品　石皿	(8.0)	(9.6)	(7.2)	安山岩	－	－	(483.1)		破片。

Ｊ－２

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	縄文土器　深鉢	(26.5)	－	(22.1)	白・橙色粗粒、水晶、黒雲母	良好	明褐色	４単位の波状口縁突起。口縁部文様帯を沈線により区画し、区画内縄文施文。頸部無紋帯下に刺突列を巡らす。以下蕨手状縦沈線と「∩」状沈線区画。「∩」上区画内縄文施文。		口縁～胴部残存。 加曽利Ｅ２期。
2	覆土	縄文土器　浅鉢	(18.8)	－	(6.5)	白色粗粒、黒雲母	良好	にぶい黄橙色	口縁部90度内側に幅広の屈曲。曲面上面太さ５㎜の沈線による区画。区画内縄文施文。口縁下施文も屈曲面同様。本遺構よりも新段階の遺物。		口縁部片残存。本遺構より新段階の遺物。
3	床面直上	縄文土器	－	－	－	白・黒・橙色粒	良好	灰褐色	外反する口縁下に角錘状の横位隆線を巡らす。以下縄文施文後隆線による渦巻き文施文。		口縁部片残存。 加曽利Ｅ３期。
4	床面直上	縄文土器　深鉢	－	－	－	砂粒、白・橙色粗粒、黒雲母	良好	にぶい橙色	口縁部に太さ３㎜の沈線を３条巡らす。以下櫛状工具による渦巻き文施文後、太さ３㎜の沈線を斜位に施文。		口縁部片残存。 加曽利Ｅ３期。
5	床面直上	縄文土器	－	－	－	白・灰・橙色粒、黒雲母、小礫	良好	褐灰色	太い隆線による渦巻き文と楕円区画。楕円区画内縄文施文。		口縁部片残存。 加曽利Ｅ３期。
6	床面直上	縄文土器　深鉢	－	－	－	白・橙色粒、水晶	良好	褐灰色	口縁部隆線による渦巻き文と楕円区画。以下１㎜の斜位沈線を数条施す。こう線弱い波状。		口縁部片残存。 加曽利Ｅ３期。
7	床面直上	縄文土器　深鉢	－	－	－	白・黒・橙色粒	良好	にぶい黄橙色	２条の並行する太さ３㎜の沈線内に、横楕円の交互刺突文。以下縦位沈線と「∩」状沈線による区画。区画内縄文施文。以下太・細横位隆線巡る。		胴上部片残存。 加曽利Ｅ３期。
8	床面直上	縄文土器　深鉢	－	－	－	砂粒、白色粗粒、水晶	良好	にぶい褐色	口縁部欠損下、太い隆線による渦巻き文と楕円区画。区画内縄文施文。以下櫛状工具による縦位条線。		胴上部片残存。 加曽利Ｅ３期。
9	床面直上	縄文土器　深鉢	－	－	－	白・黒・橙粗粒	良好	にぶい黄橙色	隆線による口縁部区画。区画内縦位沈線充填。太い隆線以下１㎜の沈線による斜位交互沈線数条。中位隆線以下太さ２～３㎜の沈線による区画。区画内縄文施文。		口縁～胴上部残存。 加曽利Ｅ３期。
10	床面直上	縄文土器　深鉢	－	－	－	白・黒色粗粒、黒雲母、石英	良好	橙色 灰黄褐色	全体的に縄文施文後、太さ６～７㎜の縦位沈線区画と縦位波状文施文。		胴部片残存。 加曽利Ｅ３期。
11	床面直上	縄文土器	－	－	－	白・灰色粗粒、石英、焼礫	やや軟質	灰黄褐色	無紋。円孔２ケ所有り。		口縁部片残存。
12	床面直上	縄文土器　深鉢	－	－	－	白・黒色粒、黒雲母、小礫	良好	にぶい赤褐色	口縁部太い隆線による区画。以下太さ３～４㎜の沈線区画と縄文施文。こう		口縁部片残存。
13	床面直上	縄文土器　深鉢	－	－	－	白色粒子、橙色粗粒	良好	黒褐色	幅広の口端上面に太さ３㎜の沈線。以下渦巻状隆線と太い横位隆線。以下太さ３㎜の縦位沈線で区画し、縄文施文。		口縁部片残存。 加曽利Ｅ３期。
番号	**出土位置**	**種別、器種**	**長さ(cm)**	**幅(cm)**	**厚さ(cm)**	**石質**	**焼成**	**色調**	**重さ(g)**	**器形、成・整形、文様等の特徴**	**残存状況、備考**
14	床面直上	石製品　石皿	(11.5)	(20.7)	7.4	安山岩	－	－	4200		破片。
15	床面直上	石器　石斧	11.6	3.6	1.2	黒色頁岩	－	－	65.5	短冊形。	完存。
16	床面直上	石製品　石棒	(10.0)	3.3	2.5	雲母片岩	－	－	123.0		下部欠損。
17	床面直上	石製品　凹石	17.5	13.2	9.1	安山岩	－	－	4200	表面凹部4 裏面凹部5	ほぼ完存。表面右から側面に煤が付着。

ＪＤ－１

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	縄文土器　深鉢	(39.2)	－	(22.5)	白・黒・橙色粒、黒雲母	良好	橙色 にぶい黄褐色	４単位の波状口縁突起。突起上面「∞」字状沈線文。口縁部太隆線による区画。区画内渦巻状隆線と太さ５㎜の沈線による楕円区画。区画内沈線充填。胴部太さ５㎜の蕨手上縦位沈線と縦波状沈線。縄文施文。		口縁部～胴中位残存。 加曽利Ｅ３期。
番号	**出土位置**	**種別、器種**	**長さ(cm)**	**幅(cm)**	**厚さ(cm)**	**石質**	**焼成**	**色調**	**重さ(g)**	**器形、成・整形、文様等の特徴**	**残存状況、備考**
2	床面直上	石器　石斧	12.3	5.9	2.1	黒色頁岩	－	－	123.5	撥形。	完存。

ＪＤ－７

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	縄文土器　鉢	18.3	－	(12.1)	白色鉱物、砂粒、黒雲母、水晶	やや軟質	にぶい橙色	３単位の波状口縁小突起。口縁に２列の刺突列（部分的に３列）。刺突間と下に太さ２㎜の沈線が横位に巡る。以下縄文施文後太さ２㎜の波状または区画および縦位沈線。		口縁～胴中位残存。 加曽利Ｅ４期。
2	床面直上	縄文土器　深鉢	(20.3)	－	(9.9)	白・灰色粗粒、チャート、小礫	軟質	浅黄色	（口縁部欠損か？）口縁下渦巻き状隆線と太さ３㎜の沈線。以下縄文施文後、太さ４㎜の沈線による区画。		口縁～胴上部1/3残存。 加曽利Ｅ４期。
番号	**出土位置**	**種別、器種**	**長さ(cm)**	**幅(cm)**	**厚さ(cm)**	**石質**	**焼成**	**色調**	**重さ(g)**	**器形、成・整形、文様等の特徴**	**残存状況、備考**
3	覆土	石製品　石皿	(21.4)	(15.6)	(5.8)	安山岩	－	－	3700	表面凹部１ 裏面凹部約38	右半・下部欠損。
4	覆土	石製品　石皿	24.8	19.6	13.6	安山岩	－	－	8100	表面凹部５（あばた状含む） 裏面凹部約７	ほぼ完存。

Ｈ－１

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	土師器　坩	7.9	－	5.3	白・黒・橙色粒、チャート	良好	橙色	外面口縁部ハケメ後ミガキ、胴部ハケメ。 内面ハケメ、ナデ。		ほぼ完存。
2	床面直上	土師器　坩	7.1	3.4	6.1	白・黒色細粒、石英	良好	暗灰黄色	外面口縁部ハケメ後ヨコナデ、頸部ハケメ後ミガキ、胴部ハケメ。内面ヨコナデ、ユビオサエ。		完存。
3	床面直上	土師器　坩	11.6	－	6.9	白・黒色粒、黒雲母、チャート	良好	にぶい黄橙色	外面口縁部ミガキ、胴部ケズリ後ミガキ。内面ヨコナデ。		4/5残存。
4	床面直上	土師器　高坏	9.0	－	(5.0)	白・黒色粒、黒雲母、チャート	良好	にぶい黄橙色 ～オリーブ黒色	内外面ともナデ。		脚部4/5残存。

Ｈ－２

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	土師器　坏	11.6	8.7	3.2	白・黒色粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部回転ナデおよびナデ、ユビオサエ、底部ヘラケズリ。内面回転ナデおよびナデか、一部ユビオサエ。		完存。墨書「井」か。

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
2	覆土	土師器　坏	(10.9)	(7.5)	3.1	白・黒色粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部回転ナデおよびナデ、底部ヘラケズリ。内面回転ナデ。	2/5残存。
3	覆土	瓦　軒平瓦	－	－	－	白・黒・橙色粒、小礫	良好	凸・灰黄色 凹・にぶい黄橙	凸面縄目タタキ、ヘラケズリ。凹面布目ナデ消し、端部ヘラケズリ。	破片。

Ｈ－３

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	灰釉陶器　埦	－	8.1	(3.1)	～0.5cm程度の小礫を極少量含む	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。	体下部～底部。内面に他遺物融着
2	床面直上	灰釉陶器　壺	－	(11.3)	(8.2)	粘土質	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。底部内面にユビオサエと思われる凹みあり。	胴下半～底部1/3。
3	床面直上	土師質高台埦	10.9	5.9	4.9	黒・橙色粒、黒雲母、小礫	良好	浅黄橙色	外面回転ナデ。内面回転ナデおよびナデ。	ほぼ完存。
4	床面直上	土師質高台埦	(10.3)	(7.8)	5.6	白・黒・橙色粒、チャート	良好	橙色	内外面ともに回転ナデ。	2/3残存。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
5	床面直上	鉄製品　不明	(7.0)	(1.1)	(0.8)	－	－	－	13.1		一部欠損。
6	床面直上	鉄製品　不明	(6.9)	0.9	0.8	－	－	－	15.5		先端部欠損。
8	床面直上	鉄製品　釘	(2.8)	1.6	1.1	－	－	－	3.3		上部。
7	床面直上	鉄製品　刀子	(2.2)	1.1	0.5	－	－	－	3.4		柄部分？
9	床面直上	鉄製品　不明	(11.5)	1.2	1.3	－	－	－	38.3		上部・先端部欠損。

番号	出土位置	種別、器種	径(cm)	厚さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
10	床面直上	瓦　軒丸瓦	16.25	2.4	白・黒色粒、小礫	堅緻	瓦当・黄灰色 裏面・褐灰色	単弁四葉。中房は田字。内面布目痕。外側面ナデ。	3/4残存。無絞り一本造り。

Ｈ－４

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	瓦　丸瓦	－			白・黒色粒、雲母	堅緻	灰色	凸面ヘラケズリか？凹面布目ナデ消し（一部布目残る）。	破片。釘穴あり。
2	覆土	瓦　平瓦	－			白・黒・橙色粒、石英	堅緻	凸面・黄灰色 凹面・灰色	凸面縄目タタキ。凹面布目ナデ消し（一部布目残る）。凹面にヘラ記号「三」か。	破片。

Ｈ－５

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	土師器小型坏	8.3	2.8	4.6	白・黒色粒、雲母	良好	オリーブ黒色	外面ヨコナデ後ミガキ。内面口縁部ヨコナデ、以下ミガキ。	4/5残存。

Ｈ－６

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	土師質　坏	12.1	3.8	4.5	黒色粒、長石、黒雲母	良好	にぶい橙～褐灰色	外面口縁部ヨコナデ、以下ナデか。内面口縁部ヨコナデ、以下ハケメ。	ほぼ完存。

Ｈ－７

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	カマド	土師質　坏	12.3	4.9	3.8	白・黒色粒、小礫	良好	灰オリーブ、にぶい黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	4/5残存。
2	カマド	土師質　坏	11.7	6.5	3.9	白・黒・橙色粒、小礫	良好	オリーブ黒色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕が明瞭に残る。	3/4残存。
3	カマド	土師質　坏	11.6	－	(4.6)	白･黒・橙色粒、雲母	良好	にぶい黄橙色	内外面とも回転ナデ。底部不整形。内面黒色処理か。	口縁部一部欠損。
4	カマド	土師質　坏	11.3	6.0	3.3	白・黒色粒、黒雲母、小礫	やや粗	にぶい黄・灰色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕が明瞭に残る。	5/6残存。
5	カマド	土師質　坏	14.0	5.4	－	白・黒色粒、石英、小礫	良好	にぶい黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に不鮮明だが糸切り痕が残る。	口縁部一部欠損。
6	カマド	土師質高台埦	12.7	5.5	5.0	白・黒細粒、チャート	やや軟質	暗灰黄色	内外面とも回転ナデ。底部に糸切り痕。	3／4残存。
7	床面直上	土師質高台埦	12.6	5.1	5.1	白・黒・橙色粒、雲母、小礫	やや軟質	暗灰黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に不鮮明だが糸切り痕が残る。	完存。
8	カマド	土師質高台埦	12.3	5.7	5.2	白・黒・橙色粒、小礫	良好	暗灰黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	2/5残存。
9	床面直上	土師質高台埦	12.2	5.5	5.2	白・黒・橙色粒、小礫	良好	橙色 にぶい黄褐色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	口縁部一部欠損。
10	カマド	土師質高台埦	16.5	7.9	6.6	白・黒・橙色粒、石英、小礫	良好	にぶい黄色	内外面ともに回転ナデ。	ほぼ完形。内・外面煤付着。
11	カマド	土師質高台埦	13.2	7.5	5.4	白・黒・橙色粒、雲母	良好	黄褐色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	ほぼ完存。
12	カマド	土師質高台埦	(13.6)	6.3	5.2	白・黒・橙色粒、小礫	良好	にぶい黄橙色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	1/2残存。
13	カマド	土師質高台埦	13.6	6.2	5.7	白・黒・赤色粒、石英	良好	浅黄色	内外面とも回転ナデ。底部に糸切り痕。	2/3残存。
14	カマド	土師質高台埦	13.4	6.7	5.3	白・黒色粒、小礫	良好	暗灰黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	完存。
15	カマド覆土	土師質高台埦	13.3	5.7	5.3	白・黒色粒	良好	にぶい黄～灰黄色	内外面ともに回転ナデ。	3/4残存。
16	床面直上	土師質　羽釜	18.6	6.4	28.1	白・黒・橙色粒、雲母	良好	橙・灰色	外面回転ナデおよびヘラケズリ。内面回転ナデ。	4/5残存。

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
17	カマド	土師質　羽釜	18.8	7.5	24.4	白・黒・橙色粒、石英、小礫	良好	灰白～灰色	外面回転ナデおよびタテナデか。内面回転ナデ。	口縁部一部欠損。

番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	広端幅(cm)	狭端幅(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
18	カマド	瓦	－	－	－	黒・橙色粒、チャート	堅緻	灰色	全面にケズリ。側端面および上端面はケズリ後ナデもしくはミガキ。	破片。鬼瓦か。
19	カマド	瓦　丸瓦	36.5	(17.1)	(13.6)	白・黒・橙色粒、小礫	堅緻	黄灰色	凸面縄目タタキおよびナデ。凹面布目痕。	一部欠損。

番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	広端幅(cm)	狭端幅(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
20	カマド	瓦　平瓦	－	－	－	白・黒色粒、石英、小礫	良好	灰黄褐色	凸面ヘラケズリ。凹面布目ナデ消し（一部布目残る）。	約1/4残存。

Ｈ－８

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	須恵器　坏	(6.7)	－	(2.9)	白・黒色粒、小礫	堅緻	灰色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	体部中位～底部片。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	孔径(cm)	胎土	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
2	床面直上	土製品　土錘	5.0	2.1	0.5	白・黒色細粒	良好	上端部欠損	18.6		上端部欠損。
番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
3	床面直上	瓦　平瓦	－	－	－	白色粗粒、小石	堅緻	灰色	凸面ナデ、端部ケズリ。 凹面布目ナデ消し（端部布目痕残る）。		約2/3残存。
4	床面直上	瓦　平瓦	－	－	－	白・黒色粒、 雲母	良好	灰黄色	凸面格子目タタキおよびタタキ後強いナデ。 凹面布目ナデ消し。		約1/4残存。
5	床面直上	瓦　平瓦	－	－	－	白・黒・橙色粒、 チャート	堅緻	灰色	凸面無文タタキ。凹面布目痕顕著。 凹面に模骨に由来すると思われる四角形の突起あり。		約1/4残存。
6	床面直上	瓦　平瓦	－	－	－	白色粗粒、 ５㎜大の白色鉱物	堅緻	凸面・黄灰色 凹面・灰黄色	凸面ナデ。凹面布目ナデ消し（一部布目痕残る）。		約1/4残存。

Ｈ－９

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	土師質 高台埦	17.5	(6.8)	6.8	白・黒・橙色粒、 チャート	良好	にぶい黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。		3/4残存。
2	床面直上	土師質 高台埦	(14.8)	(7.0)	5.4	白・黒・橙色粒、 小礫	良好	灰黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。 外面に墨書「吉」か？		2/5残存。
3	貯蔵穴	土師質 高台埦	(15.0)	6.0	5.5	白・黒・橙色粒、 小礫	堅緻	灰黄色～灰色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。内外面に墨書。 内面は「吉」、外面は上部欠損するが内面同様「吉」か。		1/2残存。
4	床面直上	土師質 高台埦	(12.9)	(4.9)	3.6	白色細粒、 赤色粗粒	良好	灰色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕が明瞭に残る。 黒色処理。		2/3残存。
5	床面直上	土師質 高台埦	(12.4)	5.8	3.9	白・黒色粒、 黒雲母、小礫	良好	灰白色～灰色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。外面に墨書。		1/2残存。
番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
6	床面直上	鉄製品	7.2	5.1	1.5	－	－	－	36.0		完存。
7	床面直上	鉄製品　釘	(4.0)	(0.6)	(0.5)	－	－	－	3.7		上部欠損。
番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
8	覆土	石製品　砥石	(8.5)	4.8	3.5	砥沢石	－	－	150.1	使用単位が顕著な磨面の剥落は、 被熱によると思われる。煤付着。	一部欠損。
9	床面直上	石製品　砥石	15.5	2.7	2.2	砥沢石	－	－	116.4		ほぼ完存。
10	覆土	石製品　砥石	(10.4)	3.8	2.5	砥沢石	－	－	125.7	（欠損部以外）全面使用。	一部欠損。

Ｈ－10

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	灰釉陶器　埦	(13.4)	(6.4)	4.8	白・黒色細粒	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。		2/5残存。
2	床面直上	土師質 高台埦	13.1	6.6	5.5	白・黒・橙色粗 粒、10㎜大の小石	良好	浅黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。		完存。
番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
3	覆土	鉄製品　不明	(3.6)	(2.8)	(1.0)	－	－	－	14.0		欠損。
番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
4	覆土	石製品　巡方	4.2	4.15	0.8	黒色頁岩	－	－	29.1		ほぼ完存。
番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
5	床面直上	不明	－	－	－	白・黒・橙色粒、 石英	軟質	表・浅黄橙色 裏・灰白色	種類・器種等詳細不明の遺物。面をもっているように見えるが、何らかの素材が2次的な被熱をうけた可能性も。		破片。

Ｈ－12

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	須恵器 高台皿	(13.9)	－	(2.5)	白・黒色粒、 雲母	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。		2/5残存。
2	貯蔵穴	須恵器 高台皿	(12.6)	(7.2)	2.5	白・黒色粒、 チャート	堅緻	灰色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。		2/5残存。
3	貯蔵穴	須恵器　坏	(13.2)	(6.4)	3.2	白・黒色粒、 チャート	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。		1/2残存。
4	床面直上	土師質 高台	－	－	(4.0)	白・黒・橙色粒、 黒雲母	良好	にぶい黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。		1/5残存。
5	床面直上	土師質 高台	－	7.3	(3.7)	白・黒・橙色粒	良好	にぶい黄色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。		口縁～体部欠損。
6	床面直上	土師質 高台	(17.9)	9.15	6.5	黒・橙色粒	軟質	橙色	内外面ともに回転ナデ。焼成あまく、磨滅著しい。		2/5残存。
7	貯蔵穴	土師質　坏	(14.1)	6.15	5.6	白・黒・橙色粒、 黒雲母	堅緻	にぶい黄褐色	内外面ともに回転ナデ。外面に墨書。		3/5残存。
番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
8	覆土	土製品　土錘	5.2	1.9	1.7	0.5	－	－	15.4		ほぼ完存。
番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
9	床面直上	鉄製品　釘	8.1	0.8	0.7	－	－	－	7.1		完存。
10	覆土	鉄製品	(4.3)	0.5	0.2	－	－	－	2.0		下部欠損。
11	覆土	鉄製品　釘	(4.4)	(0.6)	(0.5)	－	－	－	3.0		上部・先端部欠損。

番号	出土位置	銭種名	国名	初鋳年代	材質	外径	穿径	厚さ	重量	備考
12	覆土	承和昌寶	皇朝十二銭	835年	銅	21.68㎜	6.02㎜	1.87㎜	(1.87) g	

番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	広端幅(cm)	狭端幅(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
13	床面直上	瓦　丸瓦	36.0	20.9	13.3	白・黒・橙色粒、 雲母	堅緻	灰黄色	凸面ナデ。凹面布目痕。	ほぼ完存。
番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	広端幅(cm)	狭端幅(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
14	床面直上	瓦　丸瓦	39.7	－	12.7	白・黒色粗粒	堅緻	灰色	凸面ナデ。凹面布目痕。	4/5残存。
15	貯蔵穴	瓦　平瓦	39.4	(27.2)	20.5	白・黒色粒、５ ～10㎜大の小石	堅緻	凸面・灰オリーブ 凹面・褐灰	凸面ナデ。凹面布目痕。	側縁部一部欠損。
16	貯蔵穴	瓦　平瓦	－	－	－	白・黒・橙色粒、 石英	堅緻	凸面・暗黄褐色 凹面・暗灰黄色	凸面格子目タタキおよびタタキ後ナデ。凹面布目ナデ消し。	約1/4残存。

番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	広端幅(cm)	狭端幅(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
17	貯蔵穴	瓦　丸瓦	41.8	21.3	11.5	白色粒、チャート10㎜大の小石	堅緻	灰白色	凸面強いナデもしくはケズリ。凹面布目痕。 凹面にヘラ描きによる文字「豊」および型押し文字「當」。	完存。

H－13

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	須恵器　盤	(21.6)	17.9	2.4	白・黒色粒、小礫	普通	黄灰色	外面口縁ロクロナデ、以下ロクロ成形後ヘラケズリ。 内面ロクロナデ。	2/5残存。
2	床面直上	土師器　坏	11.8	丸底	3.2	砂粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	1/2残存。
3	床面直上	土師器　坏	11.8	丸底	4.2	白・黒・橙色粒、黒雲母	良好	にぶい橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヘラナデ後ユビナデ、以下ヘラナデ。	5/6残存。
4	床面直上	土師器　坏	13.4	丸底	3.6	砂粒、小礫	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	3/5残存。
5	床面直上	土師器　坏	(13.8)	丸底	3.7	白・黒・橙色粒、黒雲母	良好	橙色・黒色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	2/3残存。底部炭化。
6	床面直上	土師器　坏	(14.3)	－	(3.5)	砂粒、黒雲母	軟質	橙色	外面回転ナデおよびヘラケズリか。 内面回転ナデ。	1/3残存。
7	覆土	土師器　坏	(13.9)	丸底	(4.1)	砂粒、黒雲母、小礫	良好	にぶい橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	1/3残存。
8	覆土	土師器　坏	12.6	－	3.5	白・黒色粒、黒雲母	やや軟質	橙色	外面回転ナデおよびヘラケズリか。一部ユビオサエ。 内面回転ナデ、一部ユビオサエ。	3/5残存。
9	床面直上	土師器　坏	(16.1)	－	4.9	白・黒色粒、黒雲母	良好	橙色	外面回転ナデおよびヘラケズリ。 内面回転ナデ。	2/5残存。
10	床面直上	土師器　坏	(15.7)	－	(4.3)	白・黒・橙色粒	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。一部ユビオサエ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	1/3残存。
11	床面直上	土師器　坏	(17.6)	丸底	(4.0)	白・黒色粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	2/5残存。
12	床面直上	土師器　坏	(18.8)	丸底	4.2	砂粒、黒雲母	良好	にぶい橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	5/6残存。
13	床面直上	土師器　坏	(19.6)	丸底	4.1	砂粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。一部ユビナデ、ユビオサエ。内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	1/2残存。
14	床面直上	土師器　坏	18.9	－	(4.1)	白・黒・橙色粒子、石英	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	2/5残存。外面煤付着。
15	覆土	土師器　甕	(22.7)	－	(9.7)	砂粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	口縁～胴上部片残存。

H－14

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	須恵器 高台埦	14.0	6.3	5.6	白・黒・橙色粒、チャート	軟質	灰白色	内外面ともに回転ナデ。	ほぼ完存。
2	床面直上	須恵器　坏	12.8	7.7	3.1	白・黒色粒、チャート	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	5/6残存。
3	覆土	土師質 高台埦	12.0	5.1	4.2	白・黒・橙色粒	良好	灰白色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	2/3残存。
4	床面直上	土師質　羽釜	(19.0)	－	(11.9)	白・黒色粒、黒雲母	良好	灰白色	内外面ともに回転ナデ。	口縁～胴部片残存。
5	覆土	土師質　羽釜	(19.6)	－	(13.4)	白・黒色粒、小礫	良好	浅黄橙色	内外面ともに回転ナデ。	口縁～胴部片残存。
6	床面直上	土師質　羽釜	(17.8)	－	(14.2)	白・黒・橙色粒、黒雲母	良好	灰白色	外面回転ナデ。 内面口縁部回転ナデ、胴部ヨコナデ。	口縁～胴部片残存。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(㎝)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
7	床面直上	鉄製品　釘	(11.6)	0.7	0.6	－	－	－	34.9		頭部・先端部欠損。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
8	床面直上	石製品　砥石	(8.0)	4.3	3.4	砥沢石	－	－	146.0		上部欠損。全面使用。

番号	出土位置	種別、器種	瓦当径(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
9	覆土	瓦　軒丸瓦	(21.2)	白・黒色粒、雲母	堅緻	当面・灰色 裏面・灰白色	文様面平坦化顕著。一本造り。	1/4残存。
10	床面直上	瓦　平瓦	－	白・黒・橙色粒	良好	凸・にぶい橙色 凹・灰黄褐色	凸面ケズリか。凹面布目痕、端部ケズリか。 凸面文字「歳」。	破片。

H－16

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	土師質　坏	(13.0)	7.4	3.7	赤色粒、石英、長石、雲母	良好	にぶい黄橙色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕が明瞭に残る。	2/3残存。
2	床面直上	土師質　羽釜	(21.3)	7.2	20.9	白・黒色粒、黒雲母、小礫	良好	にぶい黄橙色～褐灰色	外面回転ナデおよびヘラケズリ。内面回転ナデ。	1/3残存。

番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
3	床面直上	瓦　丸瓦	－	－	－	白・黒・赤色粒	やや軟質	凸・にぶい橙色 凹・明赤褐色	凸面無文タタキ。凹面布目痕。凸面に型押しによる文字あり。 凹面に粘土の糸挽き痕か。欠損により詳細不明のヘラ記号有り。	破片。

H－17

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	石製品　砥石	8.2	3.0	2.9	砥沢石	－	－	84.8		ほぼ完存。

番号	出土位置	種別、器種	径(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
2	床面直上	石製品 紡錘車	4.8	1.6	0.8	蛇紋岩	－	－	61.5		ほぼ完存。

H－18

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	灰釉陶器　埦	(16.0)	－	4.0	白・黒色細粒少量	普通	灰白色	内外面ともにロクロナデ。 内外面施釉。	口縁～体下部1/2残存。
2	床面直上	須恵器 高台埦	－	7.4	(4.2)	白・黒色粒、黒雲母	普通	灰色	内外面ともにロクロナデ。 底部回転糸切り後付高台。	体部～底部1/3残存。
3	床面直上	須恵器 高台埦	14.5	7.0	6.3	黒色粒子多量、白色粒子少量	普通	黄灰色	内外面ともにロクロナデ。 底部回転糸切り後付高台。内面輪積痕有り。三日月高台。	4/5残存。
4	貯蔵穴覆土	土師質　坏	(13.4)	6.4	4.7	黒・橙色粒子、黒雲母	酸化焔	にぶい黄橙色	外面ロクロナデ、一部ユビナデ。 内面ロクロナデ。	1/3残存。
5	貯蔵穴覆土	土師質　坏	(12.3)	6.3	4.9	白・黒・橙色粒子、黒雲母	やや軟質	にぶい橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ユビナデ・ユビオサエ、底部ヘラケズリ。内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	2/3残存。
6	床面直上	土師質　甕	(21.2)	－	(18.8)	白・黒・橙色粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部回転ナデ、頸部ナデ、胴部ヘラケズリ。 内面回転ナデおよびナデ。	口縁～胴部片残存。

番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	広端幅(cm)	狭端幅(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
7	覆土	瓦　丸瓦	－	－	－	砂粒、小礫、チャート	堅緻	暗灰色	凸面ナデ。文字有り。凹面布目痕。	破片。

番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	広端幅(cm)	狭端幅(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
8	床面直上	瓦　平瓦	40.6	30.4	－	白・黒・橙色粒、小礫	良好	黄褐色	凸面ナデ。凹面布目痕。凸面にヘラ描き文字有「辛廣」か。複数に割れ、破片によって色調が異なる。破損後の二次焼成か。	5/6残存。

H－19

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	灰釉陶器　埦	－	6.4	(2.5)	白色細粒多量、黒色粒少量	堅緻	灰白色	内外面ともにロクロナデ。底部回転糸切り後付高台（重ね焼痕有）。内外面釉少量付着。	体下部～底部残存。
2	床面直上	土師質高台埦	－	－	－	白・黒・橙色粒、黒雲母	軟質(酸化焔?)	黒褐色	内外面ともにロクロナデ。底部回転糸切り後付高台。外面煤付着。	体下部～底部片残存。
3	覆土	土師質　羽釜	(17.8)	－	(6.2)	白・黒・橙色粒子、黒雲母	良好	にぶい黄橙色	内外面ともにロクロナデ。	口縁部～鍔部片残存。

H－21

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	土師器　坏	(14.4)	－	(4.3)	砂粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ以下ヘラケズリ。内面口縁部ヨコナデ以下ヘラナデ。	口縁～体部片残存。

H－22

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	須恵器　蓋	－	つまみ部(4.6)	－	白・黒色粒、チャート	普通	灰色	外面つまみ部ロクロナデ、天井部ロクロナデ後回転ヘラケズリ。内面ロクロナデ。	天井部片残存。
2	カマド	土師器　甕	20.6	4.1	27.1	白・黒・橙色粒、黒雲母	良好	橙色	外面把手部ロクロナデ、以下ロクロナデ後ヘラケズリ。内面ロクロナデ。胴下半被熱、煤付着部分有り。	口縁一部・底部一部欠損。
番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	広端幅(cm)	狭端幅(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
3	カマド	瓦　丸瓦	－	－	－	白・黒色粒、チャート	堅緻	灰色	凸面縄目タタキ。凹面布目痕。	約1/4残存。
4	カマド	瓦　丸瓦	－	－	－	白・黒・橙色粒、黒雲母	堅緻	灰黄褐色	凸面ナデか。端部ヘラケズリ後面取り。凹面布目痕。凹面に布の綴目痕有り。「△」のヘラ記号らしきもの有り。	約3/4残存。
5	床面直上	瓦　平瓦	38.4	26.7	16.9	白・黒色粒、黒雲母、小礫	堅緻	凸・灰白 凹・灰黄褐	凸面ナデか。凹面布目ナデ消し（一部布目残る）。凹面に模骨の連結痕らしきくぼみあり。	ほぼ完存。

H－23

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴		残存状況、備考
1	床面直上	須恵器　坏	(14.2)	(10.4)	3.8	黒色粒、小礫	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。		2/5残存。
番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
2	覆土	石製品 こも編石	13.9	4.4	2.7	緑泥片岩	－	－	294.7		完存。
3	覆土	石製品　砥石	13.8	4.4	3.15	片石	－	－	358.6		完存。

H－24

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	灰釉陶器　埦	13.8	7.4	4.7	白・黒色粒、小礫	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。内面に他遺物融着。	3/4残存。
2	床面直上	灰釉陶器　埦	－	7.3	2.3	白・黒色粒	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。極わずかに灰釉が見られる。内面に他遺物の融着および重ねた際に生じたと思われる凹み有り。	体下部～底部片残存。
3	床面直上	須恵器 高台埦	12.9	6.4	5.1	白・黒色粒、黒雲母	やや軟質	灰黄色	内外面ともに回転ナデ。外面高台貼付時の接合痕が明瞭に残る。	3/4残存。
4	床面直上	土師質 高台埦	－	7.3	(4.5)	白・黒・橙色粒、小礫	良好	にぶい黄橙色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	体部～底部残存。
5	床面直上	土師質　坏	(13.6)	(7.6)	(3.8)	石英、長石、小礫	やや軟質	灰白色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	1/2残存。
6	床面直上	土師質　土釜	(12.8)	－	(11.3)	砂粒、黒雲母	良好	灰褐色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	口縁～胴下部1/3残存。
7	床面直上	土師質　羽釜	(18.8)	－	(11.7)	砂粒、白色鉱物、石英	良好	にぶい黄橙色	ロクロ成形。外面一部ヘラケズリ。鍔三角形。口縁は内弯する。	口縁～胴上部片残存。
番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
8	床面直上	瓦　丸瓦	43.0	－	－	白・黒色粒、チャート	堅緻	黄灰色	凸面ナデおよびケズリ。凹面布目痕。	2/3残存。
9	床面直上	瓦　平瓦	－	－	－	白・黒・橙色粒	良好	灰黄褐色	凸面布目痕。凹面ナデ。凹面に「井」のヘラ記号有り。上下不明。	破片。
10	床面直上	瓦　平瓦	32.9	－	－	白色粒・チャート	堅緻	凸・灰白色 凹・灰色	凸面ナデか。長軸方向に縄目状の痕跡が残る。凹面布目痕（一部布目ナデ消し）。	2/3残存。

H－25

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	土師質 高台埦	(15.1)	7.3	6.1	白・黒・橙色粒、黒雲母	酸化焔	にぶい橙色	内外面ともにロクロナデ。底部回転糸切り後付高台。	2/3残存。
2	床面直上	土師質　坏	8.8	4.9	2.3	白・黒・橙色粒	良好	にぶい黄橙色	内外面ともにロクロナデ。底部回転糸切り。	完存。
3	床面直上	土師質　坏	9.2	6.0	2.1	白・黒・橙色粒、石英	良好	浅黄色	内外面ともにロクロナデ。底部回転糸切り。	完存。
番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
4	床面直上	石製品　砥石	6.8	5.5	3.9	砥沢石	－	－	142.3	表・裏・両側面・上面・下面全てに擦痕有り。表面右下に円孔１つ有り。	ほぼ完存。
番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
5	床面直上	瓦　平瓦	(13.6)	(12.3)	1.9	白・黒色粒、小礫	堅緻	黄灰色	凸面縦ナデ後縄目タタキ。凹面縦ナデ。一部ユビナデ。	破片。

H－26

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	須恵器　蓋	16.2	つまみ部5.3	2.9	白・黒色粒、小礫、チャート	普通	灰白色	外面ロクロナデ、胴部ロクロナデ後回転ヘラケズリ。内面ロクロナデ後ユビナデ。	5/6残存。
2	覆土	須恵器　蓋	－	つまみ部5.9	－	白・黒色粒、黒雲母	普通	灰色	外面ロクロナデ、胴部ロクロナデ後ヘラケズリ。内面ロクロナデ。	天井部片残存。
3	床面直上	土師器　坏	(12.7)	丸底	(3.9)	白・黒色細粒	酸化焔	にぶい黄橙色	外面口縁部ロクロナデ、底部ヘラケズリ。内面口縁部ロクロナデ、底部ロクロナデ後ユビナデ。	1/4残存。
4	カマド	土師器　坏	13.0	丸底	4.1	砂粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	ほぼ完存。
5	カマド	土師器　坏	11.4	丸底	3.1	白・黒色粒、黒雲母	良好	橙色	外面口縁部回転ナデ、以下ヘラケズリ。内面回転ナデ、一部ユビオサエか。	ほぼ完存。
6	床面直上	土師器　甕	22.4	－	(10.4)	白・黒・橙色粒、黒雲母	軟質	明黄褐色	外面口縁部回転ナデおよびユビオサエ、胴部ヘラケズリ。内面回転ナデおよびナデか。	口縁～肩部残存。

Ｈ－27

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	須恵器　坏	(12.4)	(11.8)	2.9	白・黒色粒	堅緻	灰色	内外面ともに回転ナデ。外面に自然釉付着。	1/3残存。

Ｔ－1

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	土師器　坏	12.0	7.9	(3.5)	細粒、雲母	良好	にぶい黄橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下ナデ、底部ケズリ。内面ヨコナデ。	2/5残存。

Ｔ－3

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	須恵器　坏	－	(7.8)	(2.9)	白・黒色粒、雲母	軟質	灰白色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	体下部～底部残存。
2	床面直上	須恵器 高台埦	－	6.7	(3.6)	黒色細粒	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	1/3残存。

Ｔ－4

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	鉄製品　釘	(6.3)	1.7	1.4	－	－	－	20.3		先端部欠損。

Ｗ－1

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	瓦	－			黒・橙色粒	堅緻	黄灰色	ナデおよび端部ケズリ。 道具瓦の一種と思われるが詳細は不明。	破片。鴟尾？

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
2	覆土	石製品　石塔	(9.9)	(9.3)	(5.4)	粗粒安山岩	－	－	424.6		破片。
3	覆土	石製品 五輪塔　水輪	20.5	21.1	13.0	安山岩	－	－	7700		ほぼ完存。
4	覆土	石製品　板碑	(20.8)	(7.8)	2.3	緑泥片岩	－	－	481.0		破片。

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
5	覆土	置きカマド	－	－	－	白・黒色粒、雲母	良好	鍔上部・明褐色 他・灰黄褐色	全体的にナデ、一部庇接合時にユビオサエ。 カマドの炊口上部～庇にかけての破片。庇の接合痕明瞭。	破片。

Ｗ－2

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	石製品　板碑	(12.1)	(9.7)	(2.1)	緑泥片石	－	－	288.0		破片。

Ｗ－3

番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	瓦　軒平瓦	－	－	－	白・黒色粒、黒雲母	良好	凸・灰黄色 凹・にぶい黄色	両面ともにナデ、端部ヘラケズリか。 均整唐草文か。H-2号出土軒平瓦と同型式。	破片。

Ｄ－14

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	灰釉陶器	16.0	8.1	5.5	粘土質	堅緻	灰黄色	内外面ともに回転ナデ。	3/5残存。

Ｐ－２

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	土師器　甕	(11.2)	－	(10.3)	白・黒色粒、石英	良好	黒褐色、橙色	外面口縁部ナデ、胴部ケズリ。一部ハケメ後ケズリか。 内面口縁部ハケメ、以下ハケメ後ユビオサエ。	口縁～胴部片残存。

遺構外

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	－	縄文土器　深鉢	(19.6)	－	(17.3)	白・灰色粗粒、小礫	良好	にぶい黄褐色	緩やかな波上口縁、以下縦位沈線のち隆線による楕円区画、以下縦位条線のち３条の幅広横位沈線で区画し、以下渦巻文。	口縁～胴上部1/2欠損・底部欠損。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
2	－	打製　石鏃	1.6	1.35	0.4	黒色頁岩	－	－	0.7	凹基無茎鏃。全面加工。	完存。
3	－	打製　石鏃	(3.0)	1.7	0.55	黒色頁岩	－	－	2.2	凸基有茎鏃。全面加工。	先端部・基部欠損。
4	－	加工痕のある剥片	5.2	5.2	1.0	黒色頁岩	－	－	30.4	予め成型された剥片を剥離した後、全周にやや粗い調整加工が施されている。表面に一部礫面を残す。	完存。
5	－	打製　凹石	9.1	6.0	4.25	輝石安山岩	－	－	121.7	表・裏面に比較的深い凹みを形成。両側面にあばた状の凹み部を持つ。	完存。
6	－	打製　石斧	12.4	4.8	2.1	安山岩	－	－	134.4	短冊形。横長の剥片が素材。粗い加工により石器を成型し、表・裏両面に受熱による剥離面有り。両側縁には丁寧な調整加工が施されている。刃部は鋭利だが使用による欠損か。	完存。
7	－	打製　石斧	17.3	5.3	2.8	黒色頁岩	－	－	312.1	短冊形。大型の縦長剥片が素材。表面上半に礫面を残す。両側縁は丁寧な調整加工が施されている。磨耗痕が顕著だが、刃部は欠損又は二次加工が施されている。	完存。
8	－	打製　石斧	(9.3)	4.7	2.0	砂岩	－	－	112.8	短冊形。表面に礫面を残す。裏面は第一剥離面が残り、成型。調整加工は側縁に施されている。磨耗痕が顕著である。刃部欠損。（裏面実測）	下半部（刃部）欠損。
9	－	打製　石斧	(9.0)	(4.8)	2.1	ホルンフェルス	－	－	98.1	撥形。刃部は欠損しているが、撥形と思われる。粗い成型の後、側縁にもやや粗い調整加工が施されている。	下部（刃部）欠損。
10	－	打製　石斧	(8.2)	4.3	1.95	黒色頁岩	－	－	104.2	短冊形。表面に礫面が残る縦長剥片が素材。側縁に粗い成型・調整加工が施されている。刃部欠損。	下半欠損。
11	－	打製　石斧	(7.9)	3.9	1.45	黒色頁岩	－	－	55.1	短冊形。横長剥片が素材。表面は成型後側縁調整加工が施されている。裏面は第一剥離面が残り、側縁のみ調整加工が施されている。風化が著しい。	下部（刃部）欠損。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
12	－	磨製　石斧	8.8	4.0	1.9	蛇紋岩	－	－	110.3	表・裏・上面に擦痕の顕著な砥ぎ面を残す。両側縁には砥ぎ面と敲打痕がみられ、右側面には敲打による凹み部を形成している。	完存。

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
13	－	灰釉陶器　埦	(10.0)	(5.1)	3.2	白・黒色粒子少量	普通	灰白色	内外面ロクロナデ。底部付高台。内外面施釉。	1/5残存。

番号	出土位置	種別、器種	全長(cm)	広端幅(cm)	狭端幅(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
14	－	瓦　丸瓦	38.2	(20.8)	14.7	白・黒色粒、小礫	堅緻	灰色	凸面ナデ。凹面ナデおよび布目痕。	ほぼ完存。
15	－	瓦　丸瓦	39.75	19.5	(12.6)	白・黒色粒、橙色粗粒	良好	にぶい黄橙色	凸面縄目タタキ後ナデ消し。凹面布目痕。	ほぼ完存。
16	－	瓦　平瓦	42.3	－	－	白・黒・橙色粒、雲母、小礫	堅緻	凸・灰～灰黄 凹・灰黄褐色	凸面無文タタキか。凹面布目痕。 凸面にヘラ描き文字「子」か。	完存。

32区出土遺物観察表

Ｈ－１

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	須恵器　壺	－	－	－	黒色粒、白色鉱物	硬質	暗灰色		肩部片？残存。

Ｈ－２

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	須恵器　壺	－	－	(10.2)	白・黒色粒、小礫	堅緻	灰色	内外面ともに回転ナデ。底部は高台剥離か。	胴部中位～底部残存。

Ｈ－３

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	土師器　坏	(12.2)	－	(4.2)	黒・橙色粒	軟質	橙色	外面口縁部回転ナデ、底部1.1cm単位のヘラケズリ。 内面回転ナデ。	1/4残存。
2	床面直上	土師器　坏	(13.2)	－	(4.3)	白・黒色粒	良好	灰黄色	外面口縁部回転ナデ、底部約0.8cm単位のヘラケズリ。 内面回転ナデ。	1/3残存。
3	覆土	土師器　坏	(13.4)	－	(4.2)	白・黒・橙色粒	軟質	橙色	外面口縁部回転ナデ、底部1.1cm単位のヘラケズリ。 内面回転ナデ。	1/4残存。
4	床面直上	土師器　坏	(11.5)	－	3.5	黒・橙色粒	軟質	橙色	外面口縁部回転ナデ、底部約0.9cm単位のヘラケズリ。 内面回転ナデ。	1/3残存。
5	床面直上	土師器　坏	(11.9)	－	(3.5)	白・黒色粒、小礫	やや軟質	灰黄色	内外面ともに回転ナデ。 外面底部はヘラケズリと思われるが摩滅により不明。	1/5残存。
6	床面直上	土師器　坏	(12.2)	－	(3.8)	赤色粒	軟質	橙色	内外面ともに回転ナデ。 外面底部はヘラケズリと思われるが摩滅により不明。	口縁～体部2/5残存。

Ｈ－３

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
7	床面直上	土師器　坏	12.3	－	4.1	黒・赤色粒	軟質	橙色	外面口縁部回転ナデ、底部約1.0cm単位のヘラケズリ。 内面口縁部回転ナデ、底部ユビオサエ。	3/5残存。
8	床面直上	土師器　坏	(13.3)	－	3.9	赤色粒	軟質	橙色	外面口縁部回転ナデ、底部約1.0cm単位のヘラケズリ。 内面回転ナデ。	2/5残存。
9	床面直上	土師器 小型壺	(12.9)	－	9.2	白・黒色粒、雲母	良好	浅黄橙色	外面回転ナデ、底部ヘラケズリ。 内面口縁部回転ナデ、以下ナデ。	2/5残存。
10	床面直上	土師器 小型壺	11.3	－	12.5	黒・橙色粒	軟質	浅黄橙色	外面口縁部回転ナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部回転ナデ、以下ナデ。底部にオサエか。	口縁部一部欠損。
11	床面直上	土師器　甕	(16.3)	－	(14.3)	石英・長石	良好	浅黄橙色	外面口縁部回転ナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部回転ナデ、以下ナデ。	口縁～胴中位2/3残存。

Ｈ－４

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	土師器　坏	(17.5)	－	(5.5)	黒色粒	軟質	橙色	外面回転ナデ、底部ヘラケズリ（摩滅により不明瞭）。 内面回転ナデ。	口縁～体部片残存。
2	床面直上	土師器　坏	(10.9)	－	(3.8)	黒・橙色粒	軟質	橙色	内外面とも摩滅により詳細不明だが、他遺物同様に外面回転ナデ、底部ヘラケズリ、内面回転ナデと考えられる。	口縁～体部片残存。
3	床面直上	土師器　甕	(22.8)	－	(13.3)	砂粒、粗粒、小礫	良好	橙色	外面口縁部ヨコナデ、以下縦位ヘラケズリ。 内面ヨコナデおよびヘラナデ。	口縁～胴上部片残存。
4	床面直上	土師器　甕	13.2	－	(9.1)	砂粒	良好	明赤褐色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヨコナデ、以下ヘラナデ。	口縁～胴部1/2残存。

Ｈ－５

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	須恵器 高台埦	－	－	(2.7)	白・黒色粒、石英	普通	灰白色	内外面ともにロクロナデ。底部付高台。	体下部～底部片残存。

Ｈ－６

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	土師質　坏	(13.3)	－	(4.0)	白・黒色細粒、黒雲母	良好	灰褐色	外面口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ。一部ユビオサエ。 内面口縁部ヨコナデ、底部ヘラナデ。	1/5残存。 内外面漆塗布
2	覆土	土師器 小型台付甕	(13.4)	－	(12.4)	白・黒・橙色粗粒、チャート	良好	にぶい褐色	外面口縁部ヨコナデ、以下ヘラケズリ。 内面口縁部ヘラナデ後ヨコナデ、以下ヘラナデ。	口縁～胴下部片残存。

Ｈ－８

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	須恵器　坏	(12.2)	5.9	3.8	白・黒色粒	やや軟質 酸化焔	にぶい黄橙色	内外面ともにロクロナデ。外面一部ロクロナデ後ユビナデ。 底部回転糸切り痕。	2/3残存。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	胎土	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
2	覆土	鉄滓	6.2	4.6	3.2	鉄	－	黒色	70.3		

Ｈ－10

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	常滑　甕	－	(11.8)	(5.6)	白・黒色粒、小礫	普通	灰褐色	外面ロクロナデおよびロクロナデ後ユビナデ。 内面ロクロナデ。外面鉄釉。	胴下部～高台部片残存。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
2	覆土	鉄製品　釘	6.0	1.1	2.2	－	－	－	15.1		ほぼ完存。

Ｈ－12

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	石製品　茶臼	－	－	－	粗粒安山岩	－	黒褐色	64.9		下段破片。

Ｔ－１

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	灰釉陶器　埦	－	(7.8)	(2.6)	白・黒色細粒	堅緻	灰白色	外面ロクロナデおよびロクロナデ後ヘラケズリ。内面ロクロナデ。底部ケズリ出し後ユビナデか。内・外面自然釉。	体下部～底部1/5残存。
2	覆土	灰釉陶器　埦	－	(7.8)	(2.2)	粘土質	堅緻	灰白色	内外面ともに回転ナデ。 外面に高台貼付時の接合痕。内面に他遺物の融着有り。	体部下位～底部残存。
3	覆土	須恵器　蓋	－	－	(1.6)	白色粒	堅緻	灰色	内外面ともに回転ナデ。残存状況により詳細不明だが、外面は傾斜変換点より回転ヘラケズリか。	つまみ部～天囲部残存。
4	覆土	須恵器 高台埦	－	－	(11.5)	石英、長石	良好	灰色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	体下部～底部片残存。
5	覆土	須恵器 高台埦	－	(6.5)	(3.1)	石英、長石、 小礫	堅緻	灰色	外面ナデおよび回転ナデ。内面回転ナデ。底部に糸切り痕。	体部～底部残存。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
6	覆土	鉄製品　釘	(4.2)	1.1	1.6	－	－	－	6.6		先端欠損。
7	覆土	鉄製品　釘	4.3	1.1	1.1	－	－	－	5.8		完存。

Ｗ－２

番号	出土位置	種別、器種	推定径(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	石製品　石臼	(28.6)	11.0	安山岩	－	－	3200		約1/4残存。

Ｉ－１

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	土師質　坏	－	(8.2)	(3.4)	黒・橙色粒	不良	にぶい黄橙色	外面回転ナデが若干残るのみで、ほぼ磨滅。 内面磨滅により詳細不明。	体部～底部片残存。 焼成不良で磨滅著しい。

Ｉ－２

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	青磁　折縁皿	－	－	(2.2)	粘土質	堅緻	灰オリーブ色		口縁～体部片残存。
2	覆土	摺鉢	(33.0)	－	(7.15)	白・黒色粒、黒 雲母、橙色粗粒	やや軟質	灰黄褐色	内外面ともに回転ナデか。５条１単位。	口縁～体部片残存。

番号	出土位置	種別、器種	直径(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
3	覆土	石製品　石臼	(30.0)	12.7	粗粒安山岩	－	－	1060		上臼3/5残存。

番号	出土位置	種別、器種	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
4	覆土	青銅 留金具	(4.7)	(1.8)	0.9	－	－	－	6.2		端部欠損。

Ｄ－12

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	覆土	土師質　坏	7.8	5.5	2.0	白・黒色細粒	良好	暗灰黄色 黒色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	9/10残存。

Ｄ－17

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	床面直上	須恵器　坏	(12.4)	－	(4.1)	白・黒・赤色粒、 小礫	堅緻	灰白色	外面口縁部回転ナデ、底部ヘラケズリ。内面回転ナデ。	2/3残存。

Ｘ－１

番号	出土位置	銭種名	国名	初鋳年代	材質	外径	穿径	厚さ	重量	備考
1	覆土	天禧通寶	北宋	1017年	銅	24.37㎜	6.24㎜	1.30㎜	3.0ｇ	

遺構外

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
1	－	石器 削器・掻器か	6.1	6.3	0.9	緑泥片岩	－	－	50.9	表・裏面に第一剥離を残す。全周する調整加工が表面に多く、掻器として使用されたとも考えられる。	完存。

番号	出土位置	種別、器種	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	胎土	焼成	色調	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
2	－	土師器　坏	(10.9)	－	2.7	白・黒・橙色粒	やや軟質	橙色	外面回転ナデ、底部ヘラケズリ。内面回転ナデ。	1/4残存。
3	－	土師質 高台埦	(10.5)	5.8	4.8	白・黒色粒、 小礫	良好	明赤褐色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	3/5残存。
4	－	土師質 高台埦	(12.1)	(6.9)	5.1	白色粒、 黒色粗粒	良好	黒褐色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	2/5残存。
5	－	土師質　坏	7.3	5.4	2.3	白・黒色粒	やや軟質	黒褐色	内外面ともに回転ナデ。底部に糸切り痕。	3/4残存。
6	－	土師器 台付甕	13.9	8.3	16.0	白・黒色粒	良好	褐灰色	外面回転ナデおよびヘラケズリ。内面回転ナデおよびナデ。	3/4残存。

番号	出土位置	種別、器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	孔径(cm)	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
7	－	鉄製品　鉄鎌	(6.1)	1.5	0.4	－	－	－	5.9	－	基部欠損。

番号	出土位置	種別、器種	推定径(cm)	厚さ(cm)	石質	焼成	色調	重さ(g)	器形、成・整形、文様等の特徴	残存状況、備考
8	－	石製品　石臼	(28.0)	－	粗粒輝石安山岩	－	－	533.4		臼片残存。

Ⅵ　まとめ

今回の調査では、縄文時代から古墳・平安・中世に亘る遺構を確認した。ここでは、元総社蒼海遺跡群の従来の時期区分に従い、Ⅰ期（～７世紀前半：律令期以前）、Ⅱ期（７世紀後半～ 10 世紀初頭：律令期）、Ⅲ期（10 世紀前半～：律令期以降）の３期に分けて検討し、まとめとしたい。

Ⅰ期（～７世紀前半：律令期以前）

今回の調査において、縄文時代の住居跡はＪ－１（諸磯ｃ期）、Ｊ－２（加曾利Ｅ３期）の２軒を確認した。また、Ｊ－２西側では加曾利Ｅ４期の埋甕を伴う土坑が確認されている（ＪＤ－７）。古墳時代では前期の遺構としてＨ－１、Ｈ－５を確認した。縄文から古墳時代前期に亘る住居跡はいずれも 31 区西側の台地部で検出しており、散発的な検出状況ではあるが、立地に関する一定の傾向を示しているといえよう。古墳時代後期の遺構としては、32 区において住居跡が３軒確認されている（Ｈ－３・４・６）。

Ⅱ期（７世紀後半～ 10 世紀初頭：律令期）

この時期に該当する住居跡は、16 軒確認されている（31 区Ｈ－２・６・８・９・12・13・15・18・21・22・23・26・27、32 区Ｈ－１・２・５）。出土遺物から判断すると、８～９世紀後半がが主体となり、立地は本遺跡においては偏ることがなく、散発的な検出となっている。住居跡の主軸方向はＮ－ 67°～ 104°－Ｅで平均値はＮ－ 85°－Ｅであり、竈は東壁やや南寄りに構築され、構築材として瓦の使用が認められる。

Ⅲ期（10 世紀前半～：律令期以降）

この時期に該当する住居跡は、16 軒確認されており、10 ～ 11 世紀代の 11 軒と中世の５軒に区分できる。平安時代の住居跡に関しては、主軸方向はＮ－ 83°～ 112°－Ｗで平均値はＮ－ 96°－Ｅとなっており、検出した竈はいずれも東壁に構築され、構築材として瓦の使用も確認されている。

また、中世の方形竪穴と考えられる５軒については、いずれも壁柱穴をもつ構造となっており、主軸方向はＮ－２°－Ｗ～Ｎ－ 11°－Ｅとなっているが、32 区Ｈ－８・９・10・11 の５軒については軸のブレは僅かに５°であり、南北・東西に並ぶ遺構の立地、ほぼ同一の規格を考慮に入れると、出土遺物がないために限定的な判断ではあるが、何かしら

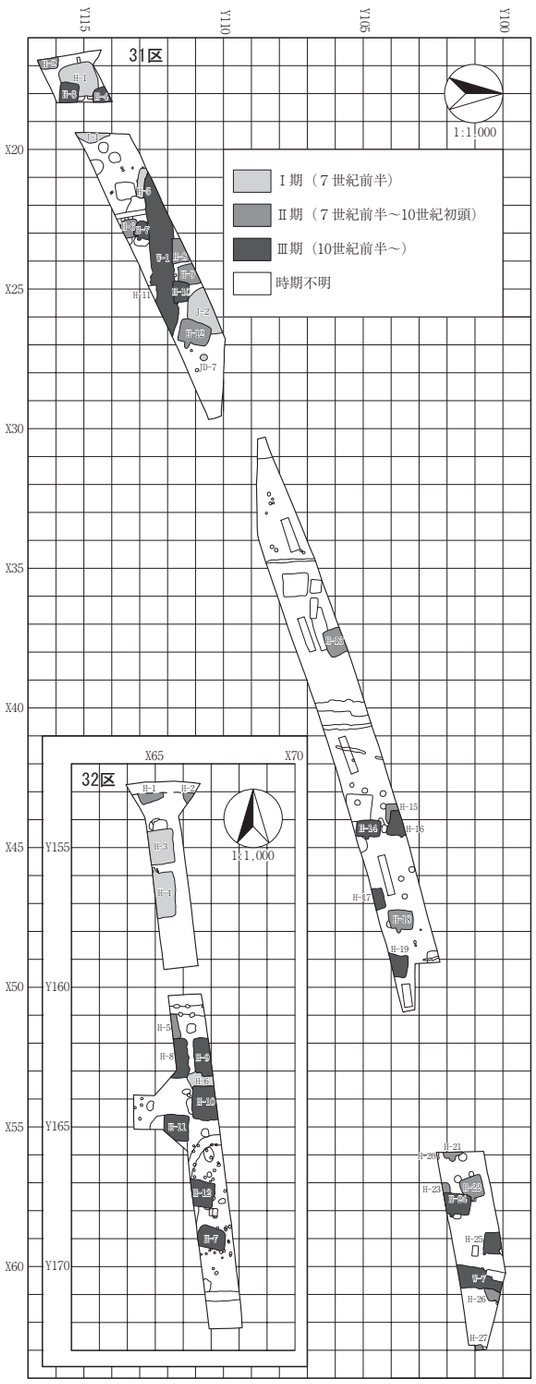


Fig. 7　元総社蒼海遺跡群の竪穴住居跡時期別分布図

の連続性を窺わせる。

最後ではあるが、元総社蒼海遺跡群の立地する、染谷川と牛池川に挟まれた台地上の土地利用のあり方について、調査の進展に伴う今後の解明を期待し、結びとしたい。

参考文献

鈴木雅浩・長谷川一郎・折原洋一・湯原勝美　『元総社小見遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2001

斎木一敏・長谷川一郎・土生朗治・松川由之　『元総社小見Ⅲ遺跡・元総社草作Ⅴ』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2003

斎木一敏・高坂麻子　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅳ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2003

近藤雅順・稲垣慎太郎　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅶ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2004

近藤雅順・稲垣慎太郎　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅷ遺跡・総社甲稲荷塚大道西Ⅳ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2004

岩崎琢郎・高坂麻子　『元総社蒼海遺跡群　元総社小見内Ⅸ遺跡・総社閑泉明神北Ⅴ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2005

近藤雅順・池田史人　『元総社蒼海遺跡群（４）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2006

高橋亨・高坂麻子　『元総社蒼海遺跡群（５）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2006

阿久澤真一・神宮聡・清水亮介　『元総社蒼海遺跡群（13）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2008

近藤雅順・村越純子　『元総社蒼海遺跡群（14）（19）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2008

梅沢克典・瀬田哲夫　『元総社蒼海遺跡群（15）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2008

梅沢克典・櫻井和哉・パリノサーヴェイ株式会社　『元総社蒼海遺跡群（16）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2008

梅沢克典・宇佐美義春　『元総社蒼海遺跡群（18）』前橋市埋蔵文化財発掘調査団　2008

高井佳弘「上野国における一本造り軒丸瓦の導入と展開」『研究紀要』22（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団　2004

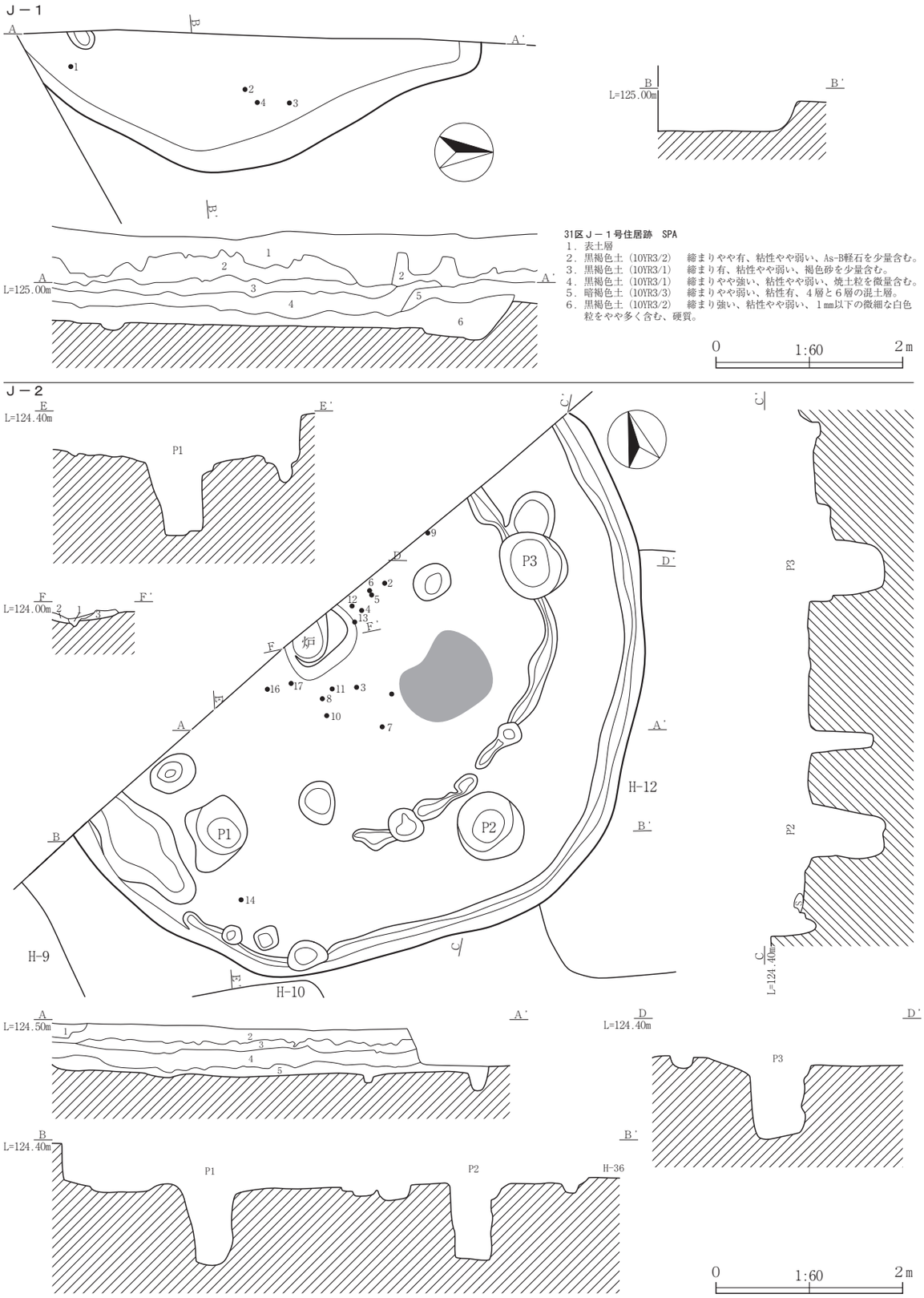
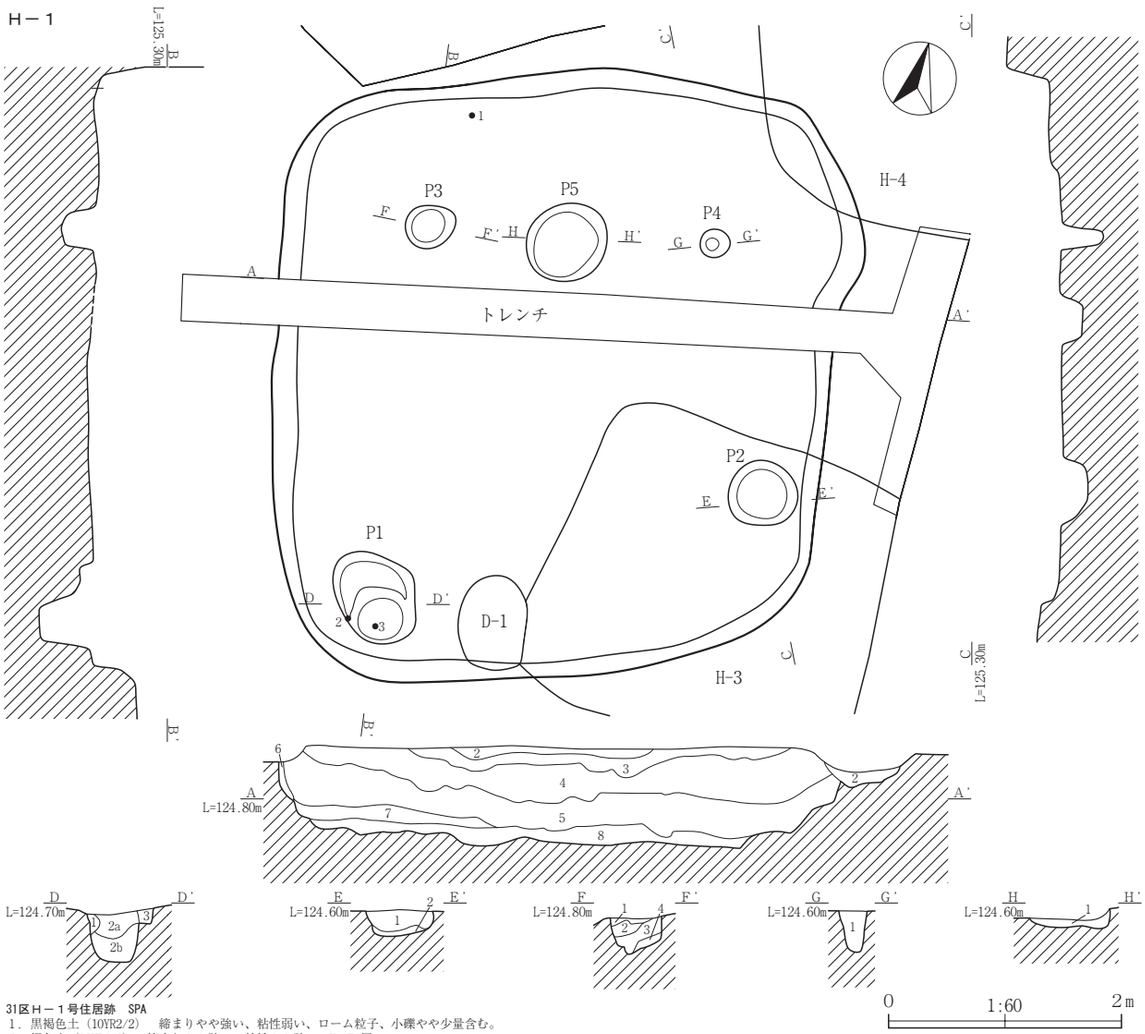


Fig.8　31区 Ｊ－１・２号住居跡



31区Ｈ－１号住居跡　SPA
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや強い、粘性弱い、ローム粒子、小礫やや少量含む。
2．褐色土（10YR4/6）　締まりやや強い、粘性やや強い、Hr-FA層。
3．にぶい黄橙色土（10YR7/3）　締まり有、粘性弱い、Hr-FA１次堆積層、厚さ１cm前後のユニットが４層確認出来る。最下層は、赤橙色がかかった火山灰層。
4．黒色土（10YR2/2）　締まりやや弱い、粘性やや弱い、φ0.5mm前後の白色軽石粒を多く含む。
5．黒褐色土（10YR3/1）　締まりやや強い、粘性やや強い、ローム粒やや多く、φ0.1～0.3cmの白色軽石粒を少量含む。
6．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり弱い、粘性弱い、砂質のローム粒・ロームブロックを多く含む。
7．灰黄褐色土（10YR4/2）　締まり中、粘性中、砂質のローム粒子やや多く含む。
8．暗褐色土（10YR3/3）　締まり強い、粘性強い、砂質のロームブロック、ローム粒を少量含む、黒色土ブロックを少量含む。

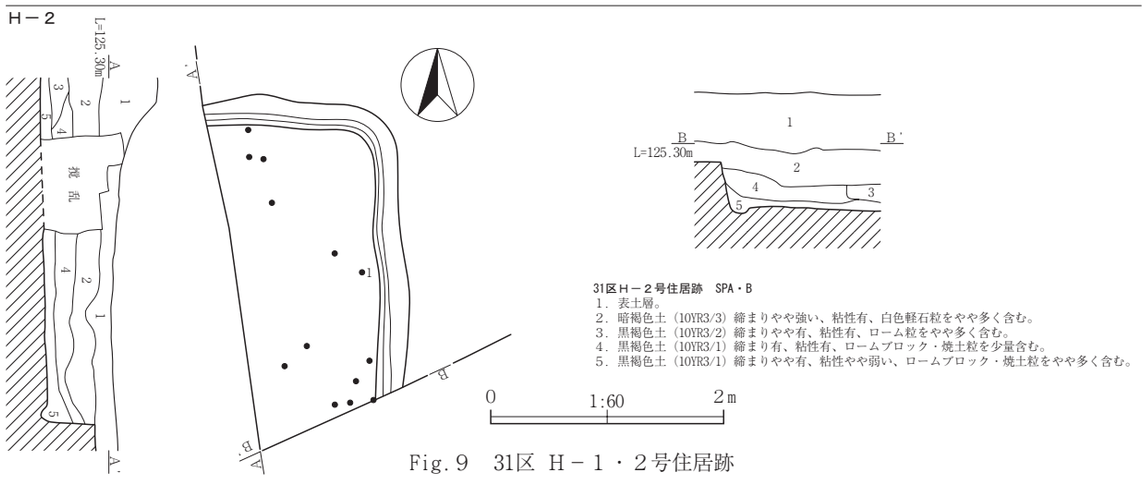
31区Ｈ－１号住居跡Ｐ１　SPD
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性弱い、ロームブロックを少量含む。
2．黒褐色土（10YR3/1）　締まり弱い、粘性弱い、白色軽石粒をやや多く含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒を多く含む。

31区Ｈ－１号住居跡Ｐ２　SPE
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性弱い、φ0.2～0.5cmの白色軽石粒をやや多く含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まり弱い、粘性弱い、砂質のローム粒子を多く含む。

31区Ｈ－１号住居跡Ｐ３　SPF
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まり弱い、粘性弱い、小礫を微量含む。
2．暗褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性弱い、ロームブロック、ローム粒を多く含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒子、小礫を少量含む。
4．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり弱い、粘性弱い、砂質のロームブロックを多く含む。

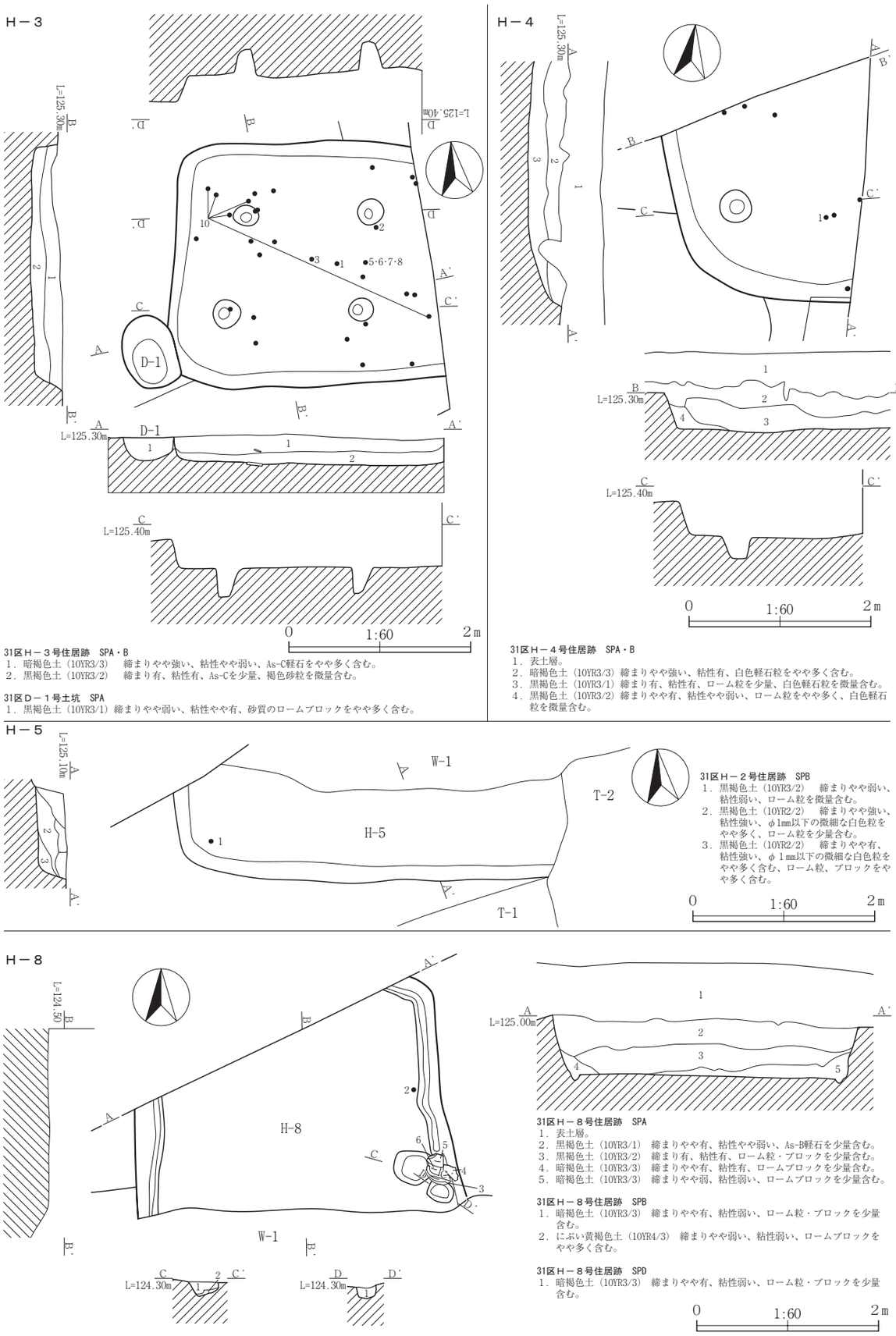
31区Ｈ－１号住居跡Ｐ４　SPG
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり弱い、粘性弱い、白色軽石粒・ローム粒子をやや多く含む。

31区Ｈ－１号住居跡Ｐ５　SPH
1．黒褐色土（10YR3/1）　締まりやや弱い、粘性やや弱い、焼土・炭化物を微量含む。



31区Ｈ－２号住居跡　SPA・B
1．表土層。
2．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや強い、粘性有、白色軽石粒をやや多く含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）締まりやや有、粘性有、ローム粒をやや多く含む。
4．黒褐色土（10YR3/1）締まり有、粘性有、ロームブロック・焼土粒を少量含む。
5．黒褐色土（10YR3/1）締まりやや有、粘性やや弱い、ロームブロック・焼土粒をやや多く含む。

Fig.9　31区 Ｈ－１・２号住居跡



31区Ｈ－３号住居跡　SPA・B
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや強い、粘性やや弱い、As-C軽石をやや多く含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、As-Cを少量、褐色砂粒を微量含む。

31区Ｄ－１号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR3/1）締まりやや弱い、粘性やや有、砂質のロームブロックをやや多く含む。

31区Ｈ－４号住居跡　SPA・B
1．表土層。
2．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや強い、粘性有、白色軽石粒をやや多く含む。
3．黒褐色土（10YR3/1）締まり有、粘性有、ローム粒を少量、白色軽石粒を微量含む。
4．黒褐色土（10YR3/2）締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒をやや多く、白色軽石粒を微量含む。

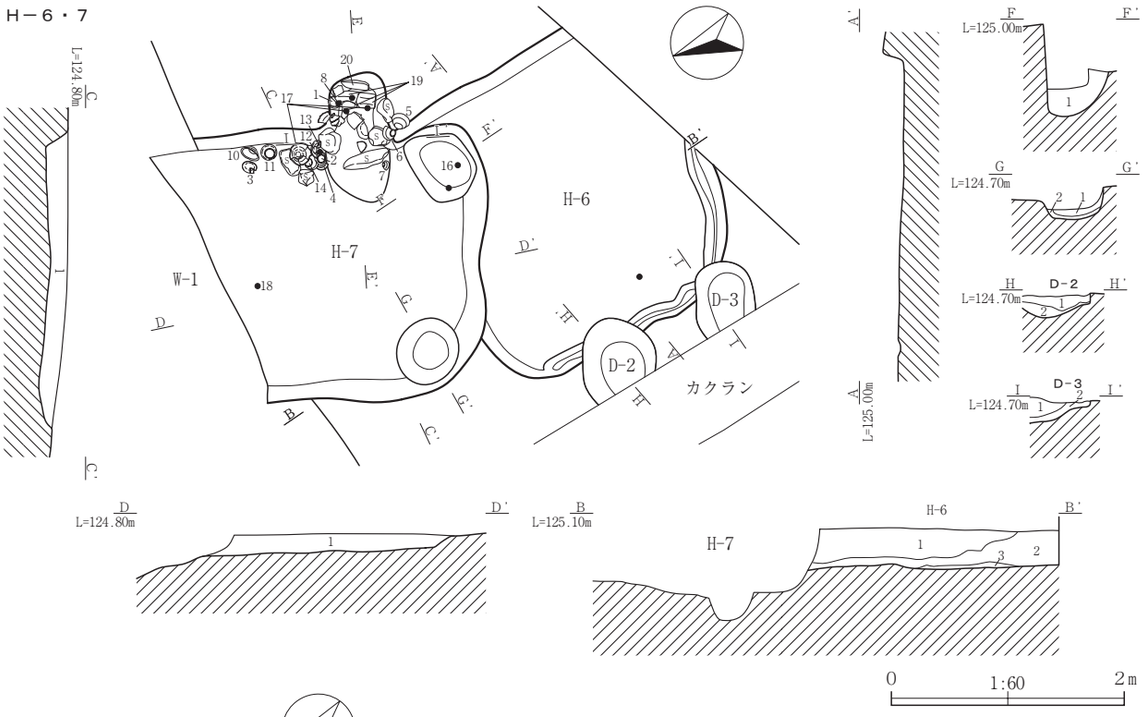
31区Ｈ－２号住居跡　SPB
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや強い、粘性強い、φ1mm以下の微細な白色粒をやや多く、ローム粒を少量含む。
3．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや有、粘性強い、φ１mm以下の微細な白色粒をやや多く含む、ローム粒、ブロックをやや多く含む。

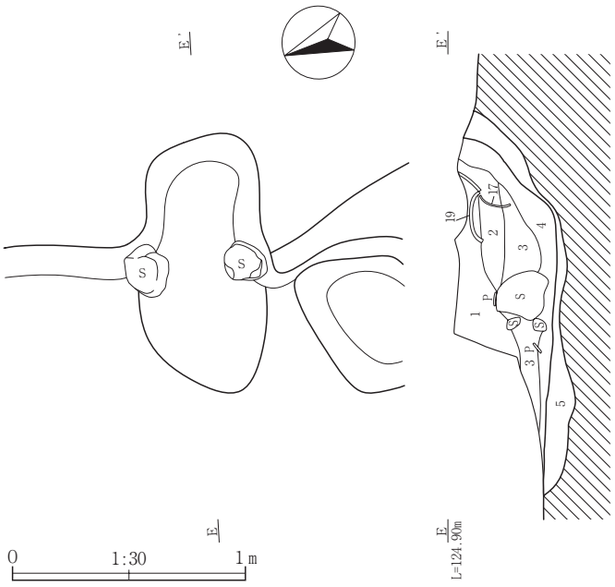
31区Ｈ－８号住居跡　SPA
1．表土層。
2．黒褐色土（10YR3/1）　締まりやや有、粘性やや弱い、As-B軽石を少量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、ローム粒・ブロックを少量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、ロームブロックを少量含む。
5．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱、粘性弱い、ロームブロックを少量含む。

31区Ｈ－８号住居跡　SPB
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・ブロックを少量含む。
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、ロームブロックをやや多く含む。

31区Ｈ－８号住居跡　SPD
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・ブロックを少量含む。

Fig.10　31区 Ｈ－３～５・８号住居跡





31区Ｈ－６号住居跡　SPB
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや強い、粘性やや弱い、As-C軽石粒をやや多く、ロームブロックを少量含む。
2．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性有、As-C軽石粒をやや多く、炭化物を微量含む。
3．暗褐色土（10YR2/3）　締まりやや弱い、粘性やや弱い、ローム粒・ブロックをやや多く含む。

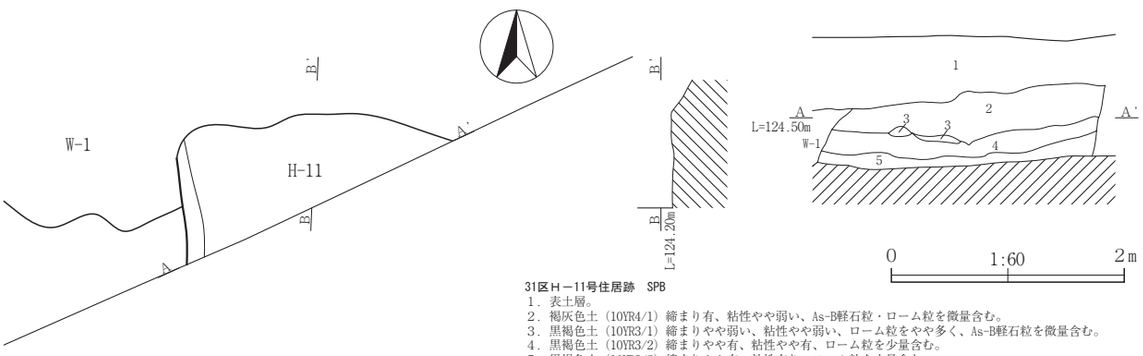
31区Ｈ－７号住居跡　SPC・D
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや弱い、粘性やや弱い、灰白粒やや多く、ロームブロックを少量含む。

31区Ｈ－７号住居跡カマド　SPE
1．暗褐色土（10YR3/3）締まり有、粘性やや弱い、As-B軽石粒を少量含む。
2．黒褐色土（10YR2/2）締まりやや有、粘性有り、ローム粒・焼土粒を共に微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）締まり有、粘性やや弱い、ローム粒を微量含む。
4．黒褐色土（10YR3/1）締まりやや有、粘性弱い、ローム粒やや多く、焼土粒を微量含む。
5．黒褐色土（10YR3/2）締まり有、粘性有、焼土粒・ローム粒を微量含む。カマド掘り方土層。

31区Ｈ－７号住居跡　SPF
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり弱い、粘性弱い、灰白色粒を少量含む。

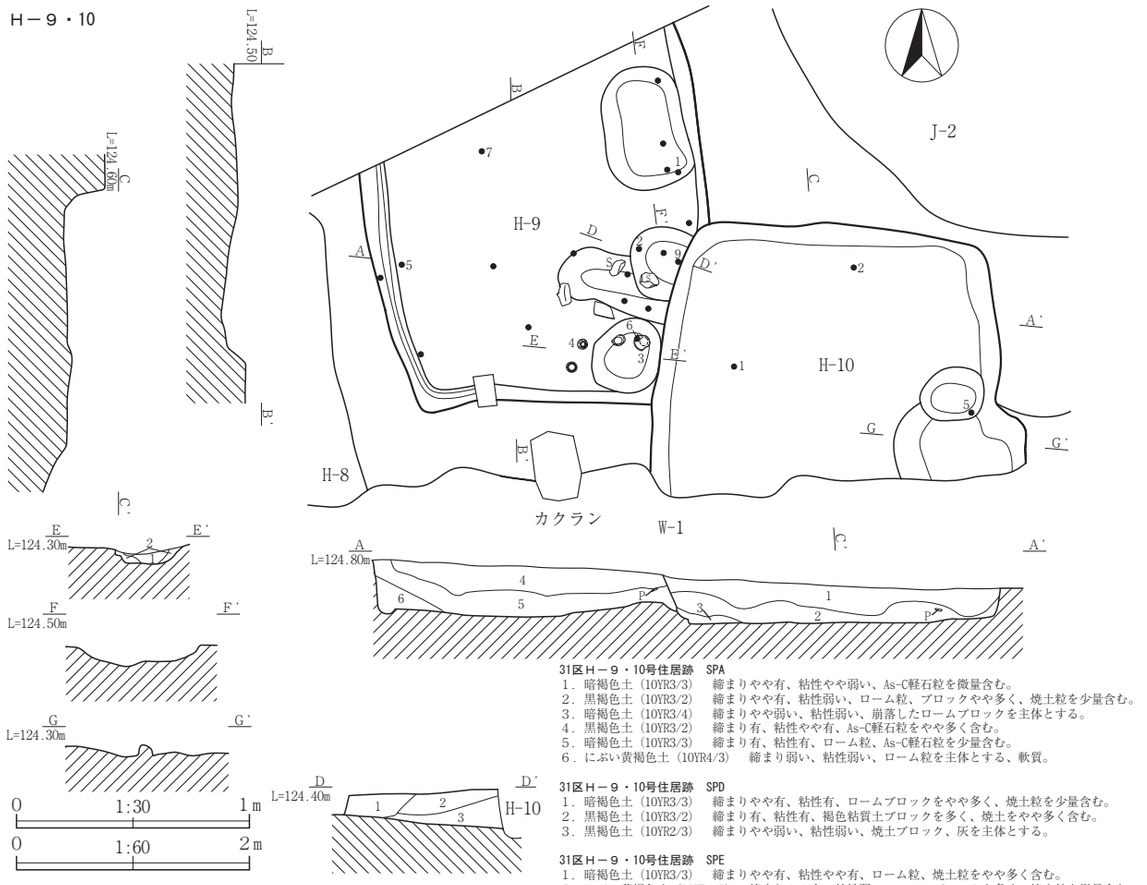
31区Ｈ－７号住居跡　SPG
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや弱い、粘性有、炭化物をやや多く含む。

31区Ｄ－２・３号住居跡　SPH・SPI
1．黒褐色土（10YR3/2）締まりやや有、粘性やや弱い、As-C軽石を少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒を多く含む。



31区Ｈ－11号住居跡　SPB
1．表土層。
2．褐灰色土（10YR4/1）締まり有、粘性やや弱い、As-B軽石粒・ローム粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/1）締まりやや弱い、粘性やや弱い、ローム粒をやや多く、As-B軽石粒を微量含む。
4．黒褐色土（10YR3/2）締まりやや有、粘性やや有、ローム粒を少量含む。
5．黒褐色土（10YR3/2）締まりやや有、粘性有り、ローム粒を少量含む。

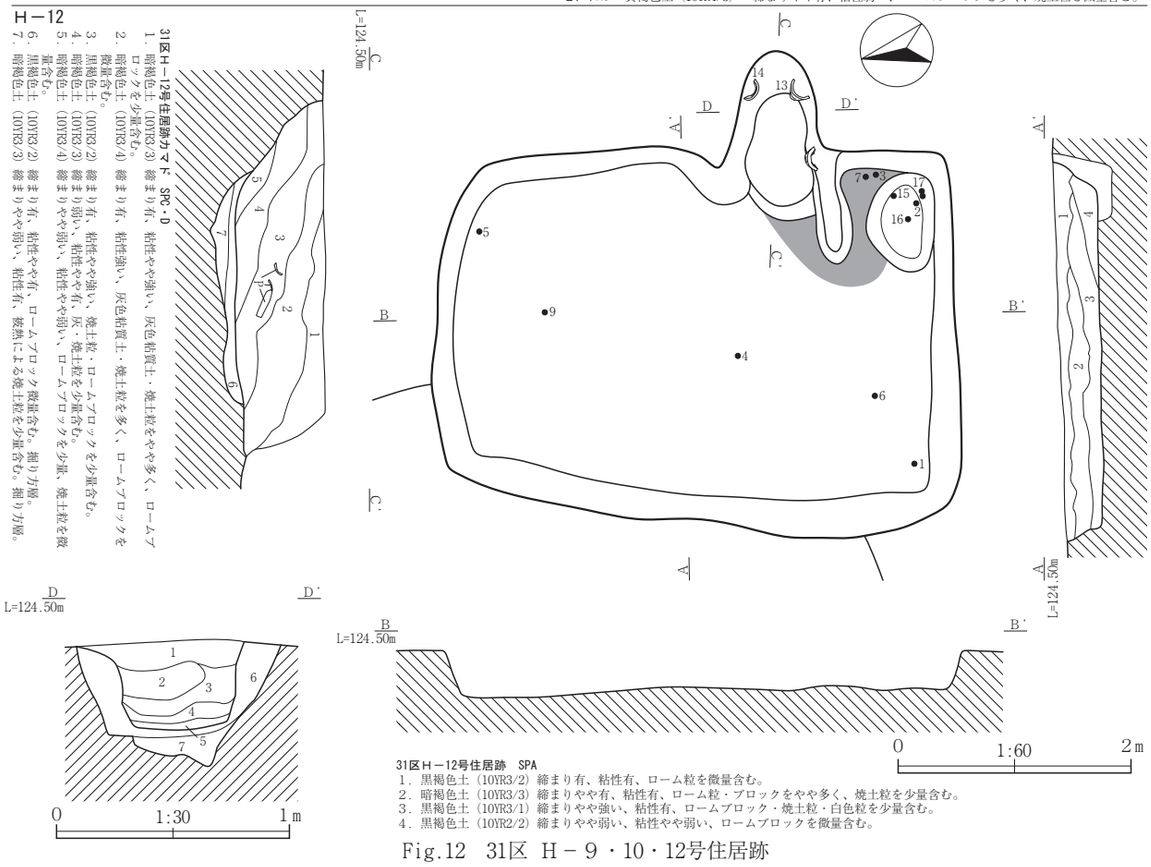
Fig.11　31区 Ｈ－６・７・11号住居跡、Ｄ－２・３号土坑



31区Ｈ－９・10号住居跡　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒、ブロックやや多く、焼土粒を少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや弱い、粘性弱い、崩落したロームブロックを主体とする。
4．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒をやや多く含む。
5．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性有、ローム粒、As-C軽石粒を少量含む。
6．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒を主体とする、軟質。

31区Ｈ－９・10号住居跡　SPD
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、ロームブロックをやや多く、焼土粒を少量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、褐色粘質土ブロックを多く、焼土をやや多く含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、焼土ブロック、灰を主体とする。

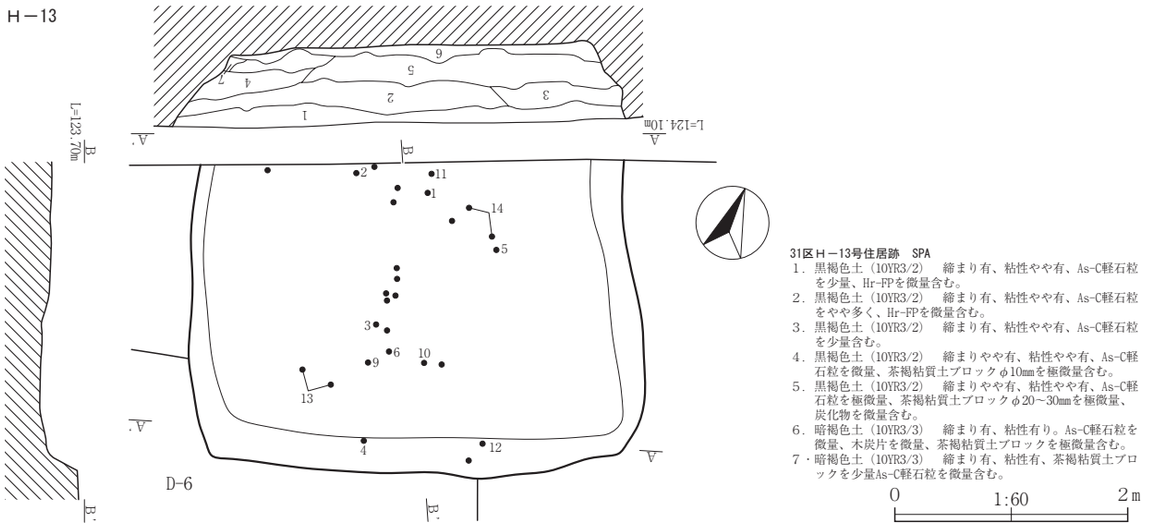
31区Ｈ－９・10号住居跡　SPE
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや有、ローム粒、焼土粒をやや多く含む。
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、ロームブロックを多く、焼土粒を微量含む。



31区Ｈ－12号住居跡カマド　SPC・D
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや強い、灰色粘質土・焼土粒をやや多く、ロームブロックを少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性強い、灰色粘質土・焼土粒を多く、ロームブロックを微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや強い、焼土粒・ロームブロックを少量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性やや有、灰・焼土粒を少量含む。
5．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや弱い、粘性やや弱い、ロームブロックを少量、焼土粒を微量含む。
6．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、ロームブロック微量含む。掘り方層。
7．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱い、粘性有、被熱による焼土粒を少量含む。掘り方層。

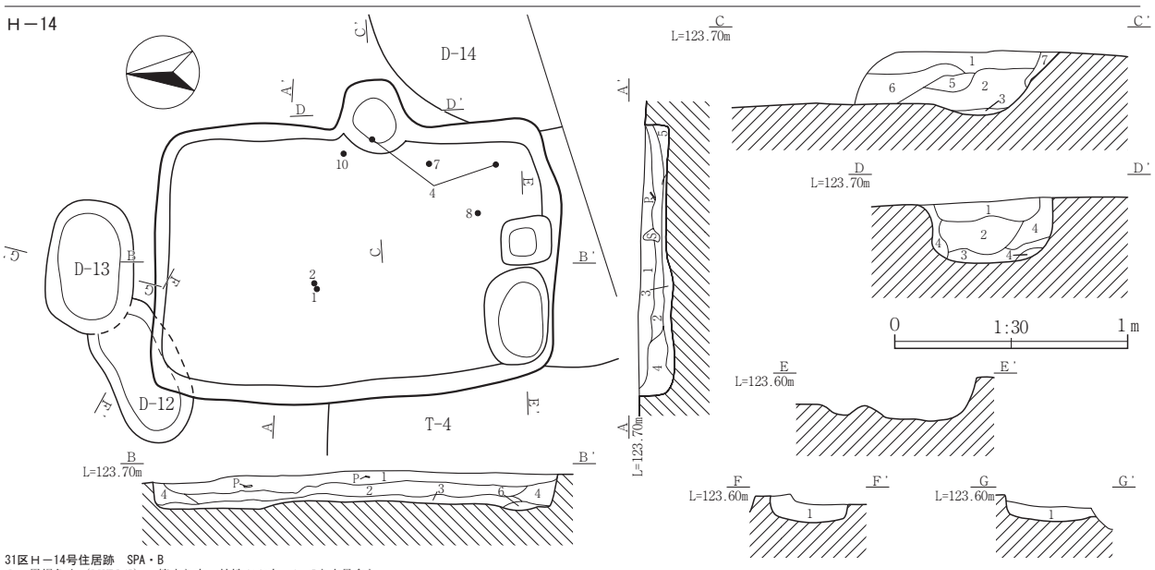
31区Ｈ－12号住居跡　SPA
1．黒褐色土（10YR3/2）締まり有、粘性有、ローム粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや有、粘性有、ローム粒・ブロックをやや多く、焼土粒を少量含む。
3．黒褐色土（10YR3/1）締まりやや強い、粘性有、ロームブロック・焼土粒・白色粒を少量含む。
4．黒褐色土（10YR2/2）締まりやや弱い、粘性やや弱い、ロームブロックを微量含む。

Fig.12　31区 Ｈ－９・10・12号住居跡



31区Ｈ－13号住居跡　SPA

1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を少量、Hr-FPを微量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒をやや多く、Hr-FPを微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を少量含む。
4．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒を微量、茶褐粘質土ブロックφ10mmを極微量含む。
5．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒を極微量、茶褐粘質土ブロックφ20～30mmを極微量、炭化物を微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性有り。As-C軽石粒を微量、木炭片を微量、茶褐粘質土ブロックを極微量含む。
7・暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性有、茶褐粘質土ブロックを少量As-C軽石粒を微量含む。



31区Ｈ－14号住居跡　SPA・B

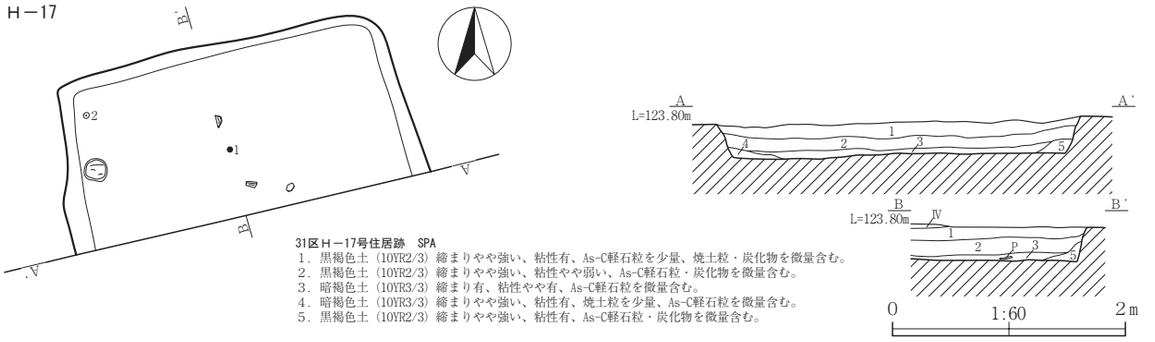
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-Cを少量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-Cを少量、木炭片を微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、As-Cを極微量、茶褐粘質土ブロックφ10mmを少量、木炭片を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや有、As-Cを微量、茶褐粘質土ブロックφ１～５mmをやや多く含む。
5．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや有、As-Cを微量、茶褐色粘質土ブロックφ10～20mmを少量含む。
6．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性有、As-Cを微量、木炭片を少量含む。

31区Ｈ－14号住居跡カマド　SPC・D

1．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-Cを極微量、焼土ブロックφ１mmを微量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-Cを極微量、焼土粒・灰を微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/1）　締まりやや有、粘性有、焼土粒を微量、灰を多く含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、As-Cを微量、焼土粒を微量、茶褐粘質土ブロックφ５～10mmを少量含む。
5．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや有、焼土粒・焼土ブロックφ１～２mmを少量含む。
6．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-Cを微量、灰を微量含む。
7．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有り、粘性やや有り、As-Cを極微量、焼土粒を極微量含む。

31区Ｄ－12・13号土坑　SPF・G

1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有り、粘性やや弱い、As-Cを極微量、焼土ブロックφ１mmを微量含む。

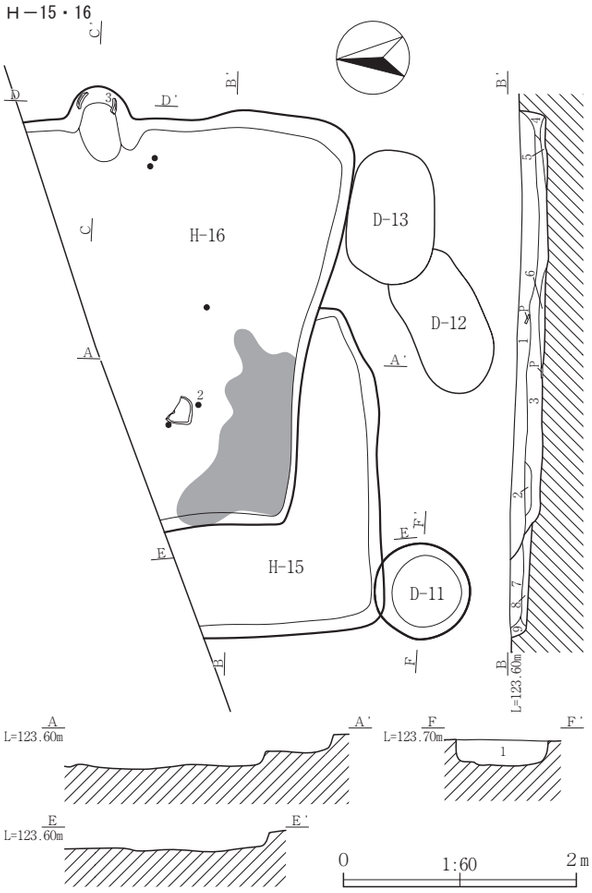


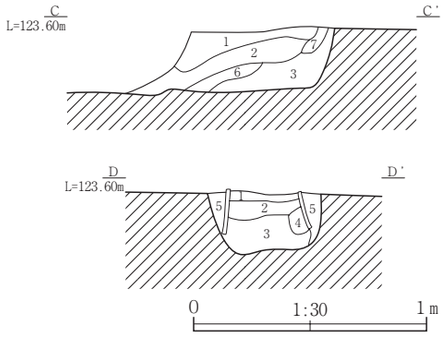
31区Ｈ－17号住居跡　SPA

1．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや強い、粘性有、As-C軽石粒を少量、焼土粒・炭化物を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや強い、粘性やや弱い、As-C軽石粒・炭化物を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや強い、粘性有、焼土粒を少量、As-C軽石粒を微量含む。
5．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや強い、粘性有、As-C軽石粒・炭化物を微量含む。

Fig.13　31区 Ｈ－13・14・17号住居跡、Ｄ－12・13号土坑

H－15・16





31区Ｈ－15・16号住居跡　SPB

1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を少量、木炭片を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、茶褐粘質土ブロックを少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を少量、木炭片を微量含む。
4．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや有、茶褐粘質土ブロックを極微量含む。
5．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、As-C軽石粒・茶褐粘質土ブロック・灰を微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、焼土粒・灰を少量、As-C軽石粒を微量含む。
7．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒を少量含む。
8．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや有、木炭片を微量、As-C軽石粒を極微量含む。
9．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、茶褐粘質土ブロックを極微量に含む。

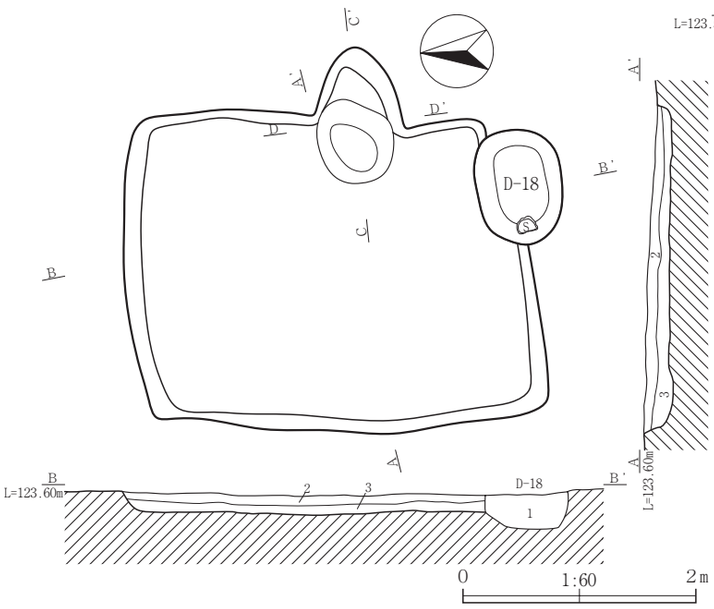
31区Ｈ－15・16号住居跡カマド　SPC・D

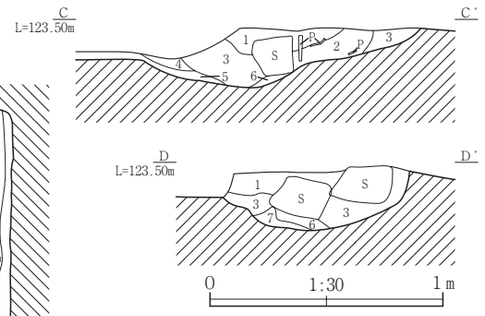
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒を極微量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒を極微量、焼土粒・焼土ブロックφ１㎜を極微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒を微量、焼土粒・灰を微量含む。
4．黒褐色土（10YR2/3）　茶褐色粘質土ブロック
5．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、、粘質やや有、As-C軽石粒微量、焼土粒・焼土ブロックφ１～２㎜を極微量に含む。
6．黒褐色土（10YR3/1）　締まりやや有、粘性有、やや灰色味あり、灰をやや多く、焼土粒を微量含む。
7．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒を微量、焼土粒・焼土ブロックφ２～３㎜を微量含む。

31区Ｄ－11号土坑　SPF

1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有り、粘性ややあり。As-C軽石粒を少量、Hr-FPを微量含む。

Ｈ－18、Ｄ－18





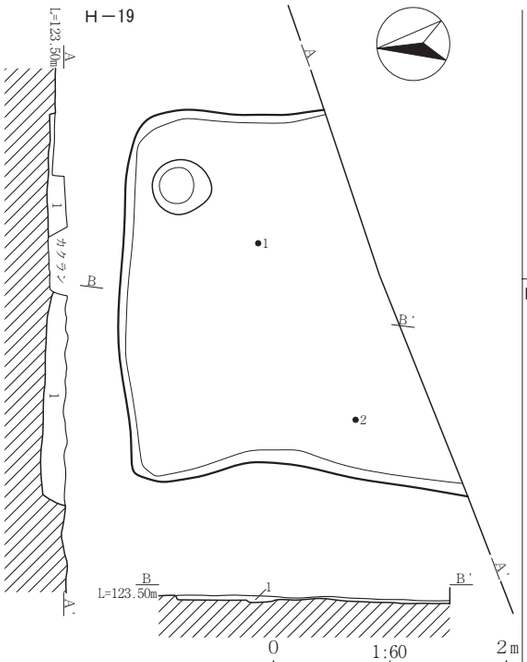
31区Ｈ－18号住居跡　SPA・B

1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり強い、粘性弱い、白色軽石粒・炭化物を微量含む。D-18号土坑覆土。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり強い、粘性有、白色軽石粒を少量、炭化物・焼土粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）　締まり強い、粘性やや有、白色軽石粒を微量含む。

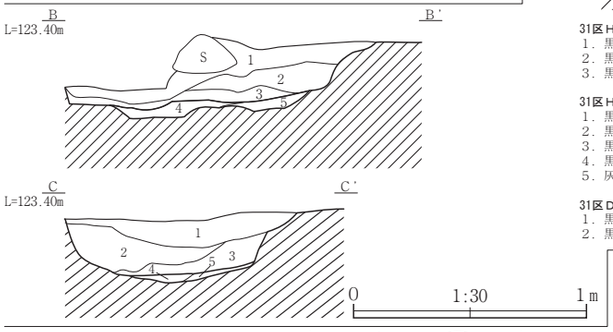
31区Ｈ－25号住居跡カマド　SPC・D・E・F

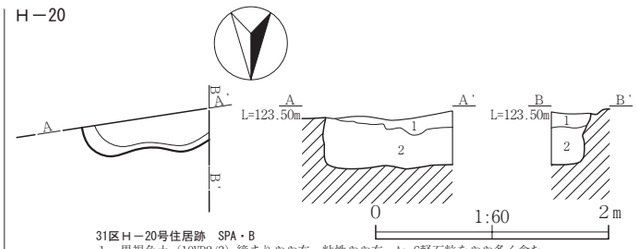
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有り、粘性やや有、As-C軽石粒を極微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有り、粘性有、As-C軽石粒を極微量、焼土粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有り、粘性有、As-C軽石粒を微量、焼土粒・灰を極微量含む。
4．赤色土（10R4/8）　締まり弱い、粘性やや有、焼土粒・焼土ブロックを多く含む。
5．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性有、灰を微量含む。
6．褐灰色土（10YR4/1）　灰層。
7．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性有、焼土ブロックを極微量含む。

Fig.14　31区 Ｈ－15・16・18号住居跡、Ｄ－11・18号土坑

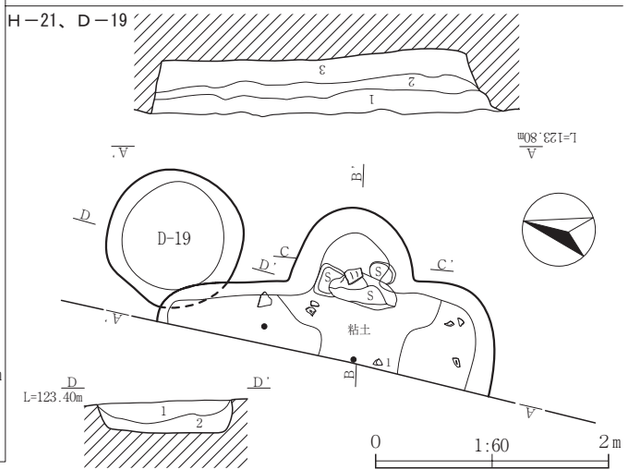


31区Ｈ－19号住居跡　SPA・B
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まり強い、粘性やや有、白色軽石粒を少量、焼土粒・炭化物を微量含む。





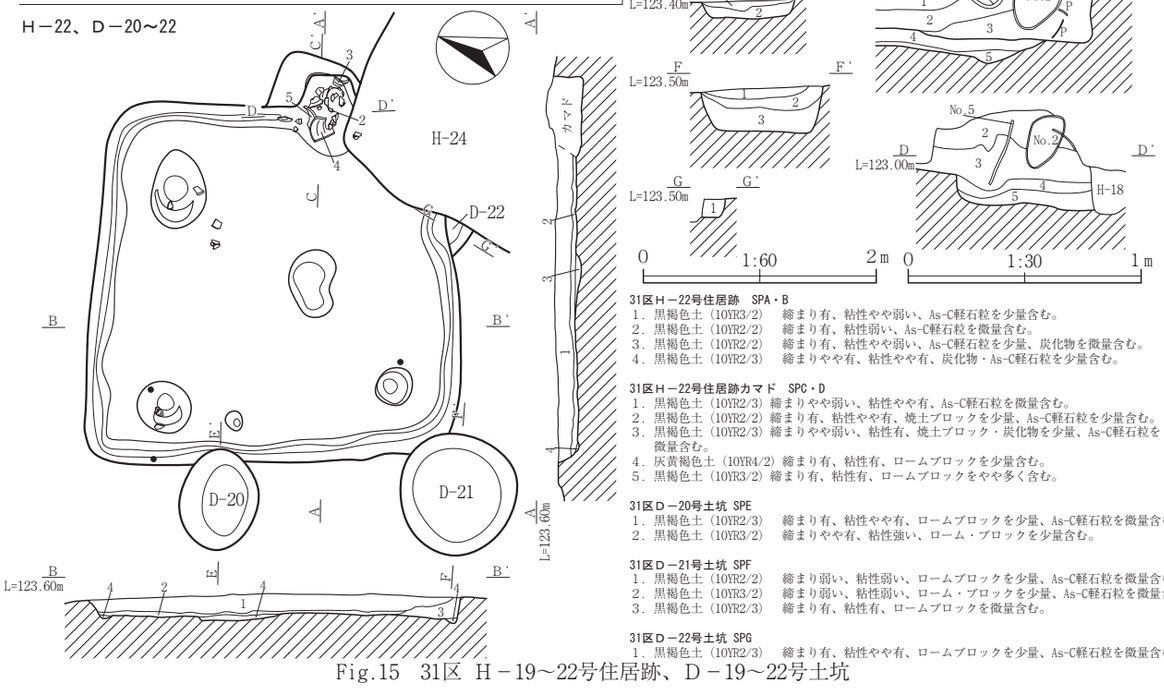
31区Ｈ－20号住居跡　SPA・B
1．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒をやや多く含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）締まりやや弱い、粘性やや有、炭化物を少量、As-C軽石を微量含む。



31区Ｈ-21号住居跡　SPA
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや弱い。As-C軽石粒をやや多く含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり弱い、粘性有り。As-C軽石粒・焼土粒を少量含む。
3．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや弱い、粘性有、ロームブロックを多く、炭化物を少量含む。

31区Ｈ－21号住居跡カマド　SPC・D
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、As-C軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性有り、焼土ブロックを少量含む。
3．黒褐色土（10YR3/1）　締まりやや有、粘性弱い、焼土ブロック・炭化物をやや多く含む。
4．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性有、焼土ブロック・ロームブロックを少量含む。掘り方。
5．灰黄褐色土（10YR4/2）締まりやや有、粘性有、ロームブロックをやや多く含む。掘り方。

31区Ｄ-19号土坑　SPD
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性弱い。ローム・ブロックを少量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり弱い、粘性有、ローム・ブロックをやや多く含む。



31区Ｈ－22号住居跡　SPA・B
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を少量含む。
2．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性弱い、As-C軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を少量、炭化物を微量含む。
4．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや有、炭化物・As-C軽石粒を少量含む。

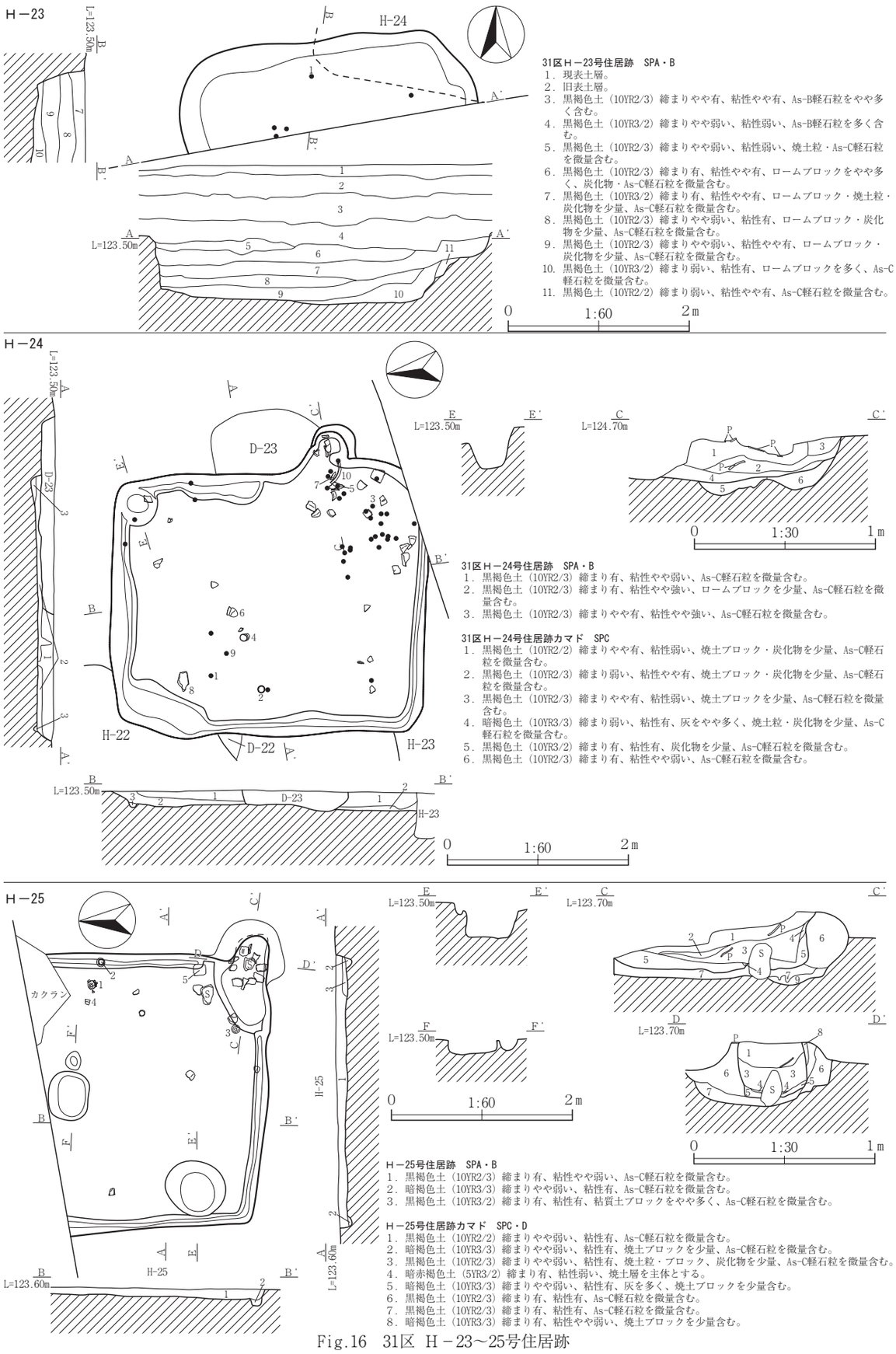
31区Ｈ－22号住居跡カマド　SPC・D
1．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや弱い、粘性やや有、As-C軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/2）締まり有、粘性やや有、焼土ブロックを少量、As-C軽石粒を少量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや弱い、粘性有、焼土ブロック・炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
4．灰黄褐色土（10YR4/2）締まり有、粘性有、ロームブロックを少量含む。
5．黒褐色土（10YR3/2）締まり有、粘性有、ロームブロックをやや多く含む。

31区Ｄ－20号土坑 SPE
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや有、ロームブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性強い、ローム・ブロックを少量含む。

31区Ｄ－21号土坑 SPF
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性弱い、ロームブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり弱い、粘性弱い、ローム・ブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性有、ロームブロックを微量含む。

31区Ｄ－22号土坑 SPG
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや有、ロームブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。

Fig.15　31区 Ｈ－19～22号住居跡、Ｄ－19～22号土坑



31区Ｈ－23号住居跡　SPA・B

1．現表土層。
2．旧表土層。
3．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや有、粘性やや有、As-B軽石粒をやや多く含む。
4．黒褐色土（10YR3/2）締まりやや弱い、粘性弱い、As-B軽石粒を多く含む。
5．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや弱い、粘性弱い、焼土粒・As-C軽石粒を微量含む。
6．黒褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性やや有、ロームブロックをやや多く、炭化物・As-C軽石粒を微量含む。
7．黒褐色土（10YR3/2）締まり有、粘性やや有、ロームブロック・焼土粒・炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
8．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや弱い、粘性有、ロームブロック・炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
9．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや弱い、粘性やや有、ロームブロック・炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
10．黒褐色土（10YR3/2）締まり弱い、粘性有、ロームブロックを多く、As-C軽石粒を微量含む。
11．黒褐色土（10YR2/2）締まり弱い、粘性やや有、As-C軽石粒を微量含む。

31区Ｈ－24号住居跡　SPA・B

1．黒褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性やや強い、ロームブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや有、粘性やや強い、As-C軽石粒を微量含む。

31区Ｈ－24号住居跡カマド　SPC

1．黒褐色土（10YR2/2）締まりやや有、粘性弱い、焼土ブロック・炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）締まり弱い、粘性やや有、焼土ブロック・炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや有、粘性弱い、焼土ブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）締まり弱い、粘性有、灰をやや多く、焼土粒・炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
5．黒褐色土（10YR3/2）締まり有、粘性有、炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
6．黒褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を微量含む。

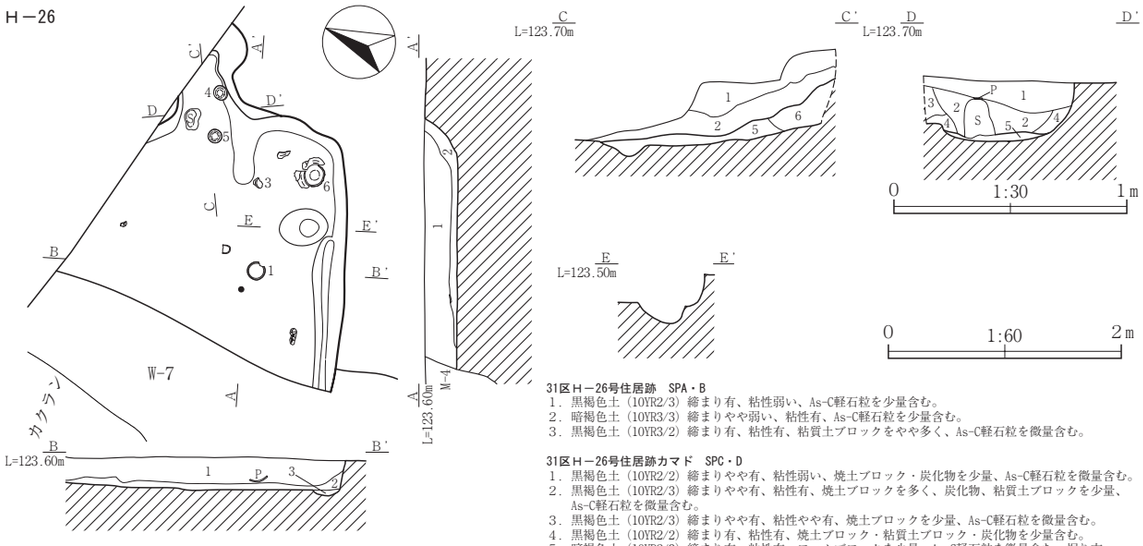
Ｈ－25号住居跡　SPA・B

1．黒褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや弱い、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）締まり有、粘性有、粘質土ブロックをやや多く、As-C軽石粒を微量含む。

Ｈ－25号住居跡カマド　SPC・D

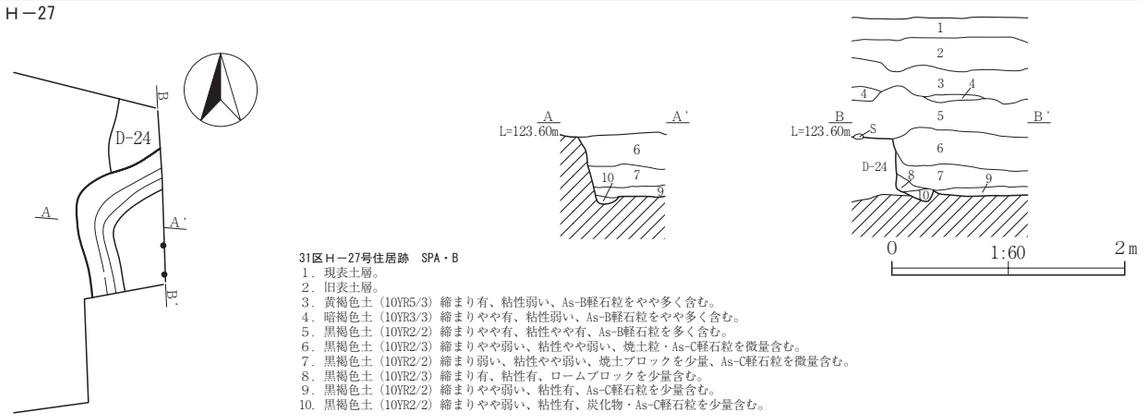
1．黒褐色土（10YR2/2）締まりやや弱い、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや弱い、粘性有、焼土ブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや弱い、粘性有、焼土粒・ブロック、炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
4．暗赤褐色土（5YR3/2）締まり有、粘性弱い、焼土層を主体とする。
5．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや弱い、粘性有、灰を多く、焼土ブロックを少量含む。
6．黒褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。
7．黒褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。
8．暗褐色土（10YR3/3）締まり有、粘性やや弱い、焼土ブロックを少量含む。

Fig.16　31区 Ｈ－23～25号住居跡

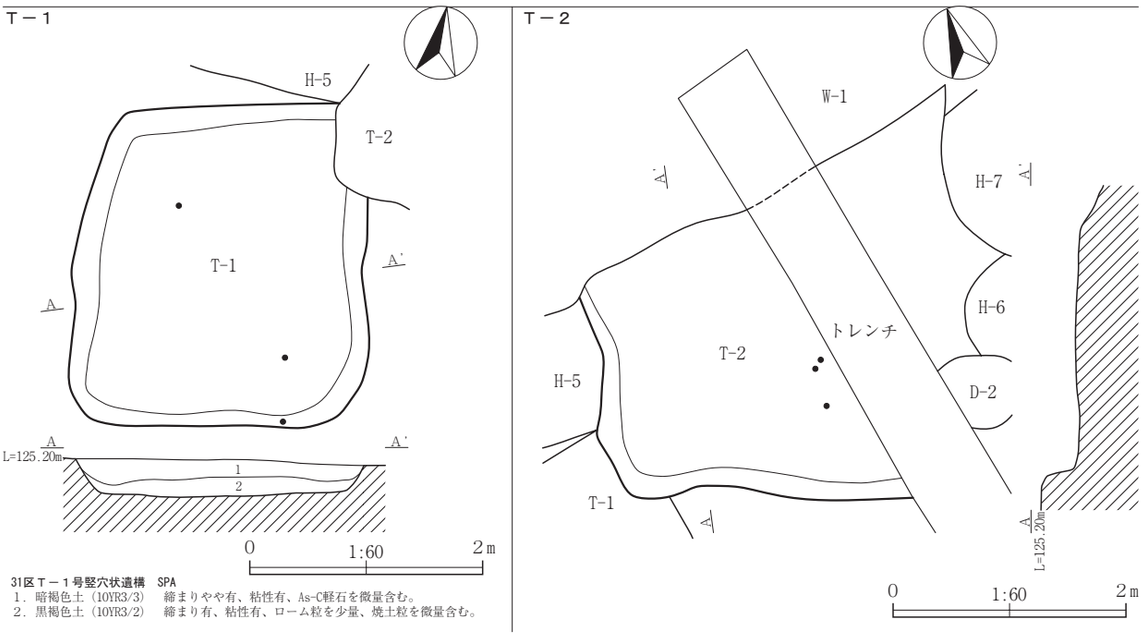


31区Ｈ－26号住居跡　SPA・B
1．黒褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性弱い、As-C軽石粒を少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや弱い、粘性有、As-C軽石粒を少量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）締まり有、粘性有、粘質土ブロックをやや多く、As-C軽石粒を微量含む。

31区Ｈ－26号住居跡カマド　SPC・D
1．黒褐色土（10YR2/2）締まりやや有、粘性弱い、焼土ブロック・炭化物を少量、As-C軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや有、粘性有、焼土ブロックを多く、炭化物、粘質土ブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや有、粘性やや有、焼土ブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
4．黒褐色土（10YR2/2）締まり有、粘性有、焼土ブロック・粘質土ブロック・炭化物を少量含む。
5．暗褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性有、ロームブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。掘り方。
6．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや弱い、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。掘り方。



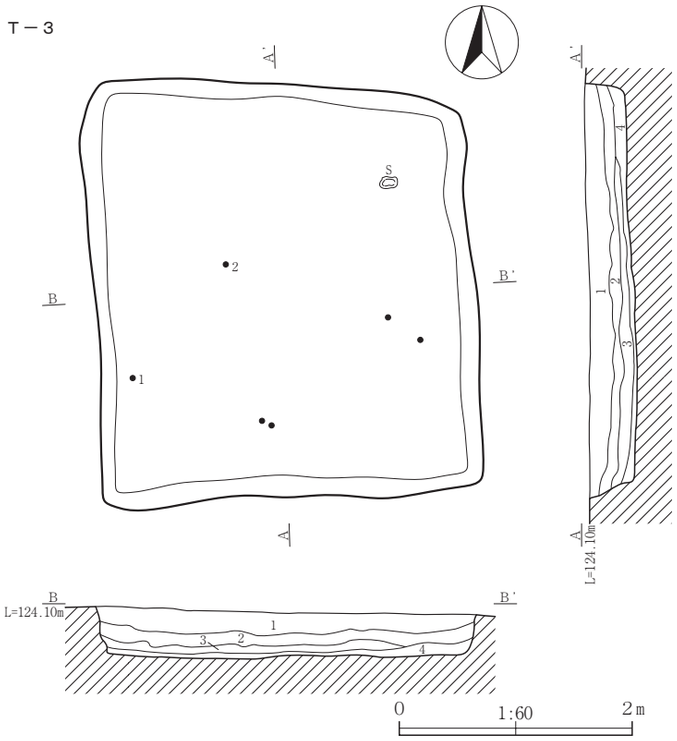
31区Ｈ－27号住居跡　SPA・B
1．現表土層。
2．旧表土層。
3．黄褐色土（10YR5/3）締まり有、粘性弱い、As-B軽石粒をやや多く含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）締まりやや有、粘性弱い、As-B軽石粒をやや多く含む。
5．黒褐色土（10YR2/2）締まりやや有、粘性やや有、As-B軽石粒を多く含む。
6．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや弱い、粘性やや弱い、焼土粒・As-C軽石粒を微量含む。
7．黒褐色土（10YR2/2）締まり弱い、粘性やや弱い、焼土ブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
8．黒褐色土（10YR2/3）締まり有、粘性有、ロームブロックを少量含む。
9．黒褐色土（10YR2/2）締まりやや弱い、粘性有、As-C軽石粒を少量含む。
10．黒褐色土（10YR2/2）締まりやや弱い、粘性有、炭化物・As-C軽石粒を少量含む。



31区Ｔ－１号竪穴状遺構　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、As-C軽石を微量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、ローム粒を少量、焼土粒を微量含む。

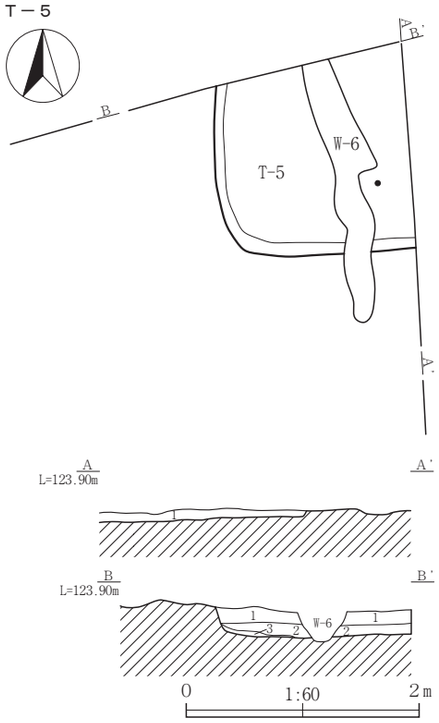
Fig.17　31区 Ｈ－26・27号住居跡、Ｔ－１・２号竪穴状遺構

Ｔ－３



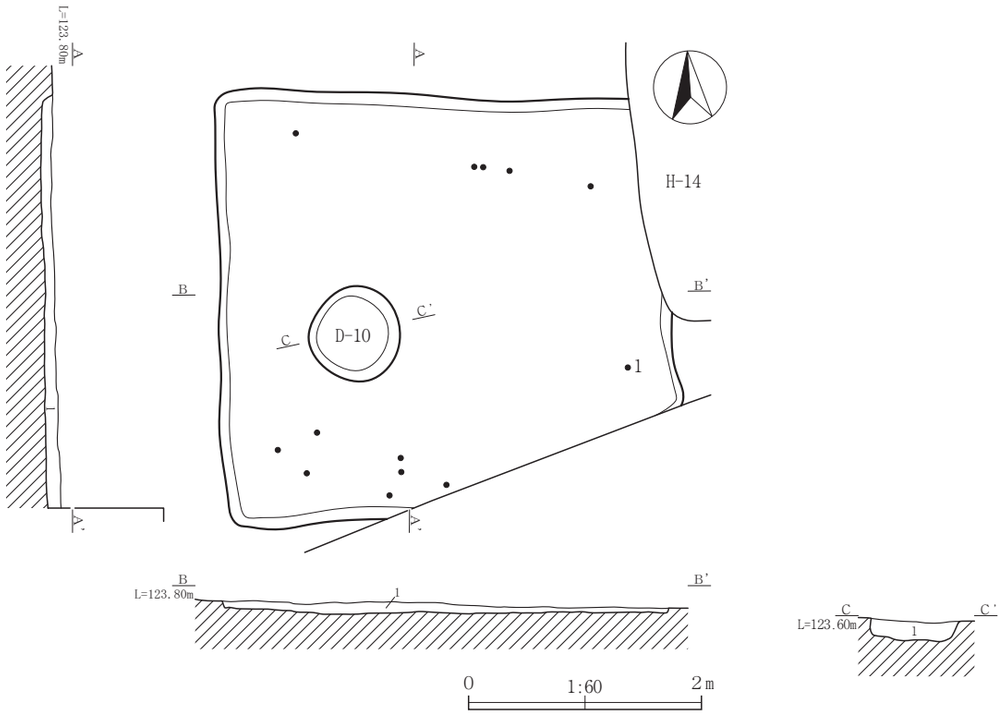
31区Ｔ－３号竪穴状遺構　SPA・B
１．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を少量、Hr-FPを微量含む。
２．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を少量含む。
３．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性有、黒茶粘質土ブロックを少量、As-C軽石粒を極微量含む。
４．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性有、黒茶粘質土ブロックを少量含む。

Ｔ－５



31区Ｔ－５号竪穴状遺構　SPA・B
１．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性弱い、As-C軽石粒を少量含む。
２．黒褐色砂質シルト（10YR2/3）　締まり有、粘性有、As-C軽石粒を少量、焼土・炭化物を微量含む。
３．暗褐色砂質シルト（10YR3/3）　締まり強い、粘性有、ローム粒を少量、As-C軽石粒を微量含む。

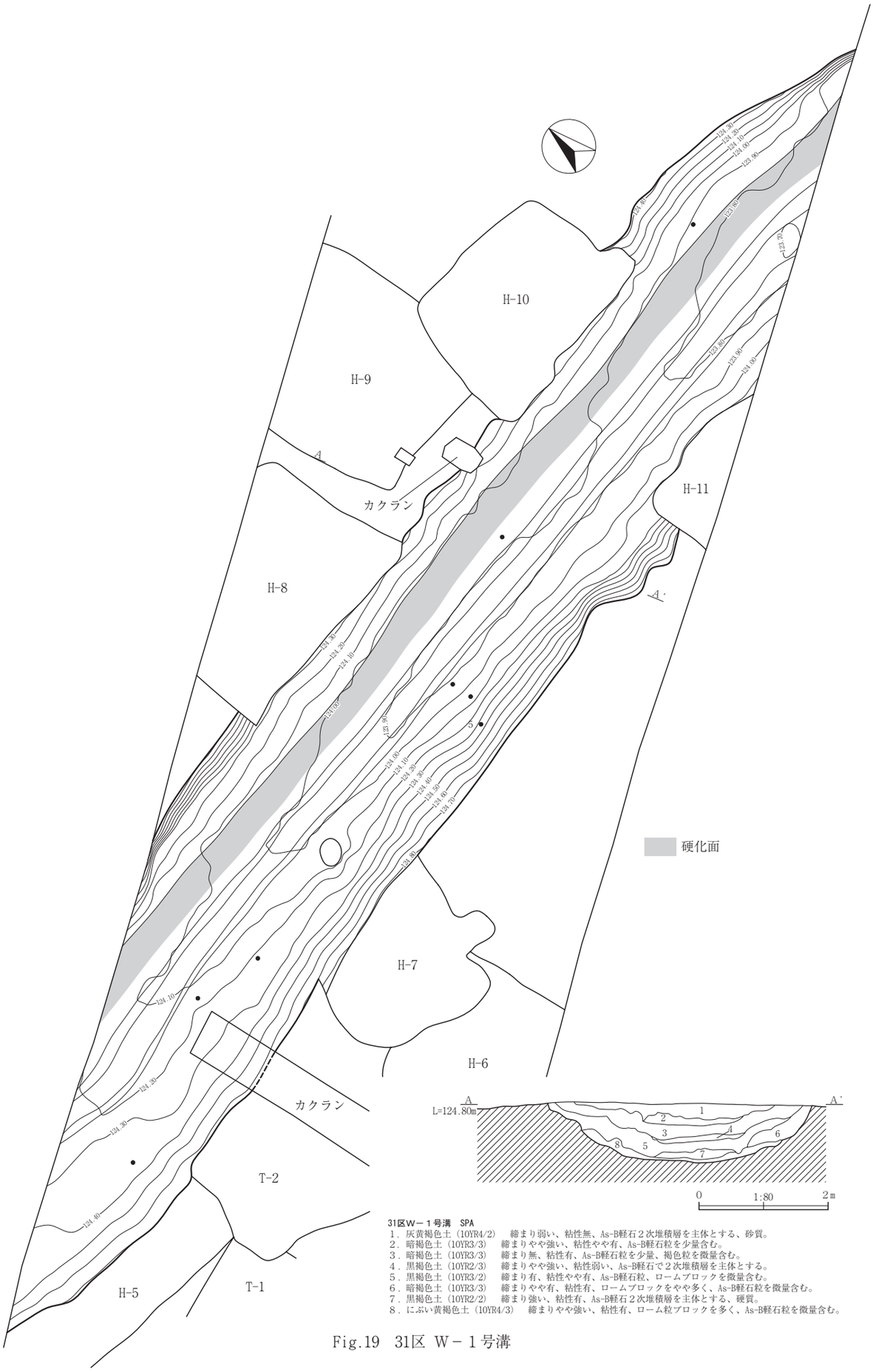
Ｔ－４



31区Ｔ－４号竪穴状遺構　SPA・B
１．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや有、As-C10%、Hr-FP微量、木炭微量含む。

31区Ｄ－10号土坑 SPC
１．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有り、粘性ややあり。As-C少量、Hr-FP微量含む。

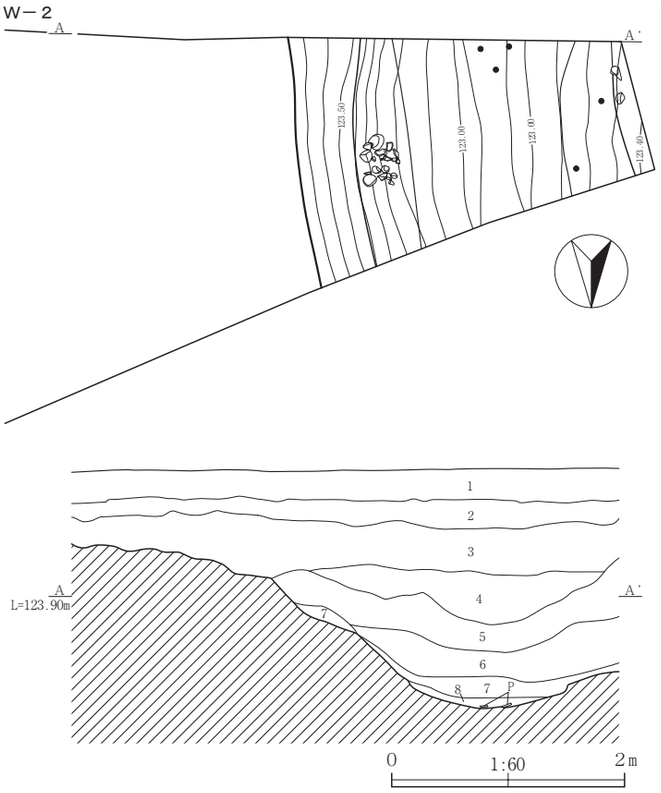
Fig.18　31区 Ｔ－３～５号竪穴状遺構



31区Ｗ－１号溝　SPA
1．灰黄褐色土（10YR4/2）　締まり弱い、粘性無、As-B軽石２次堆積層を主体とする、砂質。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや強い、粘性やや有、As-B軽石粒を少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり無、粘性有、As-B軽石粒を少量、褐色粒を微量含む。
4．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや強い、粘性弱い、As-B軽石で２次堆積層を主体とする。
5．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-B軽石粒、ロームブロックを微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、ロームブロックをやや多く、As-B軽石粒を微量含む。
7．黒褐色土（10YR2/2）　締まり強い、粘性有、As-B軽石２次堆積層を主体とする、硬質。
8．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや強い、粘性有、ローム粒ブロックを多く、As-B軽石粒を微量含む。

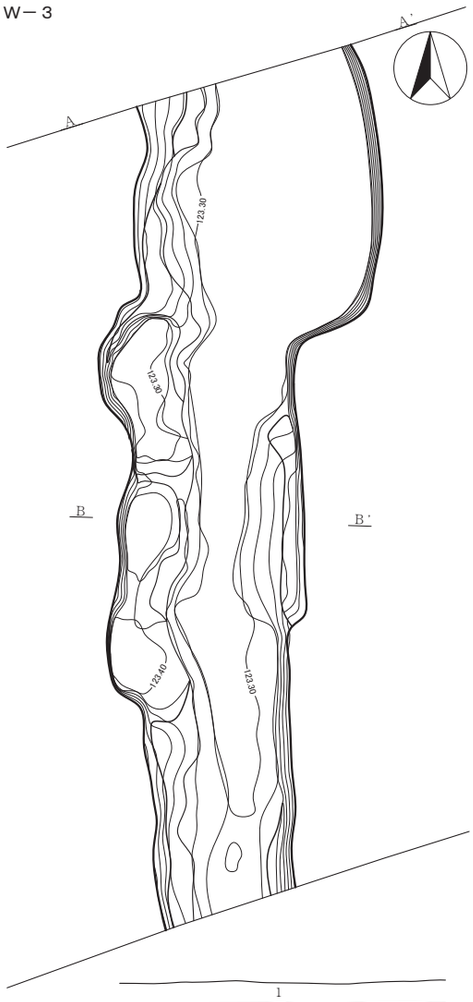
Fig.19　31区 Ｗ－１号溝

W－2

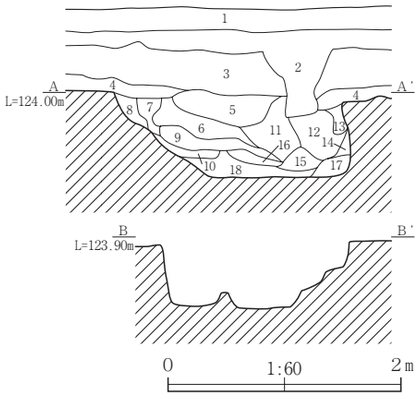


31区W－２号溝　SPA
1．表土層。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、As-B軽石粒を少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、As-B軽石粒をやや多く含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、ロームブロック・As-C軽石粒を微量含む。
5．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、炭化物・As-C軽石粒を微量含む。
6．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒・ロームブロック・炭化物を微量含む。
7．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性有、As-C軽石粒・ロームブロックを微量含む。
8．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性有、As-C軽石粒・ロームブロック・炭化物を微量含む。

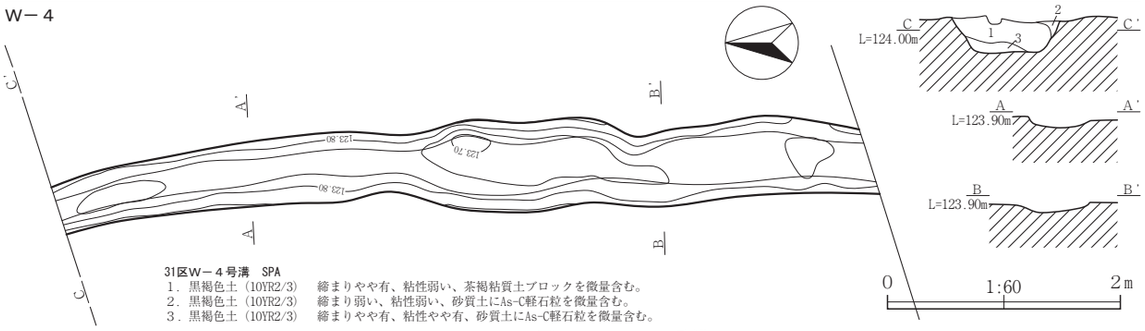
W－3



31区W－３号溝　SPA
1．表土層。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、As-B軽石粒を少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、As-B軽石粒をやや多く含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや有、砂質なロームブロックをやや多く、As-C軽石粒を微量含む。
5．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや有、粘性弱い、As-C軽石粒を微量含む。
6．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや有、粘性弱い、白色粒を微量含む。
7．黒褐色土（10YR2/3）　締まり弱い、粘性弱い、白色粒を微量、硬質砂岩質ブロックを極微量含む。
8．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性弱い、白色粒を微量含む。
9．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性弱い、白色粒を微量含む。
10．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を微量、黒茶粘質土ブロックを極微量含む。
11．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性弱い、As-C軽石粒を微量、硬質砂岩質ブロックを極微量含む。
12．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒をやや多く、硬質砂岩質ブロックを微量含む。壁崩落土。
13．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を少量含む。壁崩落土。
14．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒を少量含む。壁崩落土。
15．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや有、As-C軽石粒を極微量含む。壁流出土。
16．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性有、硬質砂岩質ブロックφ50～100mmが層状に混入。
17．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性有、黒茶褐粘質土ブロックφ10～50mm多く含む。
18．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや有、粘性やや有、黒茶粘質土ブロックφ10～20mmを微量含む。

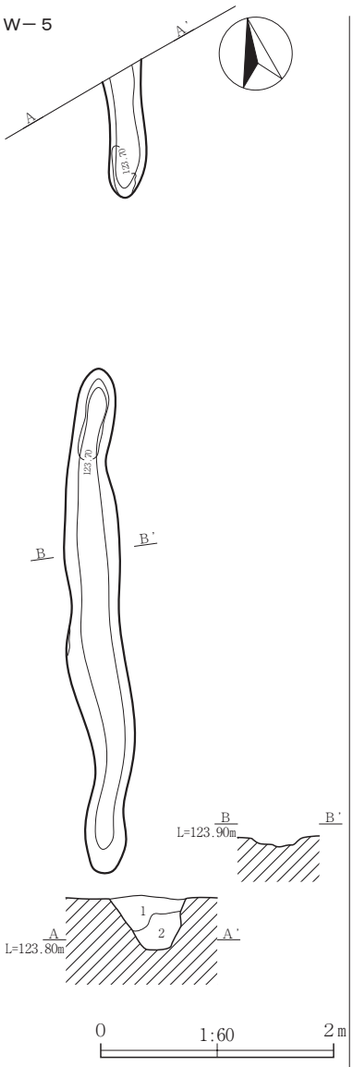


W－4

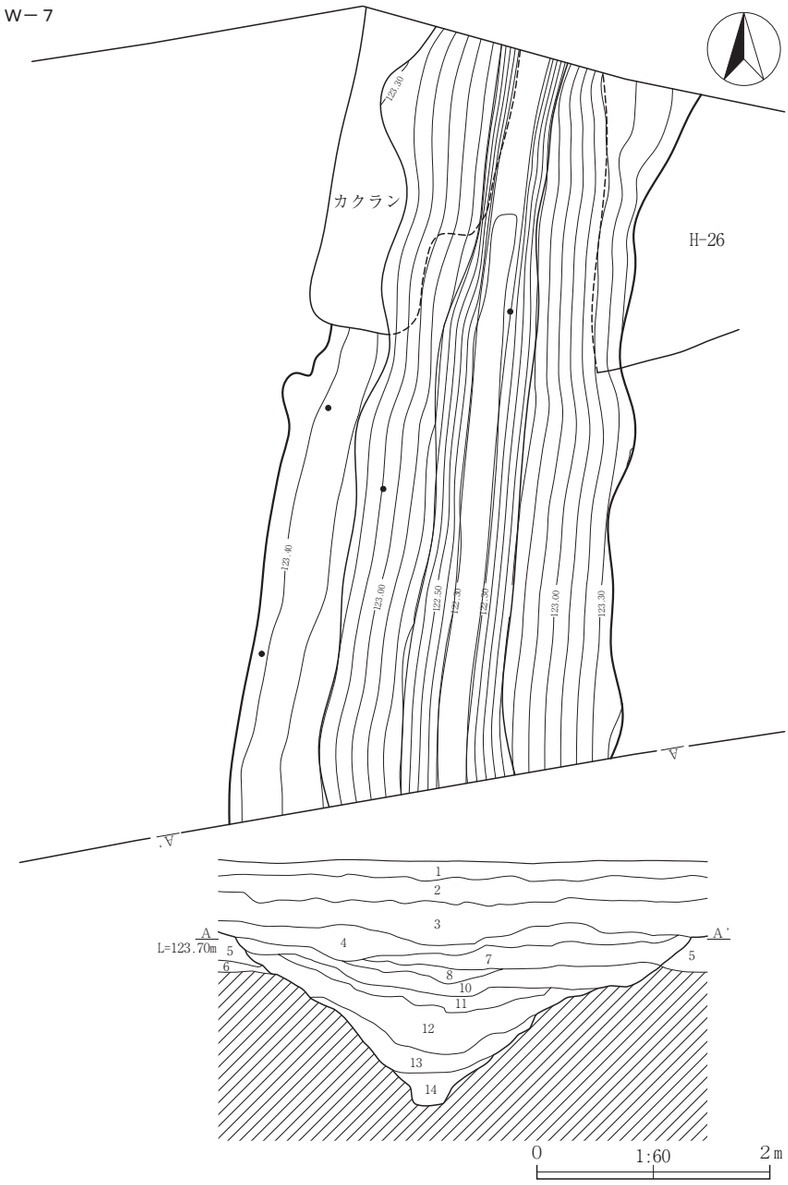


31区W－４号溝　SPA
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性弱い、茶褐粘質土ブロックを微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）　締まり弱い、粘性弱い、砂質土にAs-C軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや有、砂質土にAs-C軽石粒を微量含む。

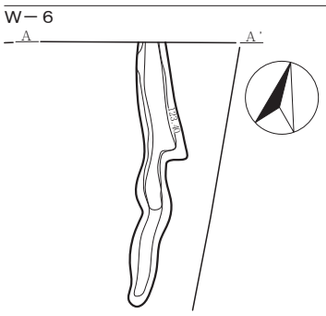
Fig.20　31区 W－２～４号溝

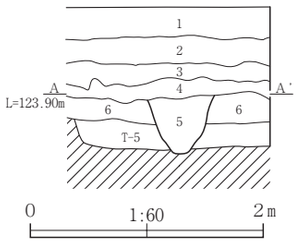


31区W－５号溝　SPA
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性弱い、As-B軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性弱い、As-C軽石粒を微量、黒褐色粘質土ブロックを極微量含む。



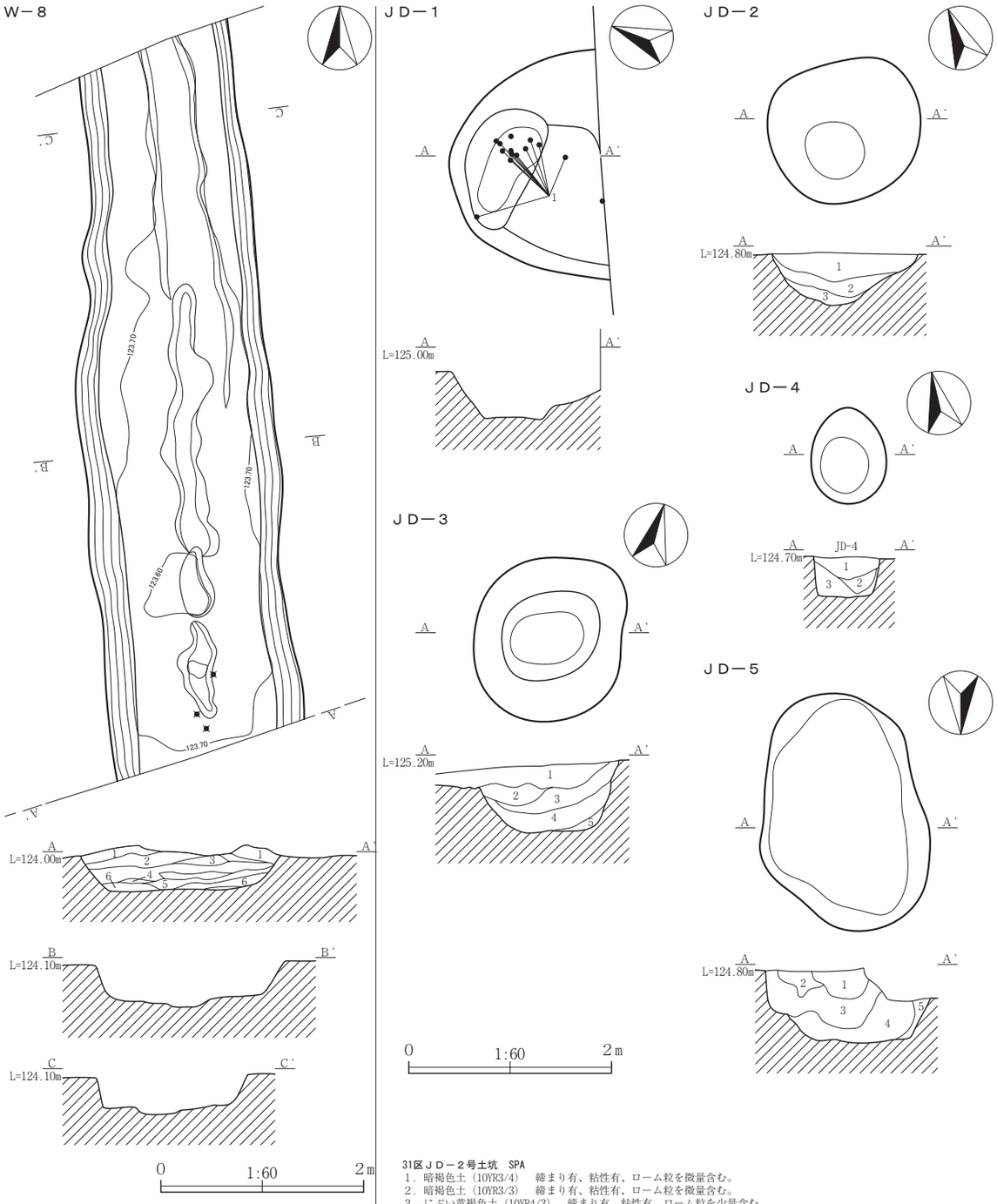
31区W－７号溝　SPA
1．現表土層。
2．旧表土層。
3．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや有、As-B軽石粒をやや多く含む。
4．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや弱い、粘性弱い、As-B軽石粒を多く含む。
5．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、白色粒を微量含む。
6．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。
7．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性弱い、As-C軽石粒・炭化物を微量含む、
8．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性弱い、As-B軽石粒を微量含む。
10．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性やや有、As-B軽石粒を微量含む。
11．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性やや有、ロームブロックをやや多く、炭化物・As-B軽石粒を少量含む。
12．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性やや有、As-B軽石粒をやや多く、黒色土を少量含む。
13．黒褐色土（10YR2/3）　締まり弱い、粘性弱い、ロームブロックを含む。
14．黒褐色土（10YR2/3）　締まり弱い、粘性有、ロームブロックを多く、As-B軽石粒を少量含む。





31区W－７号溝　SPA
1．表土層。
2．暗褐色土（10YR3/3）締まり有、粘性やや有、As-B軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）締まりやや有、粘性やや有、As-B軽石粒をやや多く含む。
4．黒褐色土（10YR3/2）締まり有、粘性有、白色粒を微量含む。
5．黒褐色土（10YR2/2）締まりやや有、粘性有、白色粒を少量含む。W－６号溝覆土。
6．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや有、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。

Fig.21　31区 W－５～７号溝



31区W－８号溝　SPA
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。
2．暗青灰色土（10BG3/1）　締まり有、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。
3．暗青灰色土（10BG3/1）　締まり有、粘性有、砂混土。
4．暗青灰色土（10BG3/1）　締まり有、粘性有、As-C軽石粒・砂を微量含む。
5．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性強い、粘質土層。
6．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性有、黒褐粘質土ブロック（φ10～20mm）をやや多く、砂を少量含む。

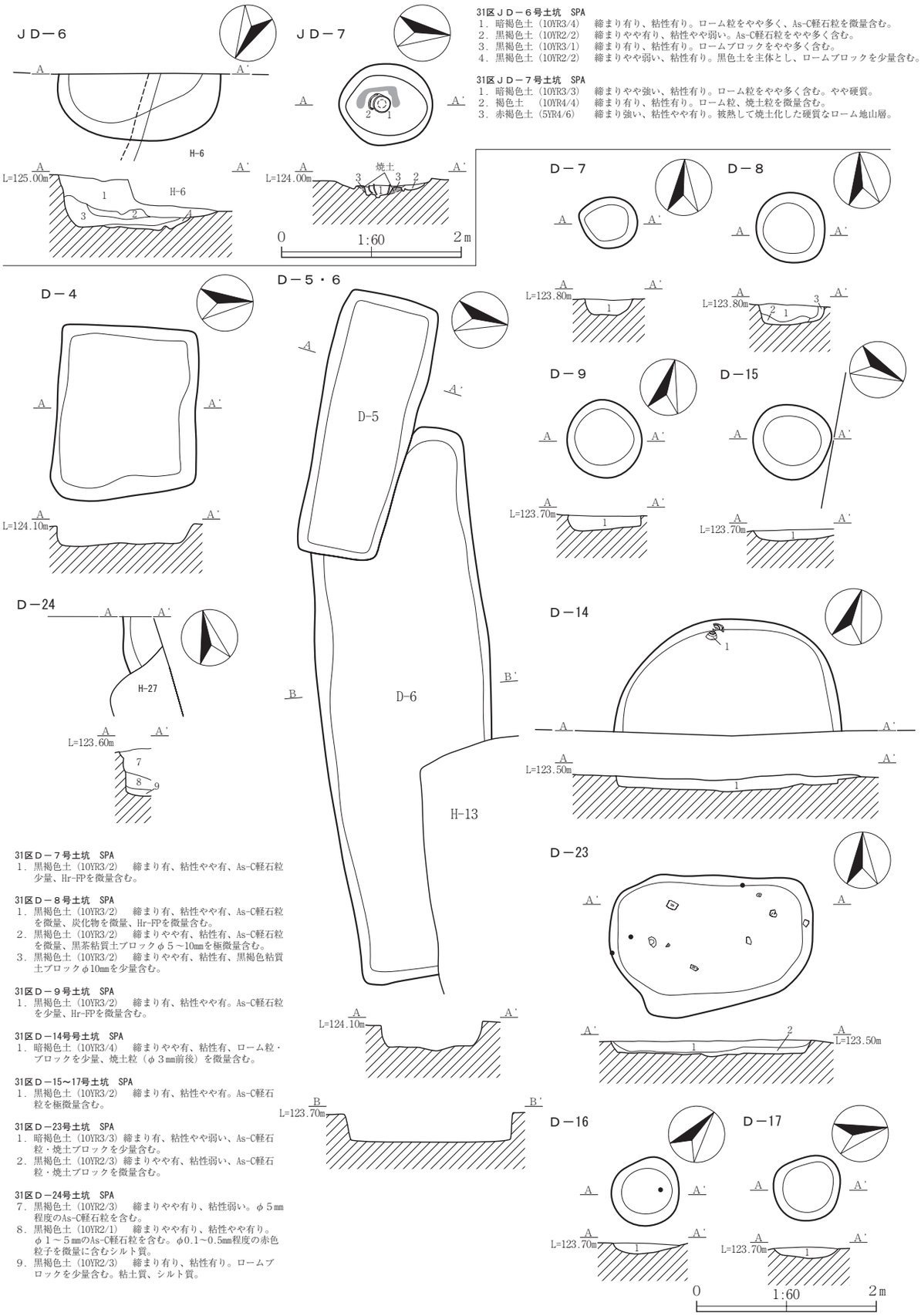
31区ＪＤ－２号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性有、ローム粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性有、ローム粒を微量含む。
3．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり有、粘性有、ローム粒を少量含む。

31区ＪＤ－３号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性有、ローム粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性有、ローム粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、ローム粒を少量含む。
4．灰黄褐色土（10YR4/2）　締まり有、粘性有、ローム粒を少量含む。
5．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり有、粘性有、ローム粒を少量含む。

31区ＪＤ－４号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR3/1）　締まり有り、粘性有、ロームブロックをやや多く含む。
2．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや弱い、粘性有、黒色土を主体とし、ロームブロックを少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性有、ローム粒・ブロックをやや多く含む。

31区ＪＤ－５号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性有、ローム粒を少量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや有、ローム粒を少量含む。
3．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性やや弱い。ローム粒をやや多く、φ３mm大の褐色粒を微量含む。
4．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、鉄分が沈着した硬質なロームブロックを微量含む。
5．褐色土（10YR4/4）　締まりやや強い、粘性有、硬質なロームブロックをやや多く含む。

Fig.22　31区 W－８号構、ＪＤ－１～５号土坑



31区ＪＤ－６号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有り、粘性有り。ローム粒をやや多く、As-C軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや有り、粘性やや弱い。As-C軽石粒をやや多く含む。
3．黒褐色土（10YR3/1）　締まり有り、粘性有り。ロームブロックをやや多く含む。
4．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや弱い、粘性有り。黒色土を主体とし、ロームブロックを少量含む。

31区ＪＤ－７号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや強い、粘性有り。ローム粒をやや多く含む。やや硬質。
2．褐色土　（10YR4/4）　締まり有り、粘性有り。ローム粒、焼土粒を微量含む。
3．赤褐色土（5YR4/6）　締まり強い、粘性やや有り。被熱して焼土化した硬質なローム地山層。

31区Ｄ－７号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒少量、Hr-FPを微量含む。

31区Ｄ－８号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-C軽石粒を微量、炭化物を微量、Hr-FPを微量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性有、As-C軽石粒を微量、黒茶粘質土ブロックφ５～10mmを極微量含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性有、黒褐色粘質土ブロックφ10mmを少量含む。

31区Ｄ－９号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有。As-C軽石粒を少量、Hr-FPを微量含む。

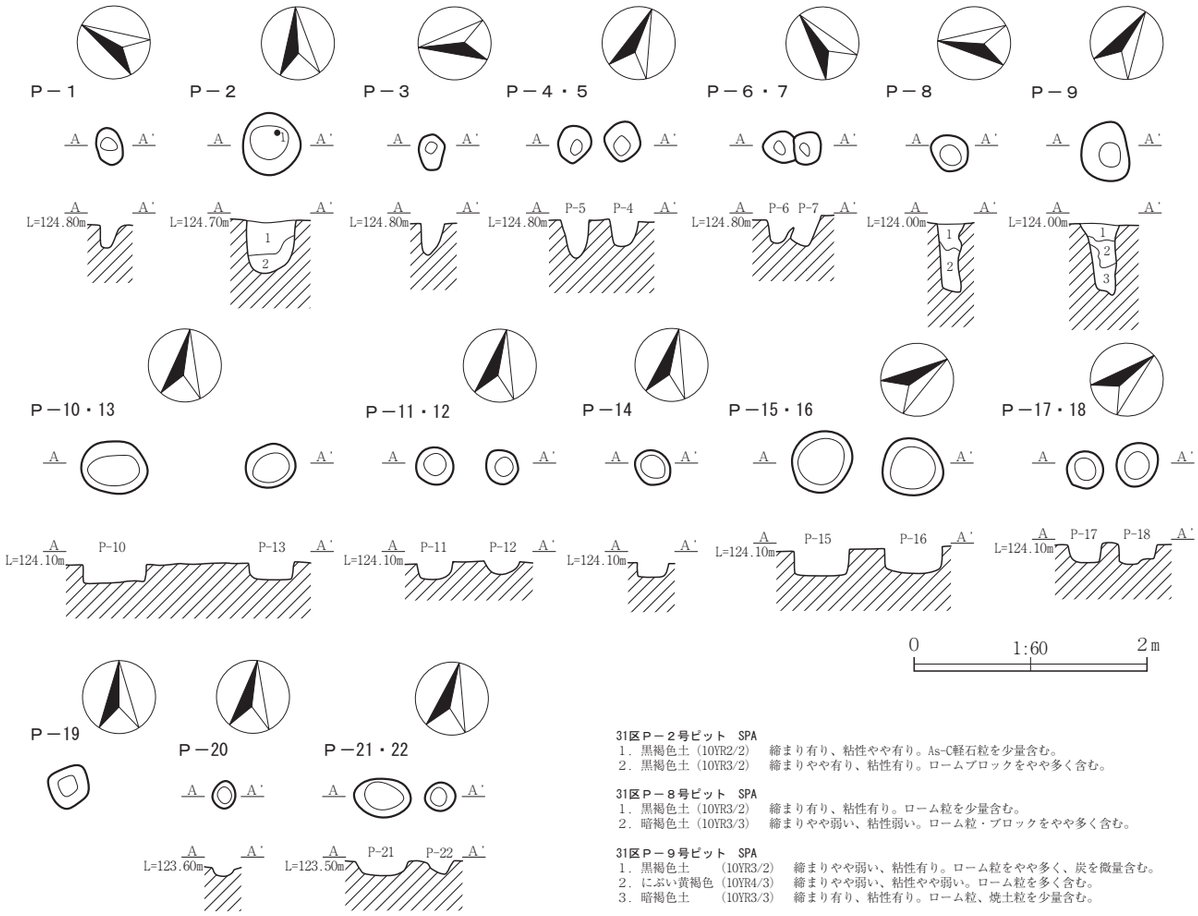
31区Ｄ－14号号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性有、ローム粒・ブロックを少量、焼土粒（φ３mm前後）を微量含む。

31区Ｄ－15～17号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有。As-C軽石粒を極微量含む。

31区Ｄ－23号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒・焼土ブロックを少量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）締まりやや有、粘性弱い、As-C軽石粒・焼土ブロックを微量含む。

31区Ｄ－24号土坑　SPA
7．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有り、粘性弱い。φ５mm程度のAs-C軽石粒を含む。
8．黒褐色土（10YR2/1）　締まりやや有り、粘性やや有り。φ１～５mmのAs-C軽石粒を含む。φ0.1～0.5mm程度の赤色粒子を微量に含むシルト質。
9．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有り、粘性有り。ロームブロックを少量含む。粘土質、シルト質。

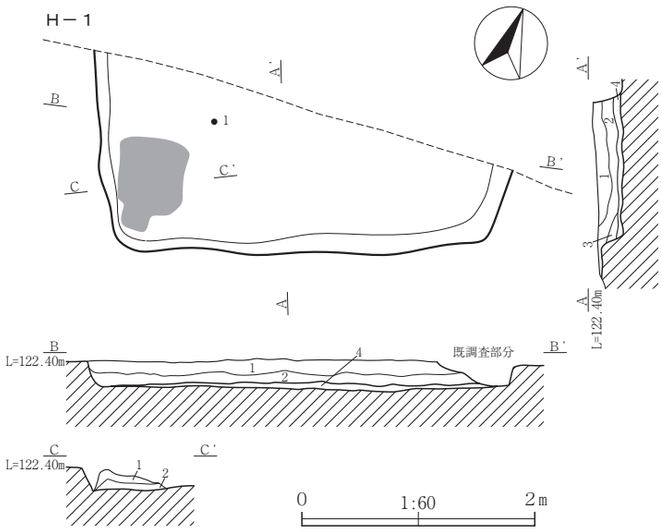
Fig.23　31区 ＪＤ－６～７、Ｄ－４～９・14～17・23号土坑

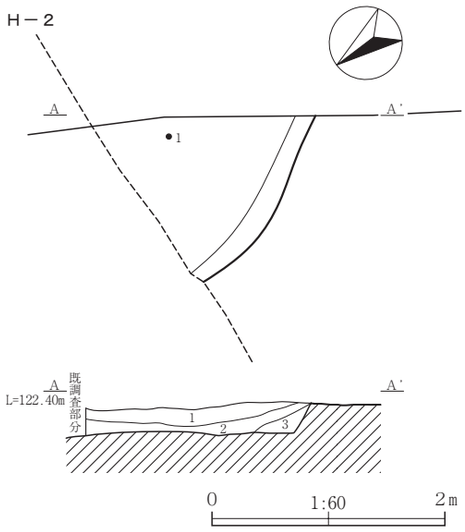


31区Ｐ－２号ピット　SPA
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有り、粘性やや有り。As-C軽石粒を少量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有り、粘性有り。ロームブロックをやや多く含む。

31区Ｐ－８号ピット　SPA
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有り、粘性有り。ローム粒を少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱い、粘性弱い。ローム粒・ブロックをやや多く含む。

31区Ｐ－９号ピット　SPA
1．黒褐色土　（10YR3/2）　締まりやや弱い、粘性有り。ローム粒をやや多く、炭を微量含む。
2．にぶい黄褐色（10YR4/3）　締まりやや弱い、粘性やや弱い。ローム粒を多く含む。
3．暗褐色土　（10YR3/3）　締まり有り、粘性有り。ローム粒、焼土粒を少量含む。



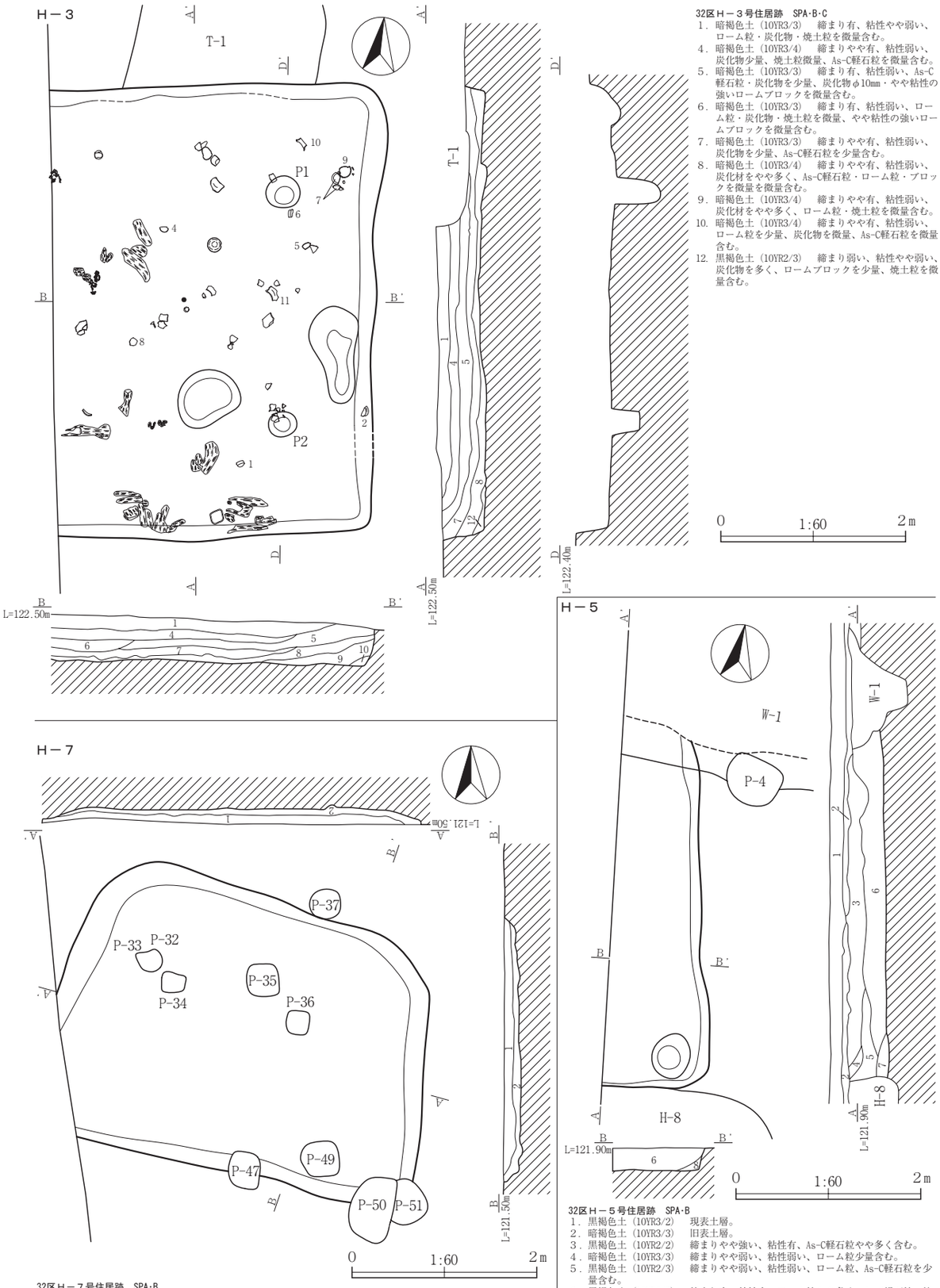


32区Ｈ－１号住居跡　SPA･B
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、As-C軽石粒を少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・As-C軽石粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒を微量含む。
4．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや有、ローム粒微量含む貼り床層。

32区Ｈ－１号住居跡　SPC
1．灰白色粘土（25Y8/1）　締まり有、粘性有、炭化物m微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・As-C軽石粒を微量含む。

32区Ｈ－１号住居跡　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・ブロックを少量、As-C軽石粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒、ロームブロック、As-C軽石粒を微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒、As-C軽石粒を微量含む。

Fig.24　31区 Ｐ－１～22号ピット、32区Ｈ－１・２号住居



32区Ｈ－３号住居跡　SPA･B･C

1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや弱い、ローム粒・炭化物・焼土粒を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、炭化物少量、焼土粒微量、As-C軽石粒を微量含む。
5．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、As-C軽石粒・炭化物を少量、炭化物φ10mm・やや粘性の強いロームブロックを微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・炭化物・焼土粒を微量、やや粘性の強いロームブロックを微量含む。
7．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、炭化物を少量、As-C軽石粒を少量含む。
8．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、炭化材をやや多く、As-C軽石粒・ローム粒・ブロックを微量含む。
9．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、炭化材をやや多く、ローム粒・焼土粒を微量含む。
10．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を少量、炭化物を微量、As-C軽石粒を微量含む。
12．黒褐色土（10YR2/3）　締まり弱い、粘性やや弱い、炭化物を多く、ロームブロックを少量、焼土粒を微量含む。

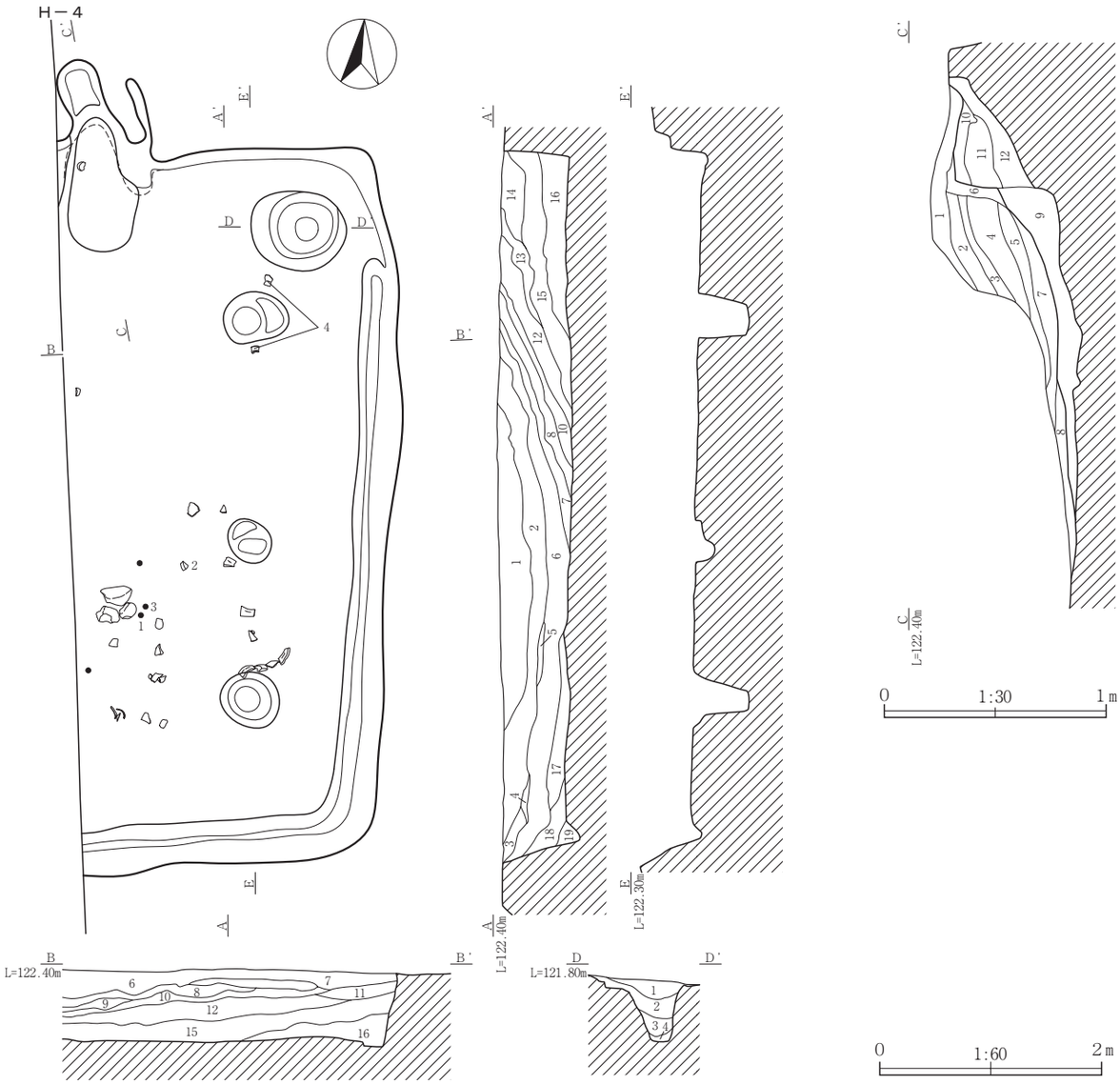
32区Ｈ－５号住居跡　SPA･B

1．黒褐色土（10YR3/2）　現表土層。
2．暗褐色土（10YR3/3）　旧表土層。
3．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや強い、粘性有、As-C軽石粒やや多く含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒少量含む。
5．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒、As-C軽石粒を少量含む。
6．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性有、ローム粒やや多く、As-C軽石粒、焼土粒を微量含む。
7．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒を多く含む。
8．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒を多く含む。

32区Ｈ－７号住居跡　SPA･B

1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性無、ロームブロック・As-C軽石粒を少量、炭化物・焼土ブロックを微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性無、ローム粒を少量、ロームブロック・As-C軽石粒を微量含む。

Fig.25　32区 Ｈ－３・５・７号住居跡



32区Ｈ－４号住居跡　SPA·B

1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、As-C軽石粒やや多く、ロームブロック・ローム粒・焼土粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を少量、ロームブロック・ローム粒・焼土粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まり弱い、粘性やや弱い、ロームブロック・焼土粒を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒・灰を微量含む。
5．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒微量、焼土粒微量、As-C軽石粒微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性有、ロームブロック・ローム粒・焼土粒・As-C軽石粒を微量含む。
7．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや弱い、ロームブロックをやや多く、ローム粒を少量、焼土粒・As-C軽石粒・炭化物を微量含む。
8．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、炭化物を少量、ロームブロック・ローム粒を微量含む。
9．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒微量、As-C軽石粒を微量、灰を微量含む。
10．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒を多く、ロームブロックを少量、炭化物を微量含む。
11．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性有、ローム粒を少量、ロームブロック・As-C軽石粒・炭化物を微量含む。
12．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱い、粘性有、ローム粒・焼土粒・炭化物を微量含む。
13．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒・As-C軽石粒を微量含む。
14．暗褐色土（10YR3/4）　締まり弱い、粘性やや弱い、ローム粒・焼土粒・As-C軽石粒・灰を微量含む。
15．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、ロームブロックを少量、As-C軽石粒・炭化物を微量含む。
16．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性有、ロームブロック・焼土粒・炭化物を微量含む。
17．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや弱い、炭化物・ローム粒を少量、ロームブロック・焼土粒を微量含む。
18．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性有、ローム粒少量、やや粘質土の強いロームブロックを微量含む。
19．黒褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性有、ローム粒少量、炭化物微量含む。

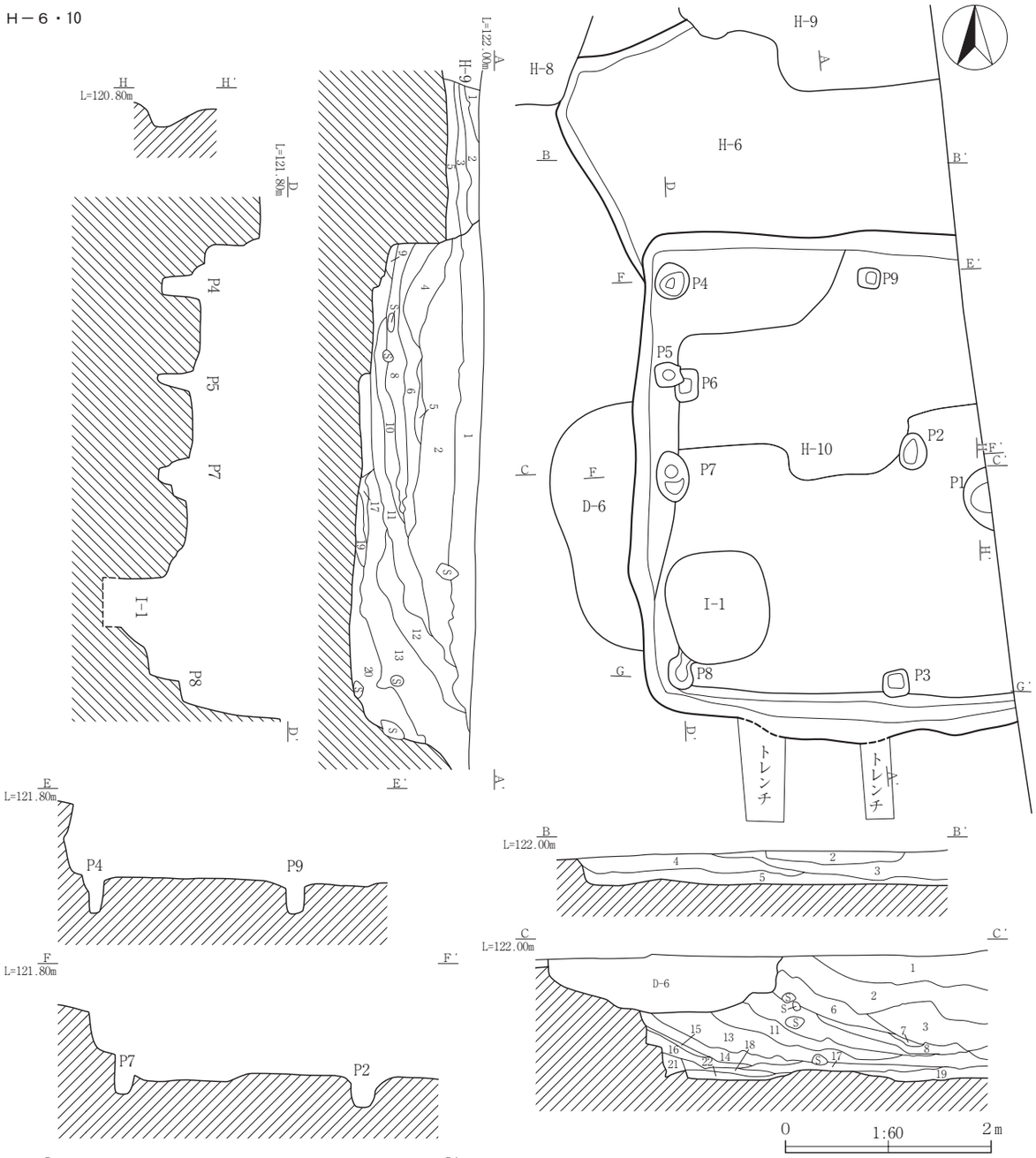
32区Ｈ－４号住居跡カマド　SPC

1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・焼土ブロック・As-C軽石粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、焼土粒・やや粘性の強いロームブロックを微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、焼土粒を少量、やや粘性の強いロームブロックを微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性有、焼土粒を少量、As-C軽石粒を微量含む。
5．暗褐色土（10YR3/4）　締まり弱い、粘性やや有、焼土ブロック・やや粘性の強いロームブロックを少量含む。
6．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや有、焼土ブロックを多く、炭化物を微量含む、カマド天井部崩落土層。
7．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性有、焼土ブロックを多く、やや粘性の強いロームブロックを微量含む。
8．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、焼土粒を少量、焼土ブロック・やや粘性の強いロームブロックを微量含む。
9．黄褐色土（10YR4/2）　締まりやや有、粘性やや有、炭化物・焼土ブロックを微量含む灰層。
10．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性弱い、焼土粒・焼土を多く含む。
11．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや有、ロームブロックを主体として、焼土粒を少量含む。
12．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性弱い、ロームブロックを多く含む。

32区Ｈ－４号住居跡貯蔵穴　SPD

1．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性有、ローム粒・炭化物を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや有、ロームブロック・ローム粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、ローム粒を少量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性有、ローム粒を微量含む。やや砂質。

Fig.26　32区 Ｈ－４号住居跡



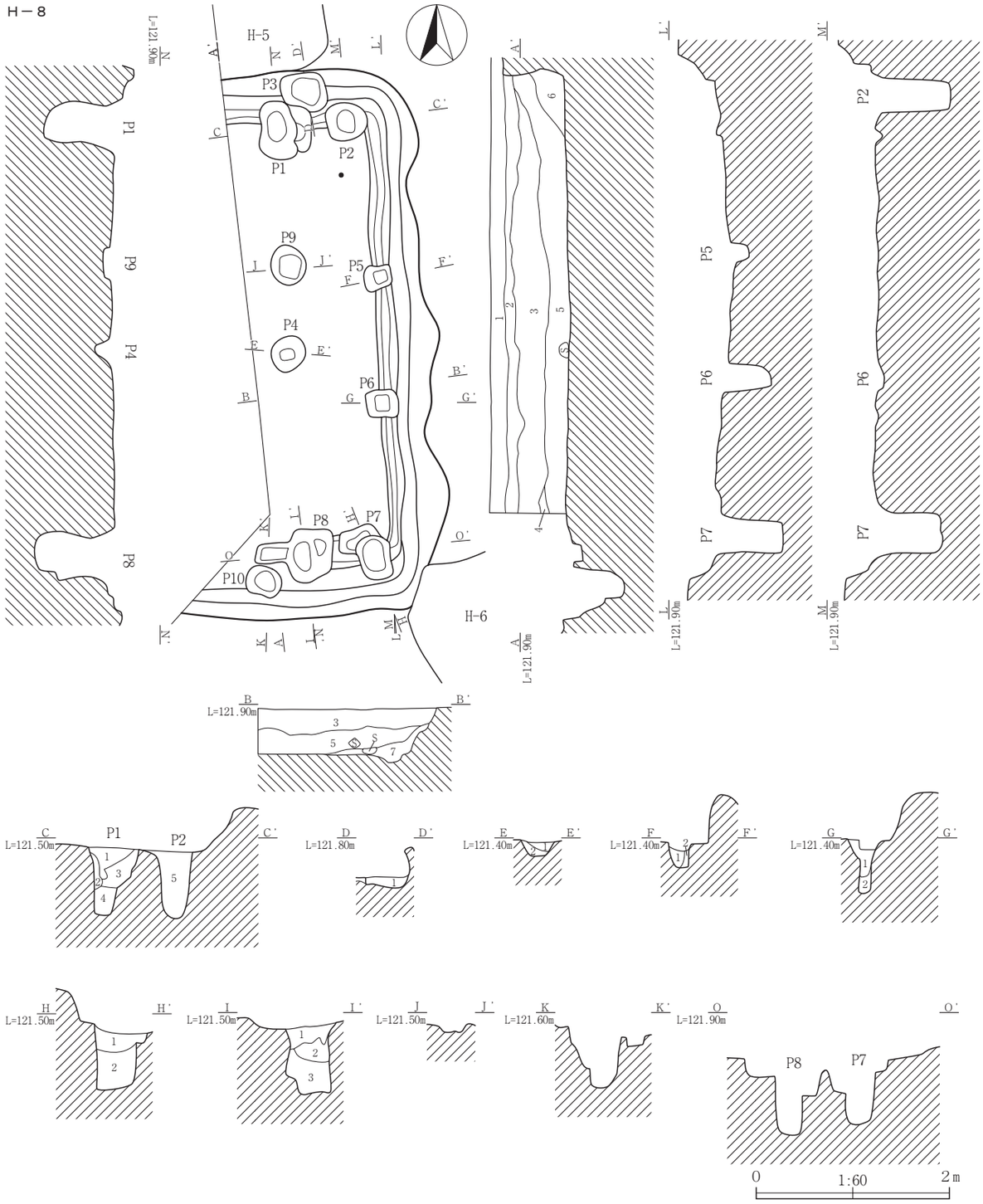
32区Ｈ－６号住居跡　SPA-B

1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性やや弱い、やや砂質のローム粒を少量、炭化物を微量含む。
2．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性やや弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。
3．にぶい黄褐色砂（10YR5/4）　締まり有、粘性無、1やや砂質のローム粒を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性やや弱い、焼土粒・やや砂質のローム粒・As-C軽石粒を微量含む。
5．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を少量、やや砂質のローム粒を微量含む。

32区Ｈ－10号住居跡　SPA-C

1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性やや弱い、炭化物・焼土粒・As-C軽石粒・やや砂質のローム粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性やや弱い、炭化物・As-C軽石粒・やや砂質のローム粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、炭化物・As-C軽石粒・やや砂質のローム粒を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を少量、焼土粒微量、やや砂質のローム粒を微量含む。
5．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや弱い、As-C軽石粒・やや砂質のローム粒を微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を微量、やや砂質のロームブロックを多く含む。
7．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性有、やや砂質のローム粒を少量含む。
8．褐色土（10YR4/4）　締まりやや有、粘性やや弱い、炭化物・やや砂質のローム粒を微量含む。
9．にぶい黄褐色砂（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。
10．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性有、炭化物・焼土粒・やや砂質のローム粒を微量含む。
11．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや弱い、炭化物・As-C軽石粒を微量含む。
12．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや弱い、やや砂質のロームブロックを多く、炭化物を微量含む。
13．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや弱い、やや砂質のロームブロックを地山ブロックを多く、焼土粒を微量含む。
14．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性やや弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。
15．黄褐色砂（2.5YR5/3）　締まり弱い、粘性弱い、やや砂質のロームブロック主体とする崩落土層。
16．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。
17．にぶい黄褐色砂（10YR5/3）　締まり有、粘性弱い、As-C軽石粒を微量含む。
18．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。
19．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや弱い、As-C軽石粒を微量含む。
20．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや弱い、やや砂質のローム粒を少量、焼土粒を微量含む。
21．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性やや弱い、やや砂質のローム粒を多く含む。
22．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや弱い、やや砂質のローム粒を多く含む。

Fig.27　32区 Ｈ－６･10号住居跡



32区Ｈ－８号住居跡　SPA･B
1．表土層。
2．表土層。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや強い、灰色粘質土をやや多く、ローム粒を少量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性有、褐灰粘質土を多く含む。
5．黒褐色土（10YR3/1）　締まりやや有、粘性やや強い、灰色粘質土を多く含む。
6．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒を微量含む、軟質。
7．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、ロームブロックを少量含む、軟質。

32区Ｈ－８号住居跡P1･P2　SPC
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒を少量含む。
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、ロームブロックを多く含む、崩落土層。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、ロームブロックを多く含む。
4．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒、ブロックをやや多く含む。
5．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒を少量含む、軟質。

32区Ｈ－８号住居跡P3　SPD
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、ローム粒を微量含む。

32区Ｈ－８号住居跡P4　SPE
1．暗褐色土（10YR2/2）　締まりやや有、粘性有、軟質。
2．褐灰色土（10YR4/1）　締まりやや有、粘性強い、白灰色粘質土ブロックを多く含む。

32区Ｈ－８号住居跡P5・P6・P7・P8　SPF・G・H・I
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや弱い、粘性有、ローム粒を少量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、ローム粒、灰色粘質土を少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、白灰色粘質土を多く含む。

Fig.28　32区 Ｈ－８号住居跡

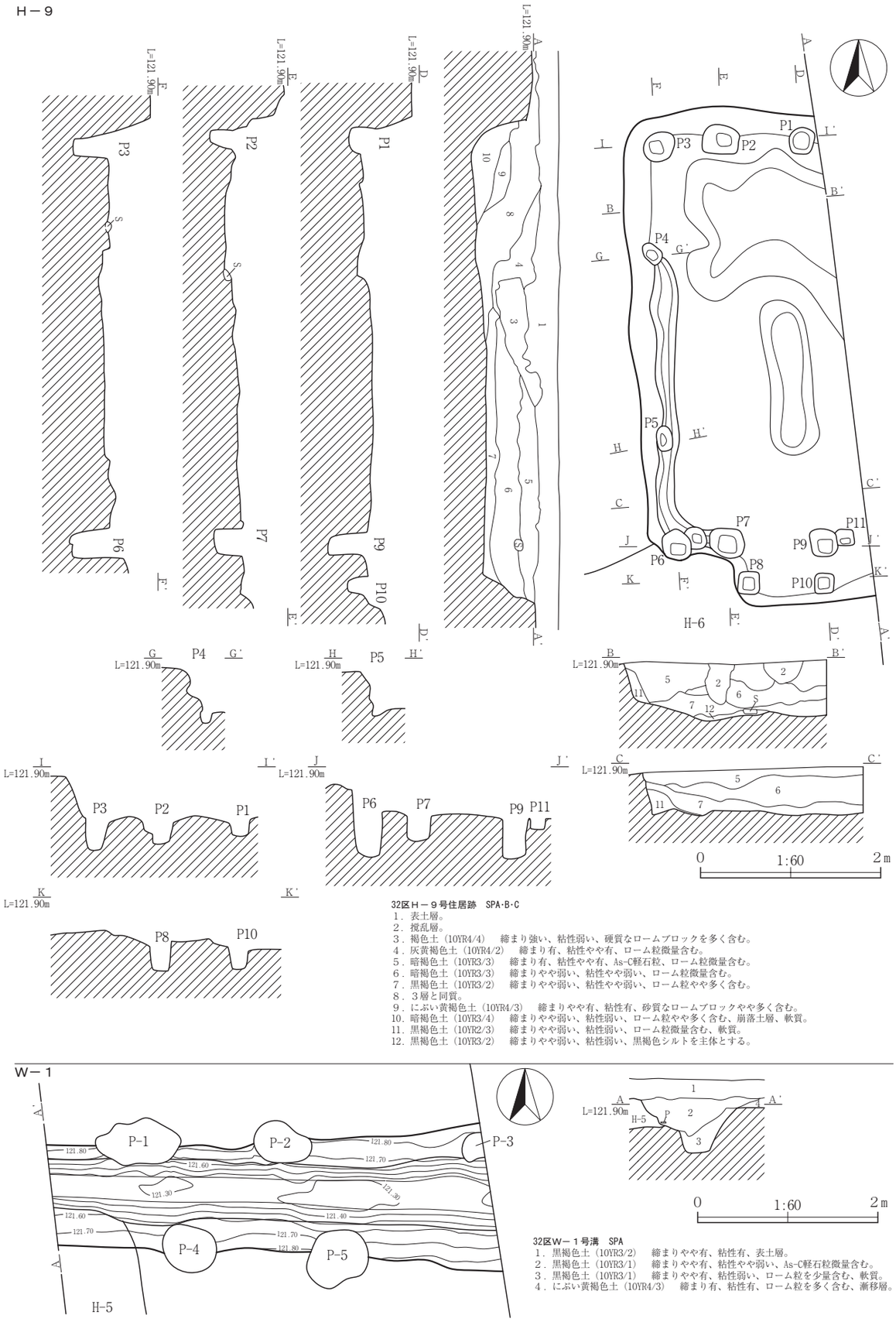
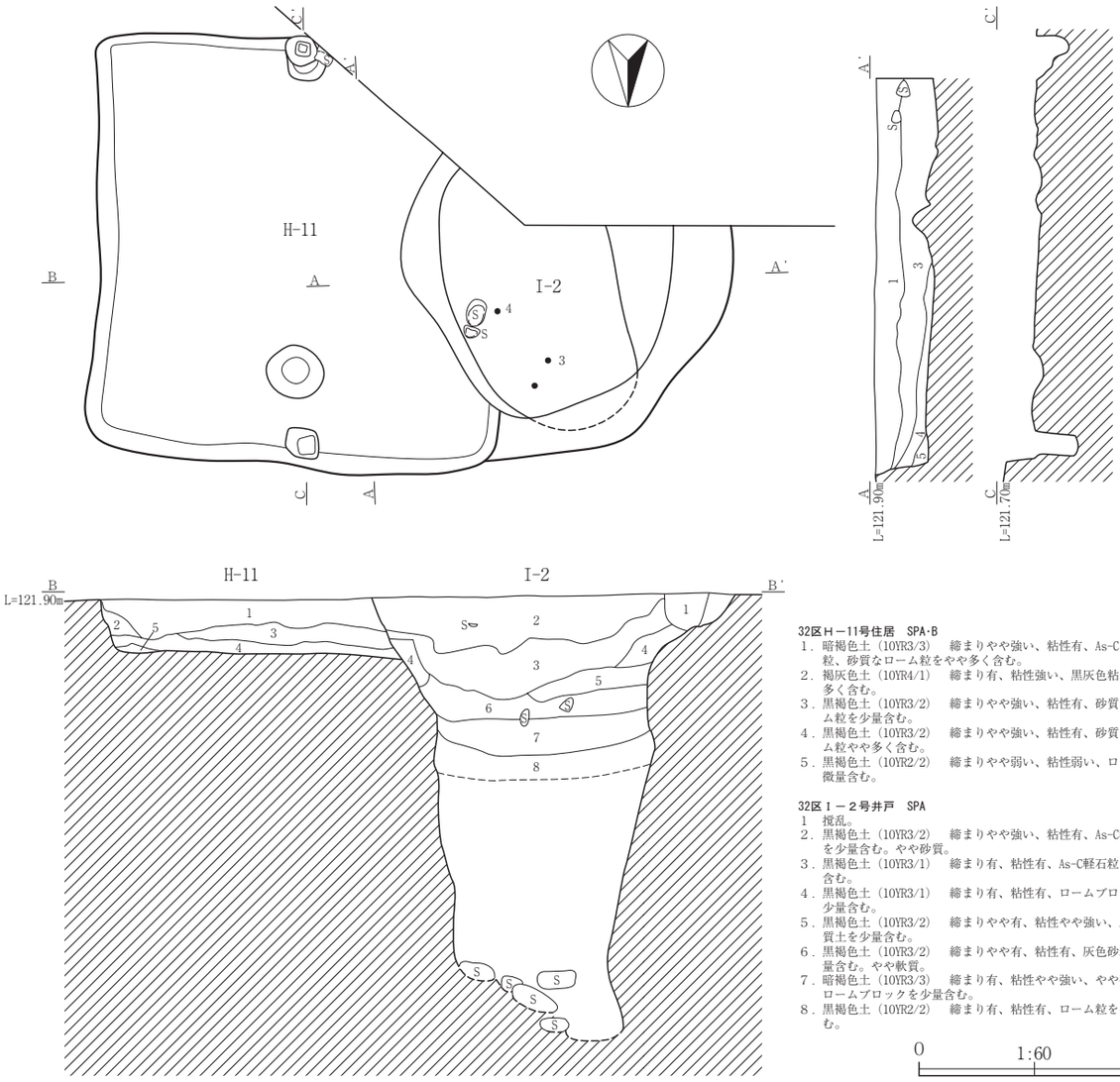


Fig.29　32区 Ｈ－９号住居跡・Ｗ－１号溝

Ｈ－11、Ｉ－２

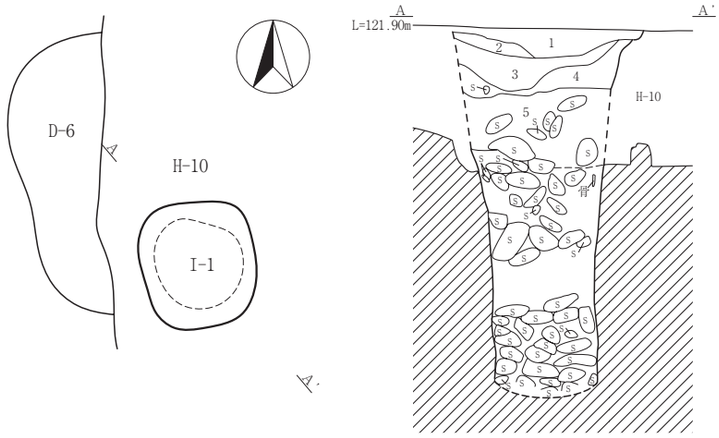


32区Ｈ－11号住居　SPA･B
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや強い、粘性有、As-C（軽石）粒、砂質なローム粒をやや多く含む。
2．褐灰色土（10YR4/1）　締まり有、粘性強い、黒灰色粘質土を多く含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや強い、粘性有、砂質なローム粒を少量含む。
4．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや強い、粘性有、砂質なローム粒やや多く含む。
5．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや弱い、粘性弱い、ローム粒微量含む。

32区Ｉ－２号井戸　SPA
1　撹乱。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや強い、粘性有、As-C軽石粒を少量含む。やや砂質。
3．黒褐色土（10YR3/1）　締まり有、粘性有、As-C軽石粒を微量含む。
4．黒褐色土（10YR3/1）　締まり有、粘性有、ロームブロックを少量含む。
5．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや強い、灰色粘質土を少量含む。
6．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性有、灰色砂粒を少量含む。やや軟質。
7．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや強い、やや砂質なロームブロックを少量含む。
8．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性有、ローム粒を少量含む。

0　1:60　2m

Ｉ－１

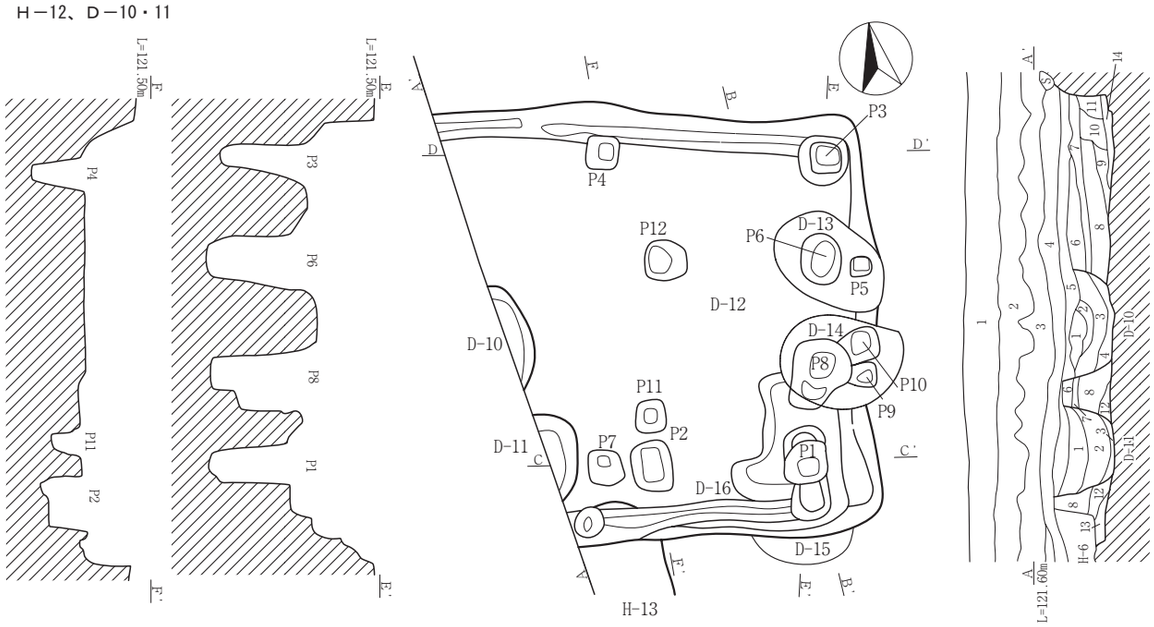


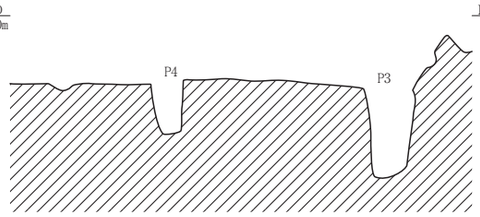
32区Ｉ－１号井戸　SPA
1．灰黄褐色土（10YR4/2）　締まりやや強い、粘性弱い、灰色砂粒をやや多く含む。
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや弱い、粘性有、灰色砂粒を多く含む。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性有、ロームブロックを少量含む。
4．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや弱い、φ３mm前後の砂粒をやや多く含む。
5．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性有、崩落した粒石がこの層より確認される。

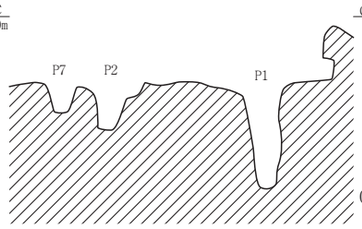
0　1:60　2m

Fig.30　32区 Ｈ－11号住居跡、Ｉ－１・２号井戸

H－12、D－10・11







32区Ｈ－12号住居跡　SPA

1．表土層。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-B軽石粒を少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、As-B軽石粒をやや多く含む。
4．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、As-B軽石粒を少量含む。
5．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のロームブロック・白色粒を微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性なし、やや砂質のローム粒をやや多く、白色粒を少量含む。
7．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、炭化物・やや砂質のローム粒を少量含む。
8．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、炭化物・やや砂質のローム粒を微量含む。
9．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量、炭化物を微量含む。
10．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量、白色粒を微量含む。
11．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、炭化物を少量、白色粒・やや砂質のローム粒を微量含む。
12．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。
13．暗黄褐色土（10YR ／ ）締まりやや弱い、粘性あり、崩落した地山ロームブロックをやや多く含む。
14．暗褐色土（10YR3/4）締まりやや有、粘性やや弱い、崩落した地山ロームブロックを少量含む。

32区Ｄ－10号土坑　SPA

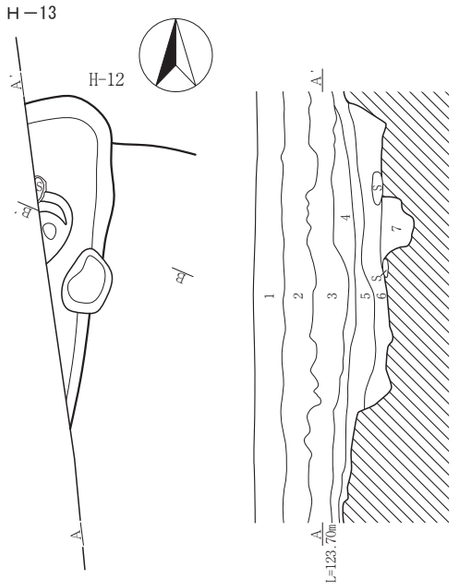
1．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性やや有、やや砂質のロームブロックを少量、炭化物を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、やや砂質のロームブロックを少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、やや砂質のロームブロックを微量含む
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや有、やや砂質のロームブロック・白色粒を微量含む。

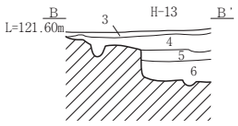
32区Ｄ－11号土坑　SPA

1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い。炭化物・焼土粒・白色粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まりやや有、粘性弱い。炭化物を少量、やや砂質のロームブロックを微量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性弱い。やや砂質のロームブロックを微量含む。

0　1:60　2m

H－13



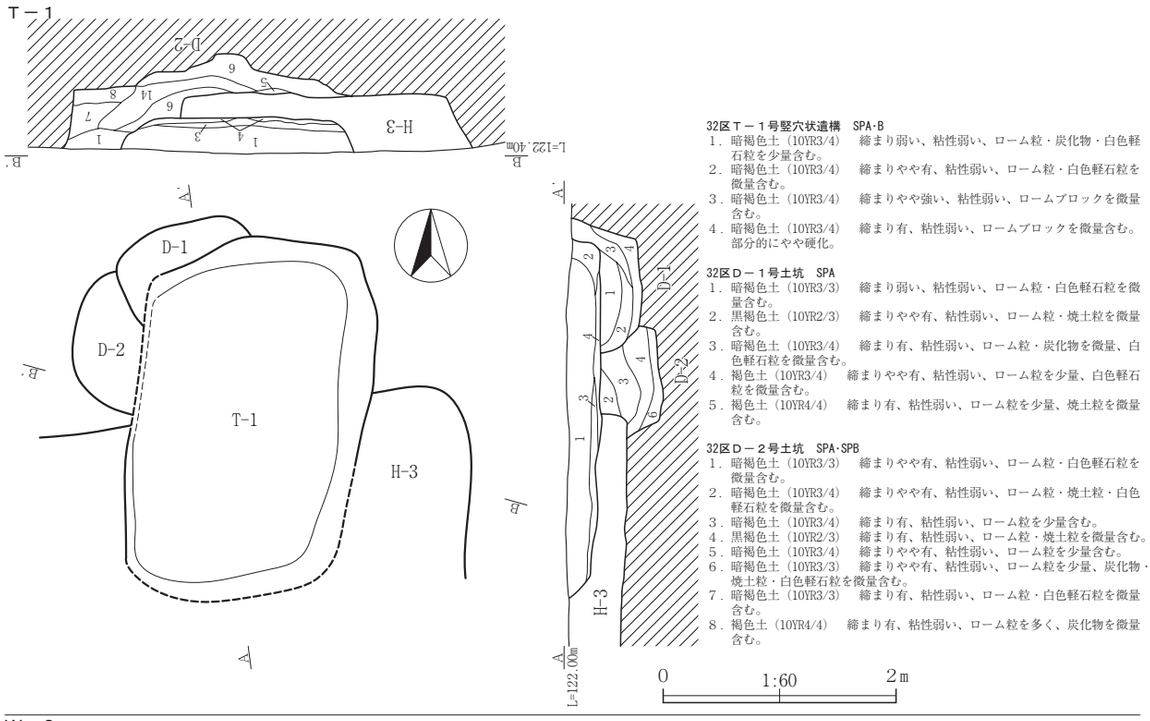


31区Ｈ－13号住居跡　SPA・B

1．表土層。
2．黒褐色土（10YR3/2）　締まり有、粘性やや有、As-B軽石粒を少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、As-B軽石粒をやや多く含む。
4．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、As-B軽石粒を少量含む。
5．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有り、粘性弱い。ロームブロック・ローム粒・白色粒を微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有り、粘性弱い。ローム粒を少量、白色粒を微量含む。
7．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有り、粘性弱い。ロームブロック・白色粒・やや砂質のローム粒を微量含む。

0　1:60　2m

Fig.31　32区 Ｈ－12・13号住居跡、Ｄ－10・11号土坑



32区Ｔ－１号竪穴状遺構　SPA･B

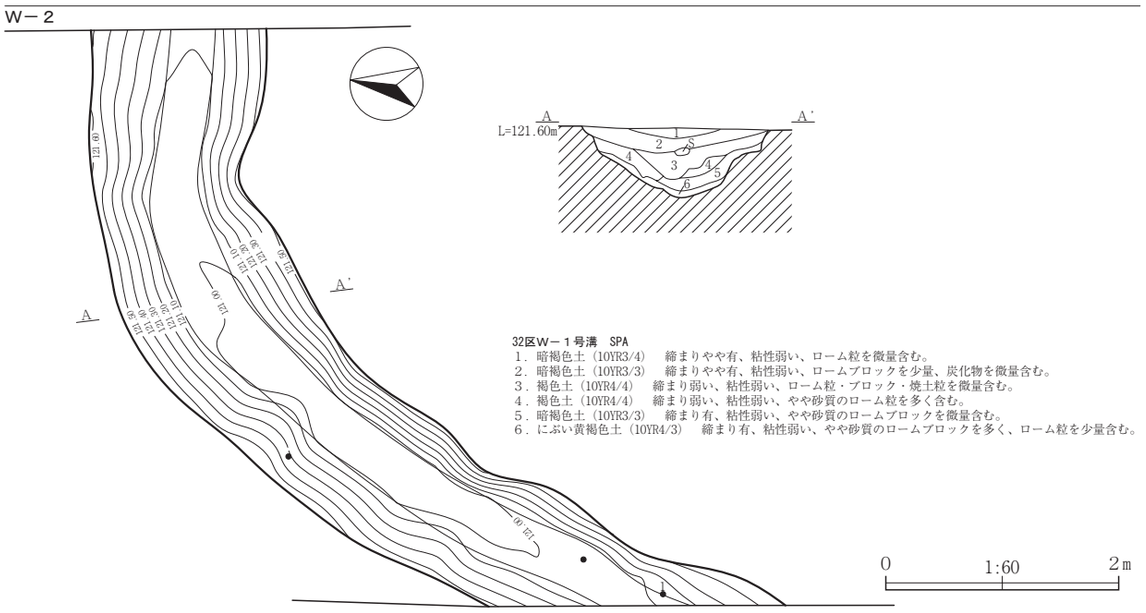
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒・炭化物・白色軽石粒を少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・白色軽石粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや強い、粘性弱い、ロームブロックを微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ロームブロックを微量含む。部分的にやや硬化。

32区Ｄ－１号土坑　SPA

1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒・白色軽石粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・焼土粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・炭化物を微量、白色軽石粒を微量含む。
4．褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を少量、白色軽石粒を微量含む。
5．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒を少量、焼土粒を微量含む。

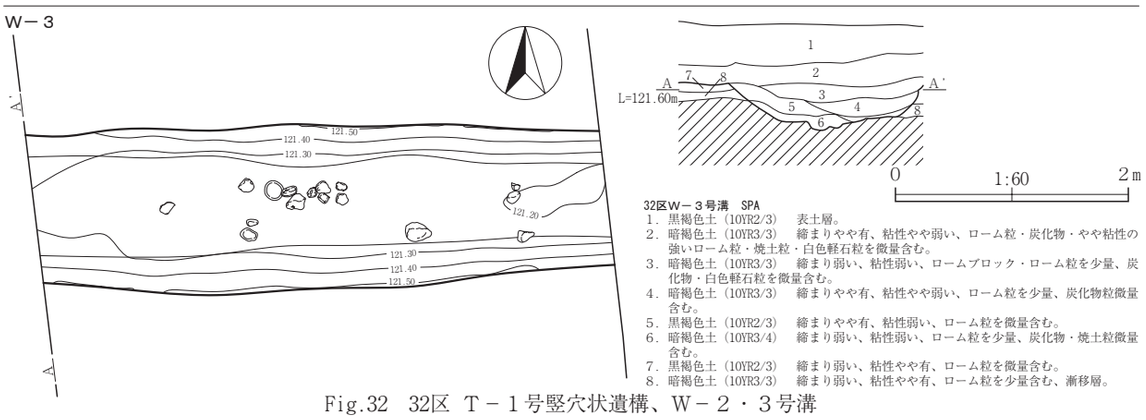
32区Ｄ－２号土坑　SPA･SPB

1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・白色軽石粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・焼土粒・白色軽石粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒を少量含む。
4．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・焼土粒を微量含む。
5．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を少量含む。
6．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を少量、炭化物・焼土粒・白色軽石粒を微量含む。
7．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・白色軽石粒を微量含む。
8．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒を多く、炭化物を微量含む。



32区Ｗ－１号溝　SPA

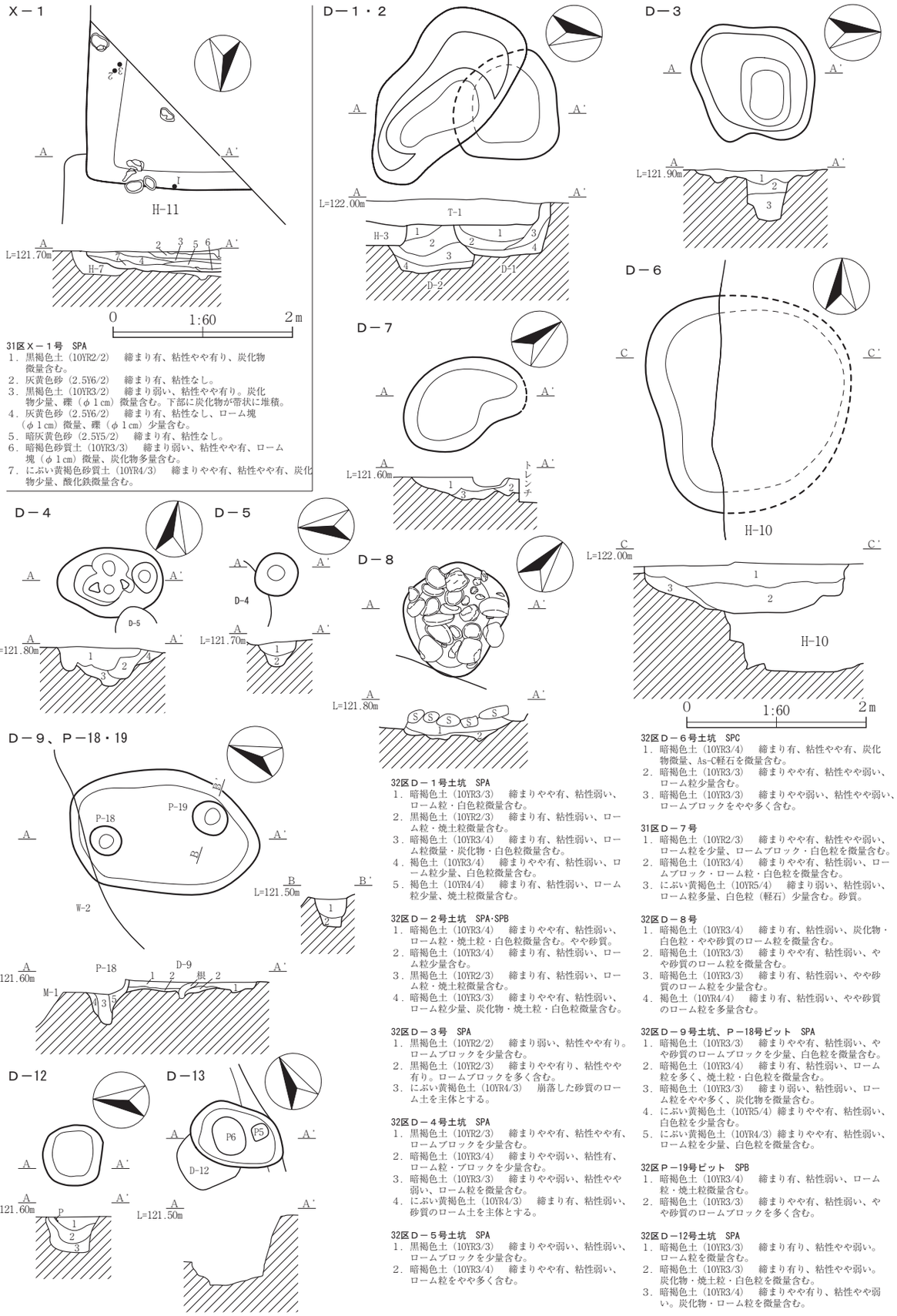
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ロームブロックを少量、炭化物を微量含む。
3．褐色土（10YR4/4）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒・ブロック・焼土粒を微量含む。
4．褐色土（10YR4/4）　締まり弱い、粘性弱い、やや砂質のローム粒を多く含む。
5．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、やや砂質のロームブロックを微量含む。
6．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり有、粘性弱い、やや砂質のロームブロックを多く、ローム粒を少量含む。



32区Ｗ－３号溝　SPA

1．黒褐色土（10YR2/3）　表土層。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒・炭化物・やや粘性の強いローム粒・焼土粒・白色軽石粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、ロームブロック・ローム粒を少量、炭化物・白色軽石粒を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒を少量、炭化物粒微量含む。
5．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/4）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒を少量、炭化物・焼土粒微量含む。
7．黒褐色土（10YR2/3）　締まり弱い、粘性やや有、ローム粒を微量含む。
8．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性やや有、ローム粒を少量含む、漸移層。

Fig.32　32区 Ｔ－１号竪穴状遺構、Ｗ－２・３号溝



31区Ｘ－１号　SPA
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性やや有り、炭化物微量含む。
2．灰黄色砂（2.5Y6/2）　締まり有、粘性なし。
3．黒褐色土（10YR3/2）　締まり弱い、粘性やや有り。炭化物少量、礫（φ1cm）微量含む。下部に炭化物が帯状に堆積。
4．灰黄色砂（2.5Y6/2）　締まり有、粘性なし、ローム塊（φ1cm）微量、礫（φ1cm）少量含む。
5．暗灰黄色砂（2.5Y5/2）　締まり有、粘性なし。
6．暗褐色砂質土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性やや有、ローム塊（φ1cm）微量、炭化物多量含む。
7．にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性やや有、炭化物少量、酸化鉄微量含む。

32区Ｄ－１号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・白色粒微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・焼土粒微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒微量・炭化物・白色粒微量含む。
4．褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒少量、白色粒微量含む。
5．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒少量、焼土粒微量含む。

32区Ｄ－２号土坑　SPA･SPB
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・焼土粒・白色粒微量含む。やや砂質。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒少量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・焼土粒微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒少量、炭化物・焼土粒・白色粒微量含む。

32区Ｄ－３号　SPA
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性やや有り。ロームブロックを少量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有り、粘性やや有り。ロームブロックを多く含む。
3．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　崩落した砂質のローム土を主体とする。

32区Ｄ－４号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや有、ロームブロックを少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや弱い、粘性有、ローム粒・ブロックを少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱い、粘性やや弱い、ローム粒を微量含む。
4．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり有、粘性弱い、砂質のローム土を主体とする。

32区Ｄ－５号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、ロームブロックを少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒をやや多く含む。

32区Ｄ－６号土坑　SPC
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性やや有、炭化物微量、As-C軽石を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱い、粘性やや弱い、ロームブロックをやや多く含む。

31区Ｄ－７号
1．暗褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや弱い、ローム粒を少量、ロームブロック・白色粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ロームブロック・ローム粒・白色粒を微量含む。
3．にぶい黄褐色土（10YR5/4）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒多量、白色粒（軽石）少量含む。砂質。

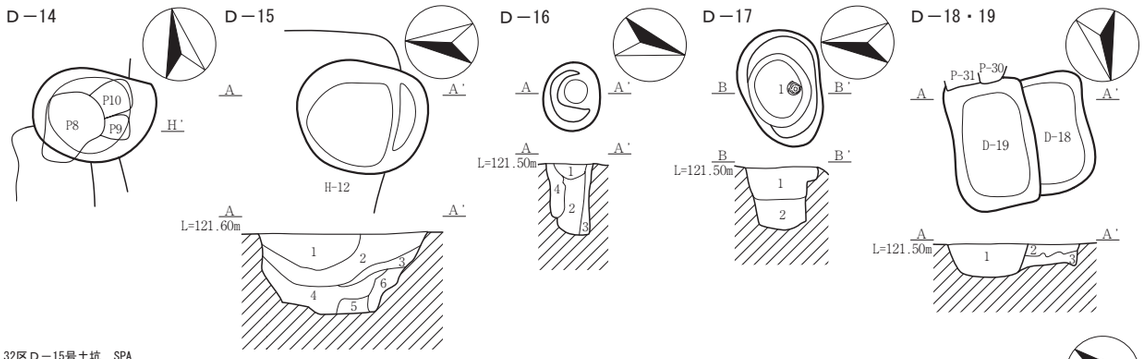
32区Ｄ－８号
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、炭化物・白色粒・やや砂質のローム粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。
4．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を多量含む。

32区Ｄ－９号土坑、Ｐ－18号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のロームブロックを少量、白色粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒を多く、焼土粒・白色粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒をやや多く、炭化物を微量含む。
4．にぶい黄褐色土（10YR5/4）締まりやや有、粘性弱い、白色粒を少量含む。
5．にぶい黄褐色土（10YR4/3）締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を少量、白色粒を微量含む。

32区Ｐ－19号ピット　SPB
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・焼土粒微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のロームブロックを多く含む。

32区Ｄ－12号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有り、粘性やや弱い。ローム粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有り、粘性やや弱い。炭化物・焼土粒・白色粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有り、粘性やや弱い。炭化物・ローム粒を微量含む。

Fig.33　32区 Ｘ－１号跡、Ｄ－１～９・12・13号土坑、Ｐ－18・19号ピット



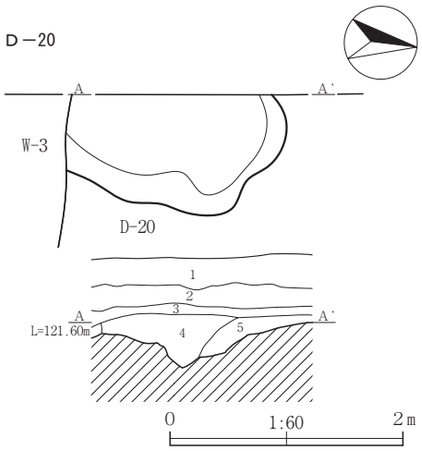
32区Ｄ－15号土坑　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒を少量、炭化物・白色粒・やや砂質のロームブロックを微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、ロームブロック・ローム粒・白色粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、ロームブロックを微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ロームブロックを微量含む。
5．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒を微量含む。
6．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒を微量含む。

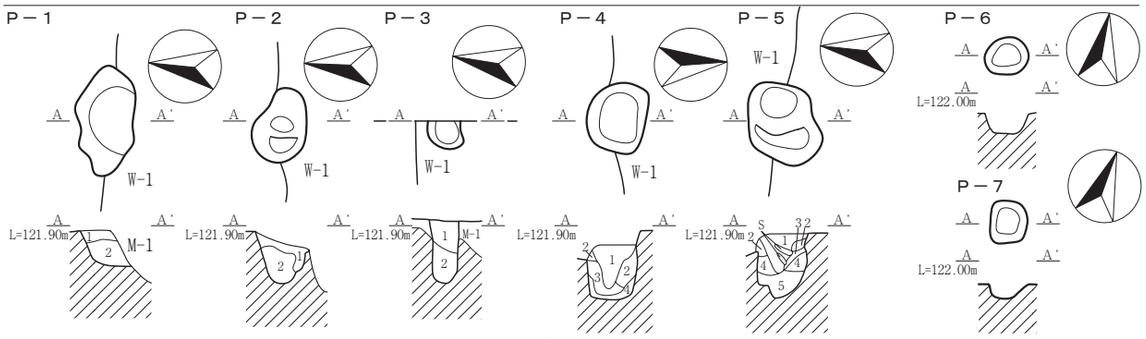
32区Ｄ－16号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性やや弱い、白色粒を少量含む。
2．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性有、炭化物を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性やや弱い、ローム粒を少量、炭化物を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒を微量含む。

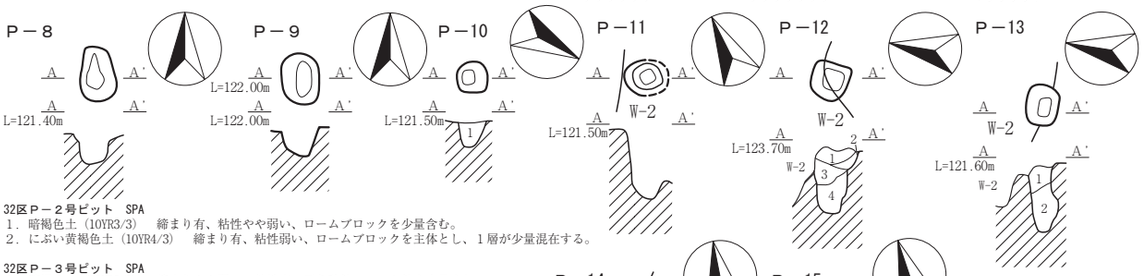
32区Ｄ－17号土坑　SPA
1．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり弱い、粘性弱い、10YR4/6褐色砂（地山）φ１cmを微量含む。砂質。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・ブロックを微量含む。

32区Ｄ－18・19号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR2/2）　締まり有、粘性やや有、ローム粒を微量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）　締まり有、粘性有、白色粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性やや弱い、ローム粒を少量、炭化物を微量含む。

32区Ｄ－20号土坑　SPA
1．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性なし、表土層。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性なし、ローム粒・炭化物・As-B軽石を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒・ブロックを少量、炭化物・白色粒を微量含む。
4．黒褐色土（10YR2/3）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒・炭化物・焼土粒を微量含む。
5．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・白色粒・炭化物を微量含む。







32区Ｐ－２号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや弱い、ロームブロックを少量含む。
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり有、粘性弱い、ロームブロックを主体とし、１層が少量混在する。

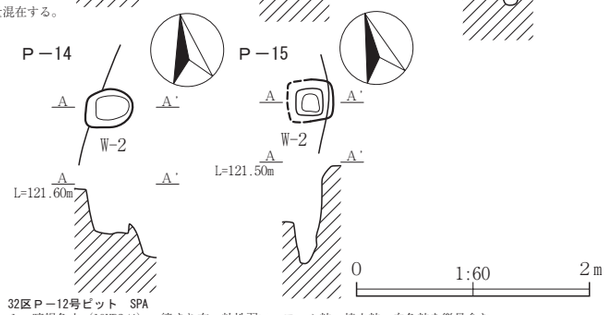
32区Ｐ－３号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱い、粘性有、灰色砂粒、ローム粒を少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや弱い、粘性有、ローム粒とブロックをやや多く含む。

32区Ｐ－４号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性有、ローム粒をやや多く含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性有、ロームブロックを少量含む。
3．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや弱い、粘性弱い、ロームブロックを微量含む。
4．黒褐色土（10YR2/2）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒を微量含む、軟質。

32区Ｐ－５号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり有、粘性やや有、砂質のロームを少量含む。
2．黒褐色土（10YR2/3）　締まりやや有、粘性やや有、砂質のロームを微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性やや有、砂質のロームを多く含む。
4．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや有、粘性有、ロームブロックをやや多く含む。
5．黒褐色土（10YR2/2）　締まりやや弱い、粘性有、ローム粒を少量含む。

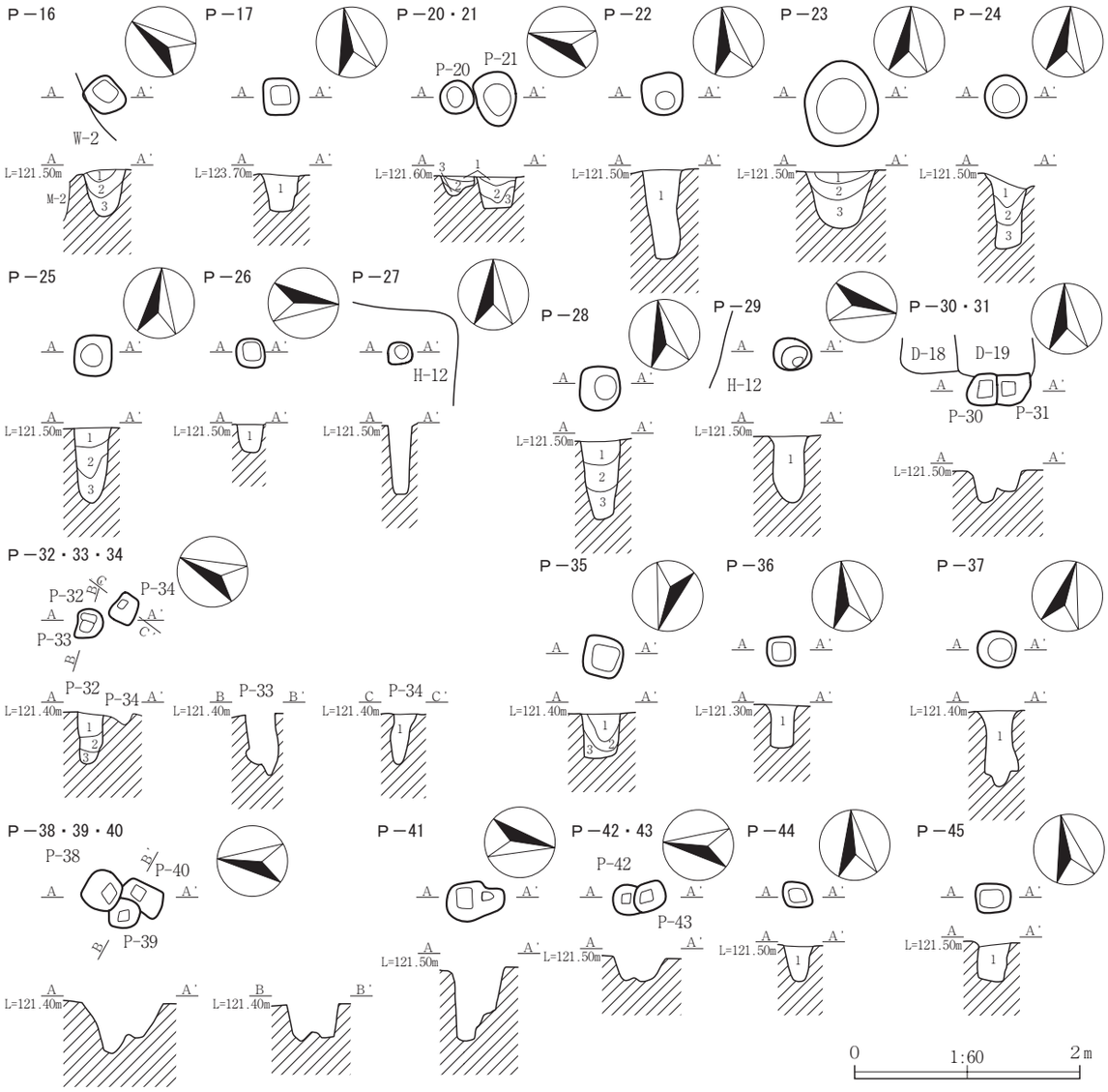
32区Ｐ－10号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、ローム粒を微量含む。

32区Ｐ－13号ピット　SPA
1．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり有、粘性弱い、ロームブロック・白色粒を微量含む。
2．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、白色粒・やや砂質のローム粒を微量含む。



32区Ｐ－12号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・焼土粒・白色粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・白色粒を少量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、白色粒を微量含む。
4．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、砂質。

Fig.34　32区 Ｄ－14～20号土坑、Ｐ－１～15号ピット



32区Ｐ－16号ピット　SPA
1．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒微量、焼土粒微量、白色粒を微量含む。
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、焼土粒を微量含む。
3．褐色土（10YR4/4）　締まり弱い、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。

32区Ｐ－17号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。

32区Ｐ－20号ピット　SPA
1．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、白色粒を微量含む。砂質。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、白色粒を微量含む。砂質。
3．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を少量含む。

32区Ｐ－20号ピット　SPA
1．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、白色粒を微量含む。砂質。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、白色粒を微量含む。砂質。
3．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を少量含む。

32区Ｐ－22号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。

32区Ｐ－23号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム塊・白色粒を少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、焼土粒・白色粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・白色粒を微量含む。

32区Ｐ－24号ピット　SPA
1．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、白色粒を微量含む。
2．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、白色粒を微量含む。
3．褐色土（10YR4/4）　締まり弱い、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。

32区Ｐ－25号ピット　SPA
1．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まり有、粘性弱い、ローム粒・白色粒を微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。

32区Ｐ－26号ピット　SPA
1．にぶい黄褐色土（10YR4/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒・焼土粒・白色粒を微量含む。

32区Ｐ－28号ピット　SPA
1．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒微量、白色粒微量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まり弱い、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/1）　締まり弱い、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。

32区Ｐ－29号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。

32区Ｐ－29号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。

32区Ｐ－29号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。

32区Ｐ－35号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、ローム粒少量含む。
2．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。
3．にぶい黄褐色土（10YR5/4）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を多く含む。

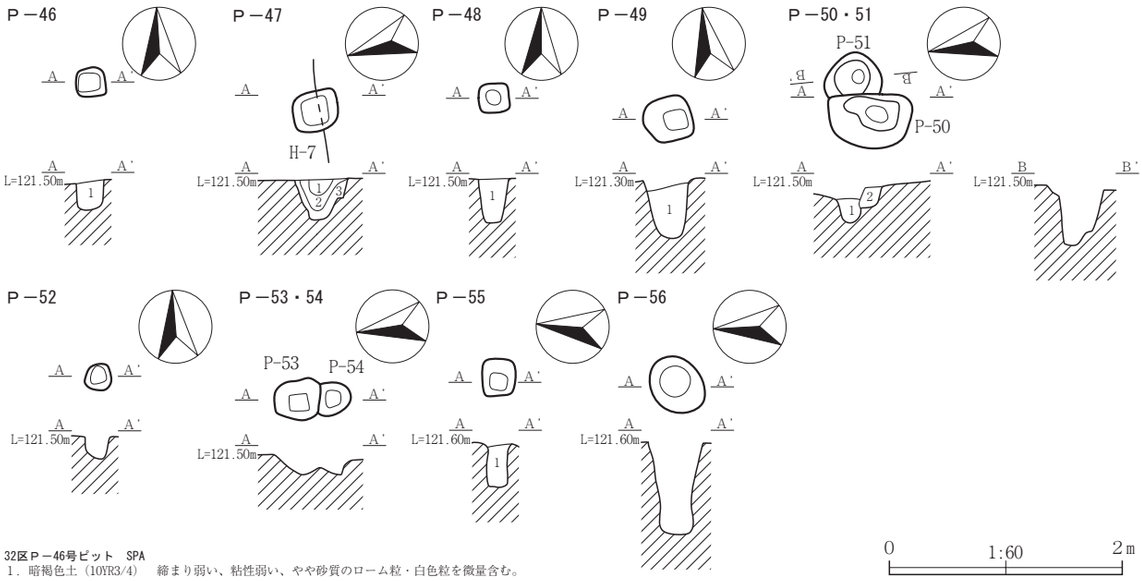
32区Ｐ－36号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、白色粒を少量含む。

32区Ｐ－37号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり有、粘性弱い、焼土粒・やや砂質のローム粒を微量含む。

32区Ｐ－44号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。

32区Ｐ－45号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量、白色粒を微量含む。

Fig.35　32区 Ｐ－16・17・20～45号ピット



32区Ｐ－46号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まり弱い、粘性弱い、やや砂質のローム粒・白色粒を微量含む。

32区Ｐ－47号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ロームブロックを多く含む。
2．暗褐色土（10YR3/3）　締まりやや有、粘性弱い、ローム粒を微量含む。
3．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、炭化物微量、やや砂質のローム粒を少量含む。

32区Ｐ－48号ピット　SPA
1．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を微量含む。

32区Ｐ－49号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/3）　締まり弱い、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。

32区Ｐ－50号ピット　SPA
1．暗褐色土（10YR3/4）　締まりやや有、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量、炭化物・白色粒を微量含む。
2．褐色土（10YR4/4）　締まり有、粘性弱い、炭化物・白色粒・やや砂質のローム粒を微量含む。

32区Ｐ－55号ピット　SPA
1．褐色土（10YR4/4）　締まり弱い、粘性弱い、やや砂質のローム粒を少量含む。

Fig.36　32区 Ｐ－46～56号ピット

Fig.37　31区　J－1・2号住居跡出土遺物

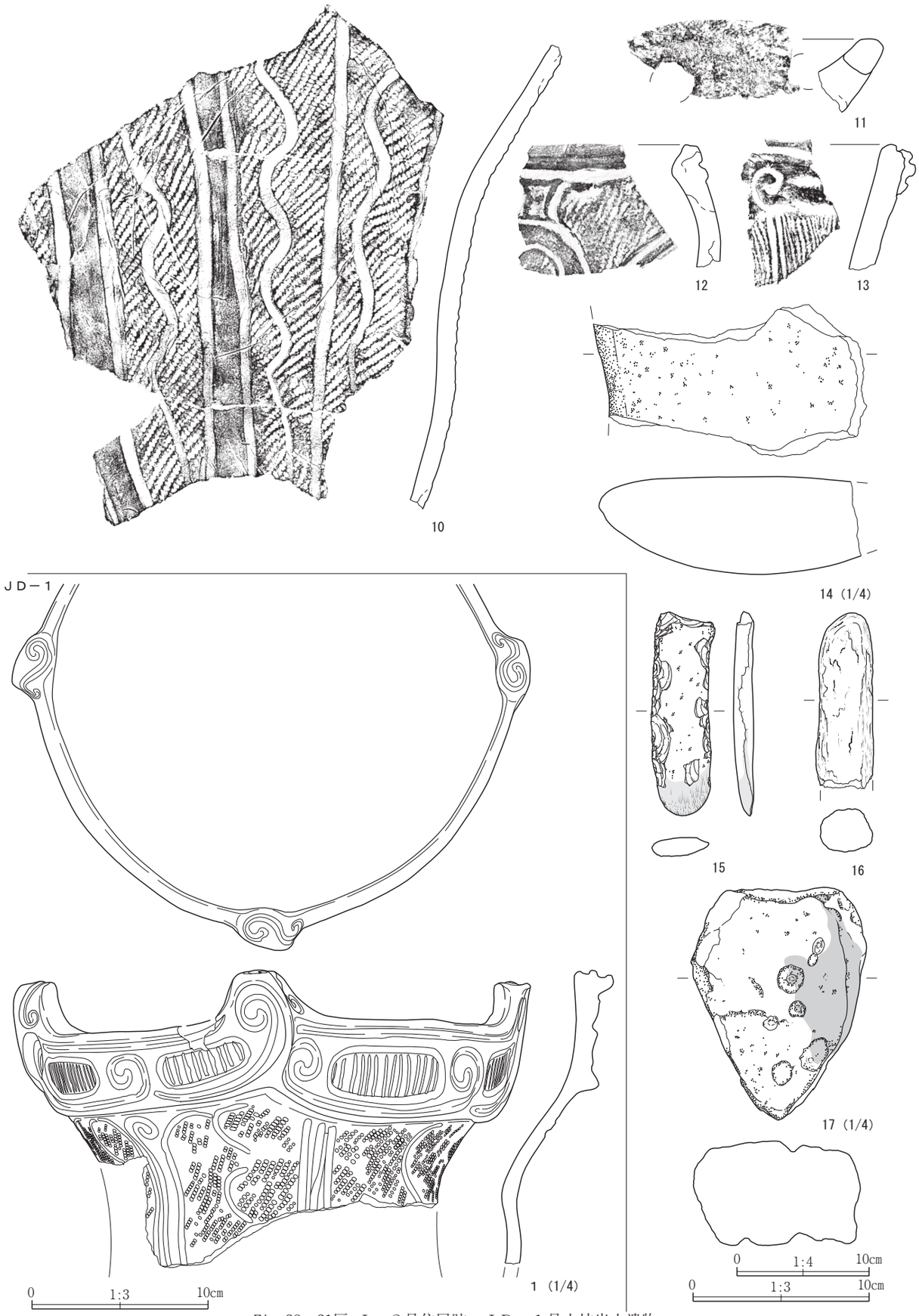


Fig.38　31区　Ｊ－２号住居跡、ＪＤ－１号土坑出土遺物

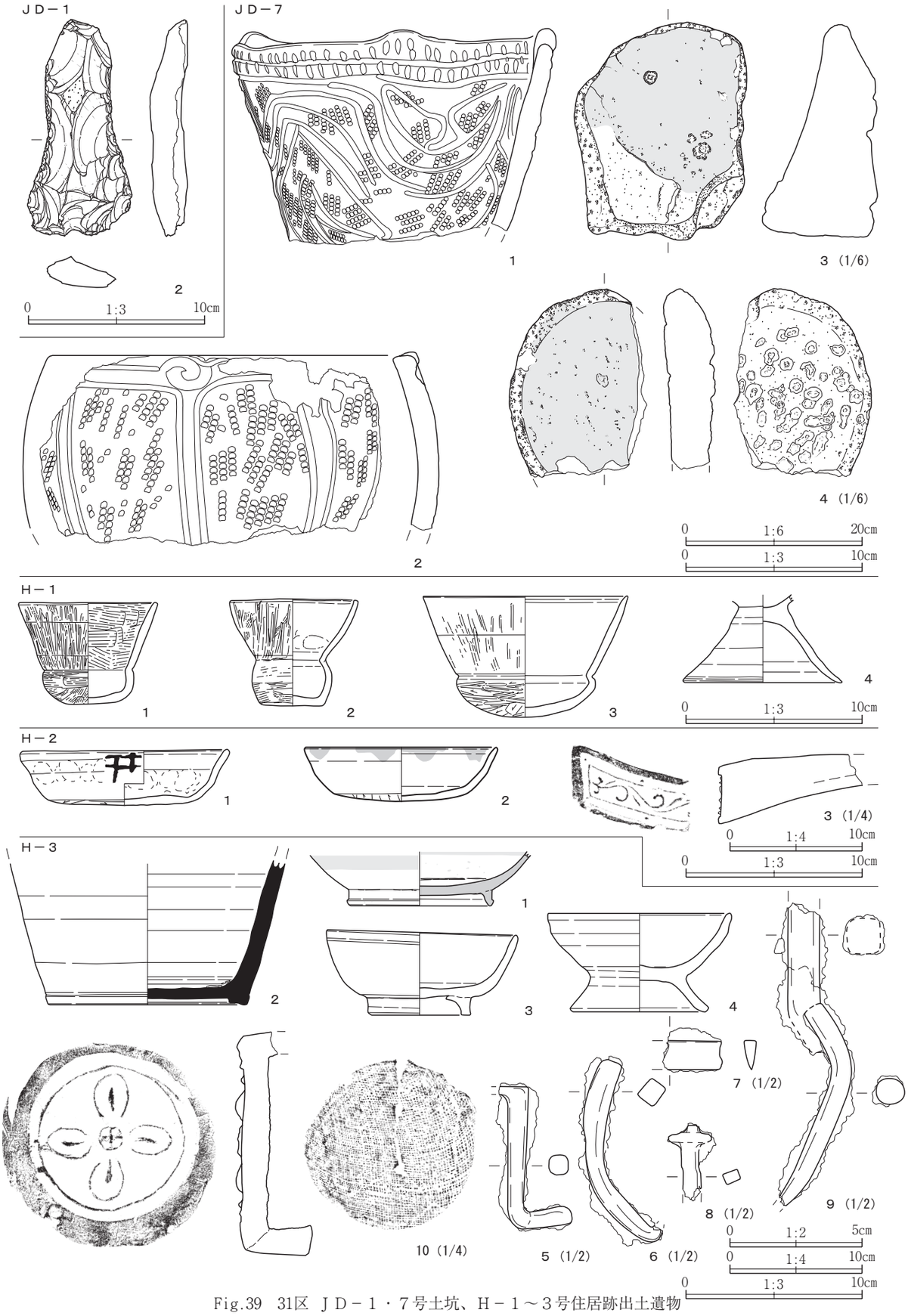


Fig.39　31区　ＪＤ－１・７号土坑、Ｈ－１～３号住居跡出土遺物

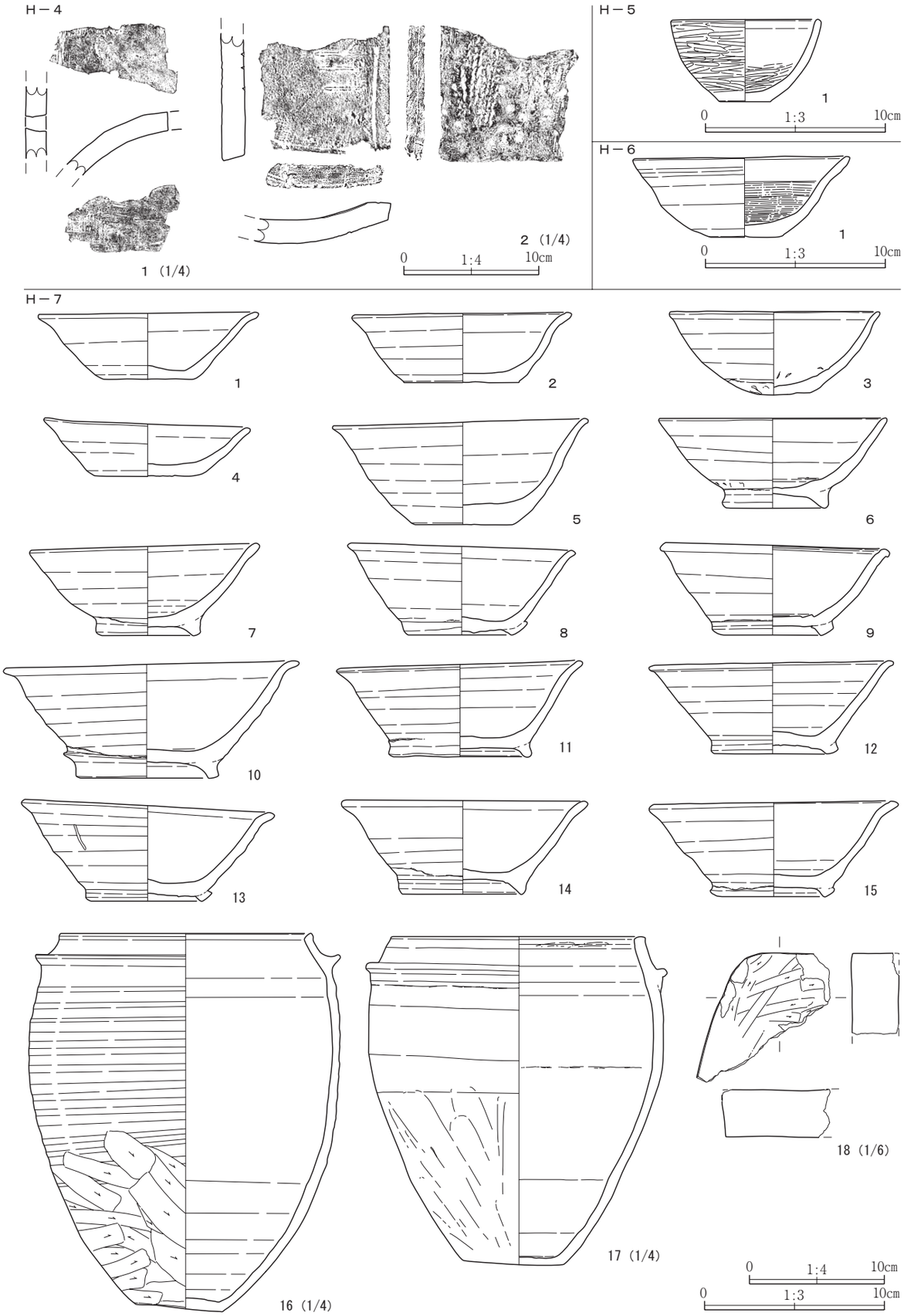


Fig.40　31区 H－4～7号住居跡出土遺物

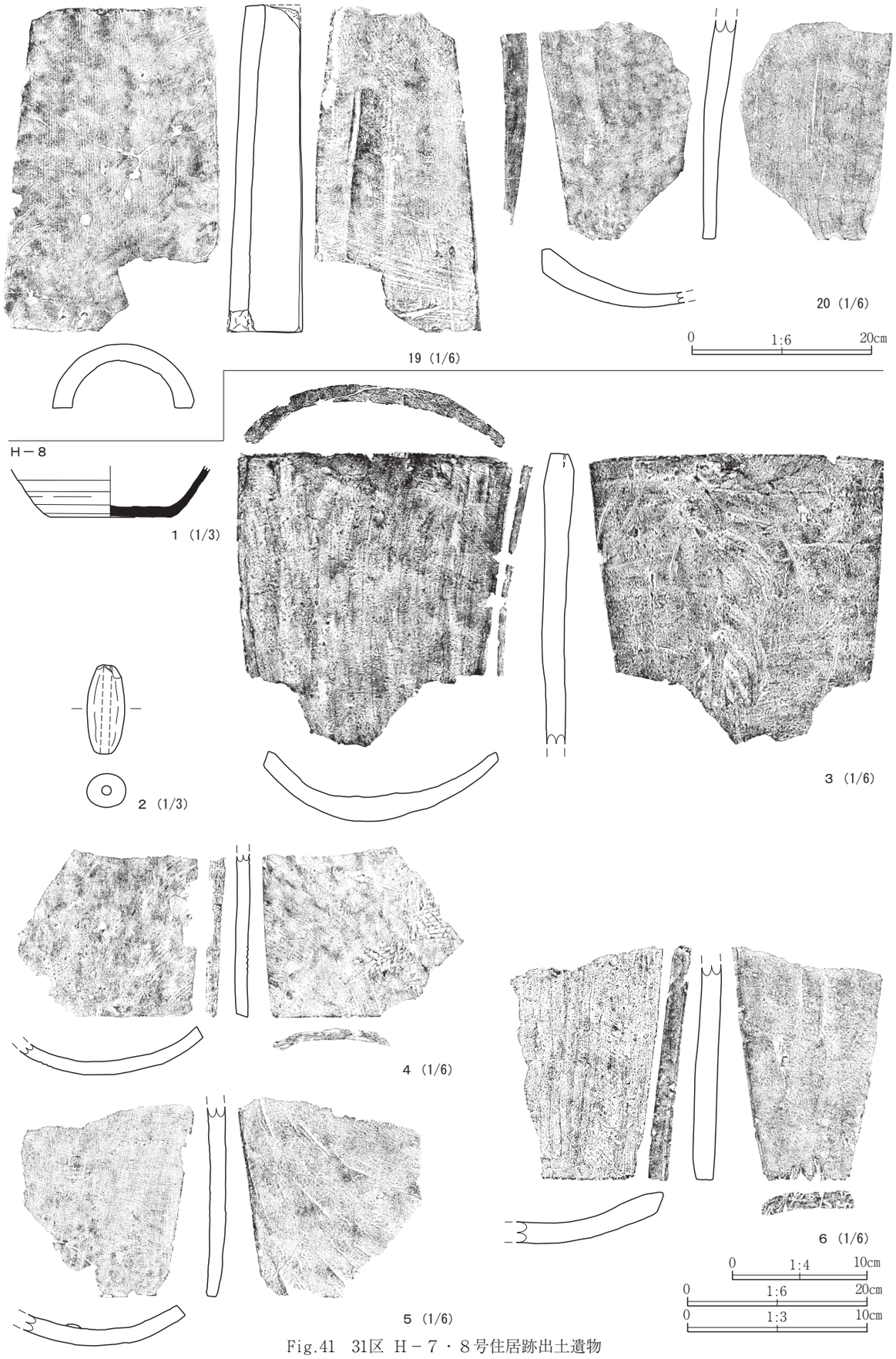


Fig.41　31区 H－7・8号住居跡出土遺物

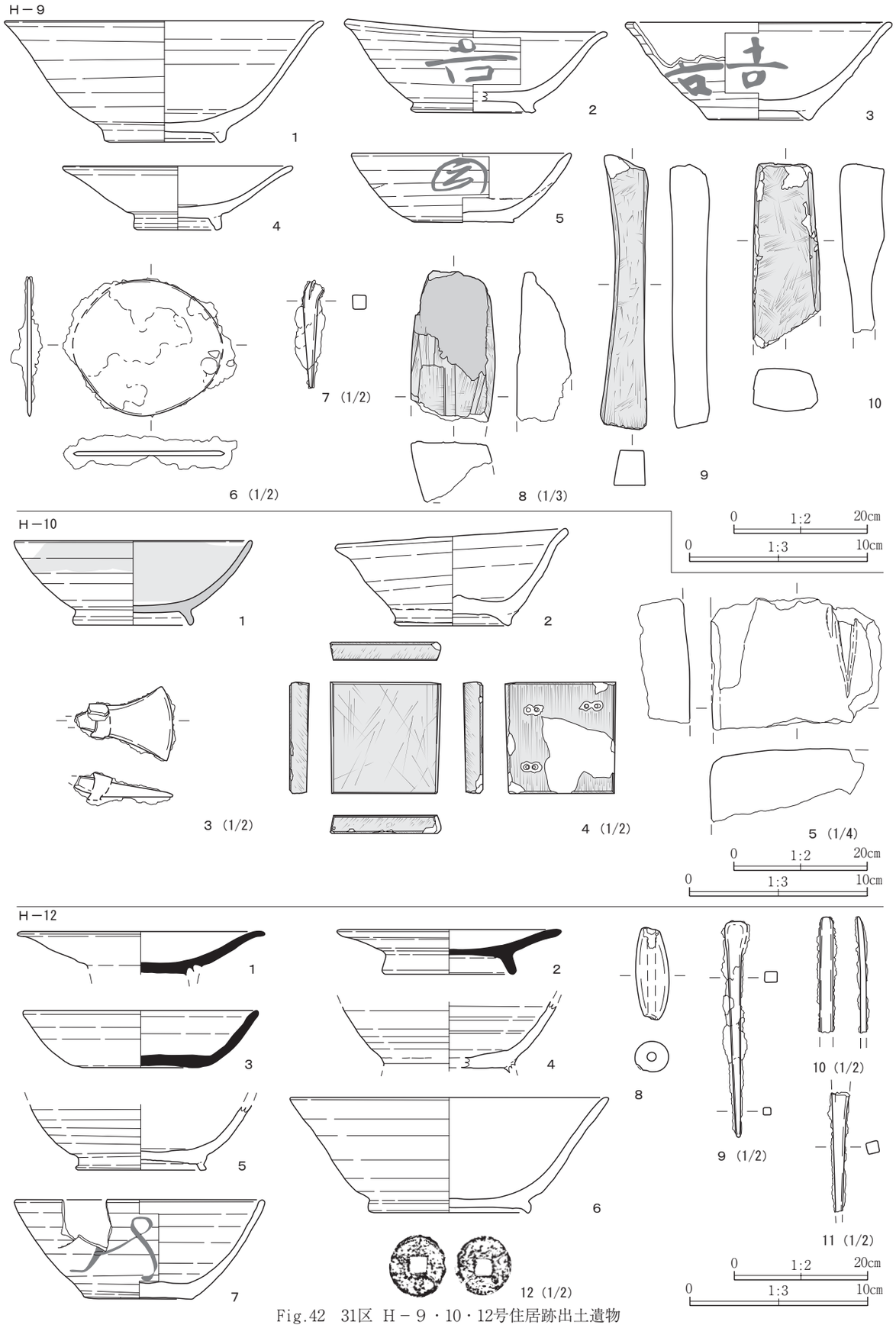


Fig.42　31区 H－9・10・12号住居跡出土遺物

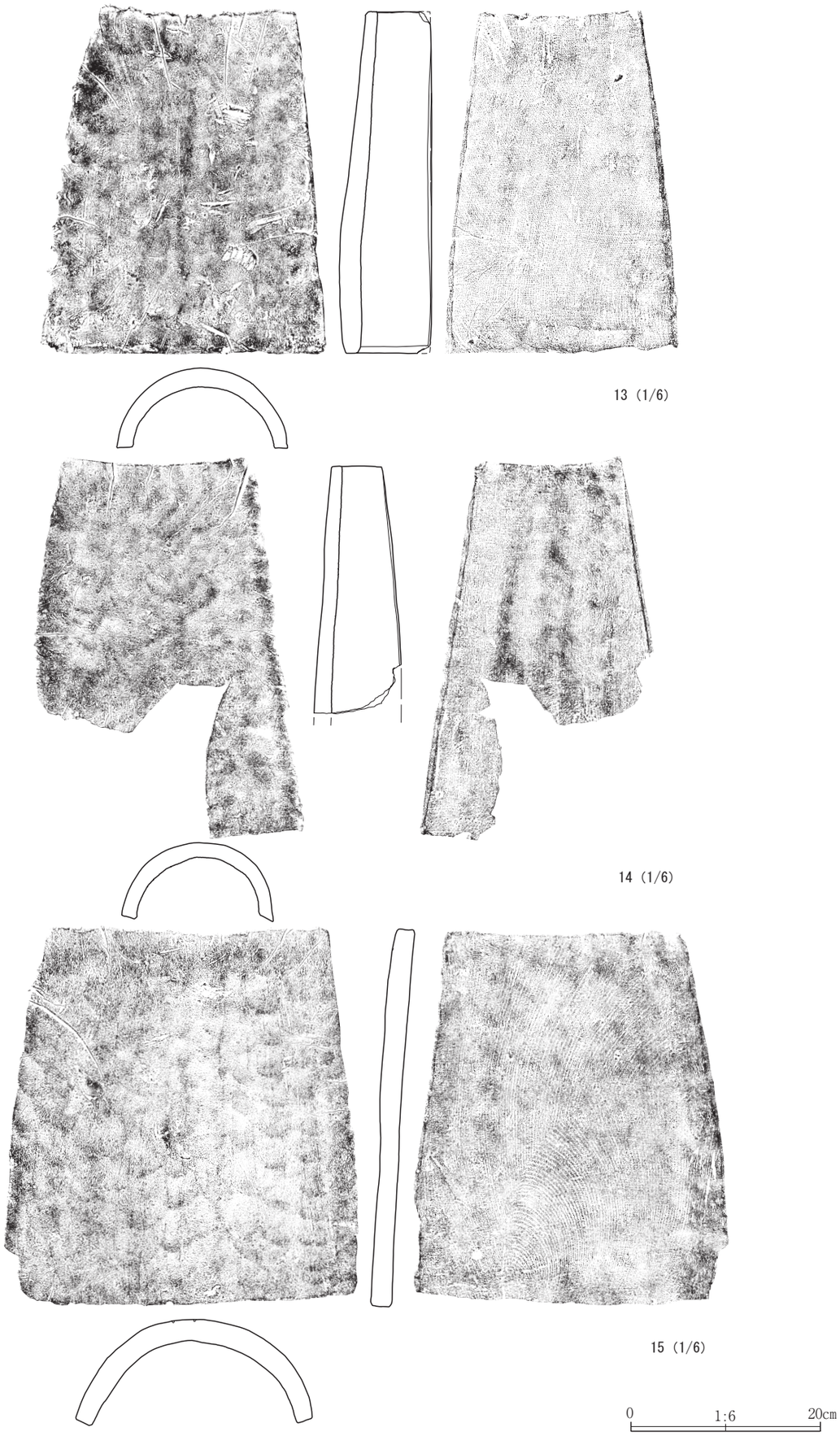


Fig.43　31区 H－12号住居跡出土遺物

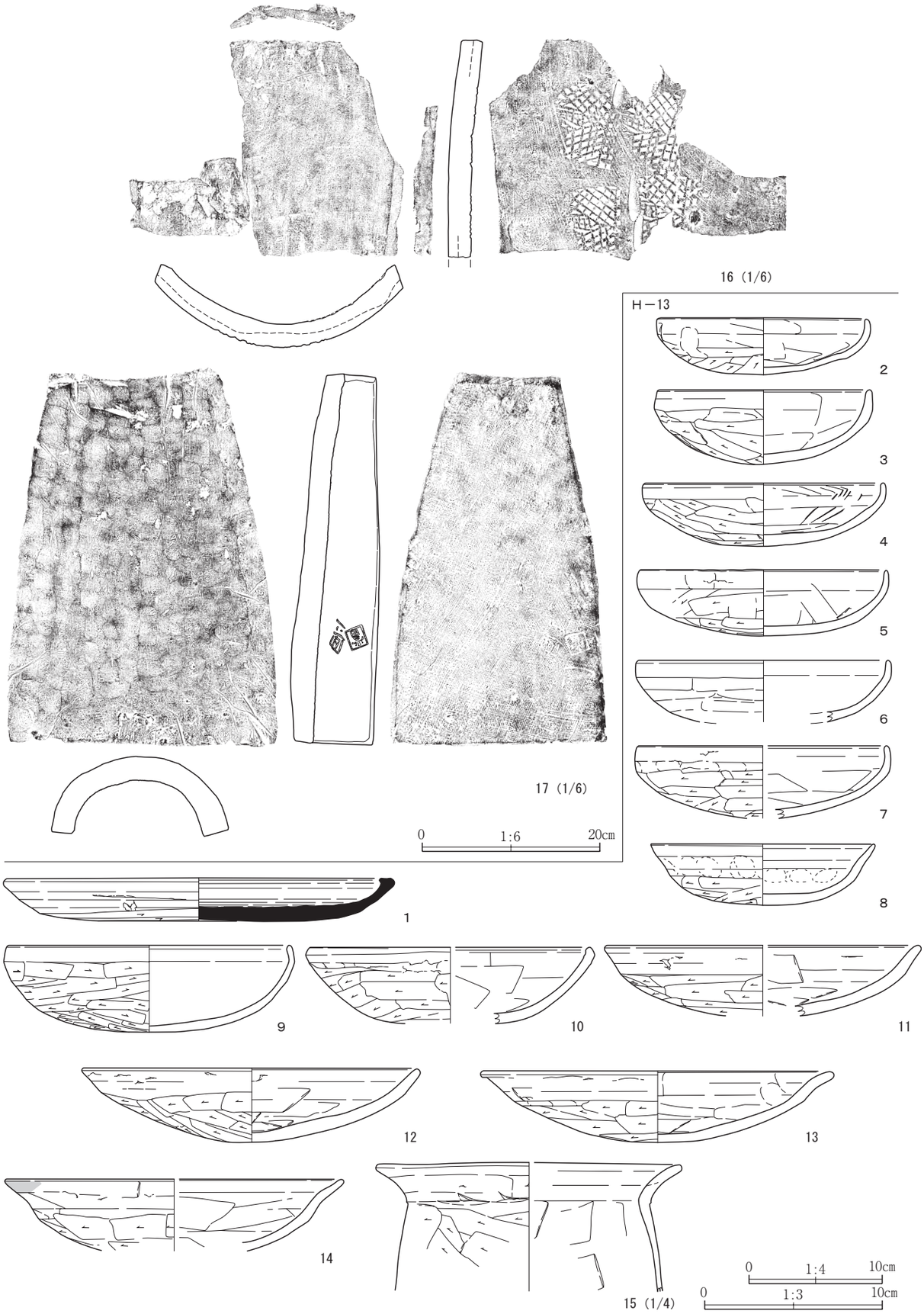


Fig.44　31区 H－12・13号住居跡出土遺物

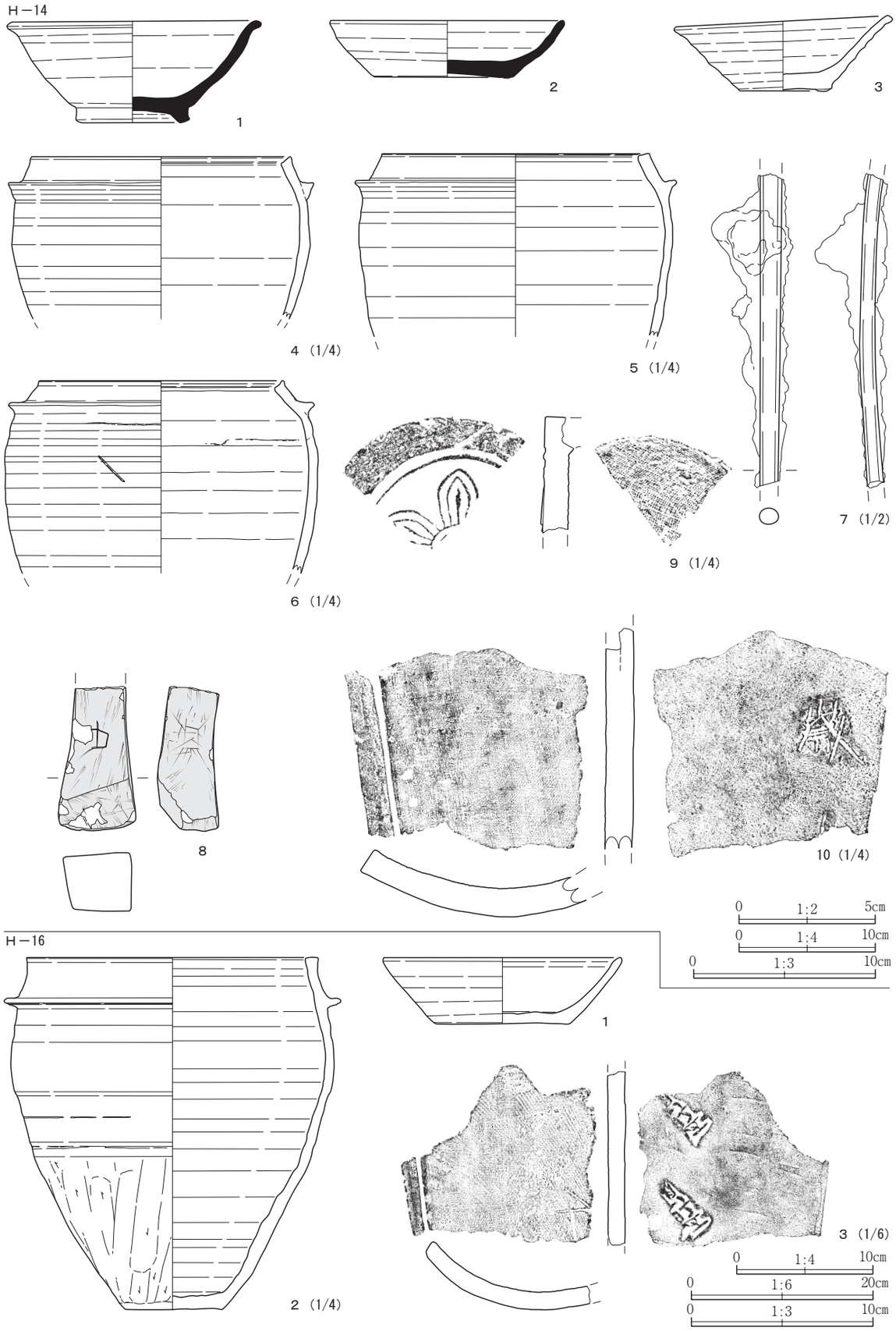


Fig.45　31区 H－14・16号住居跡出土遺物

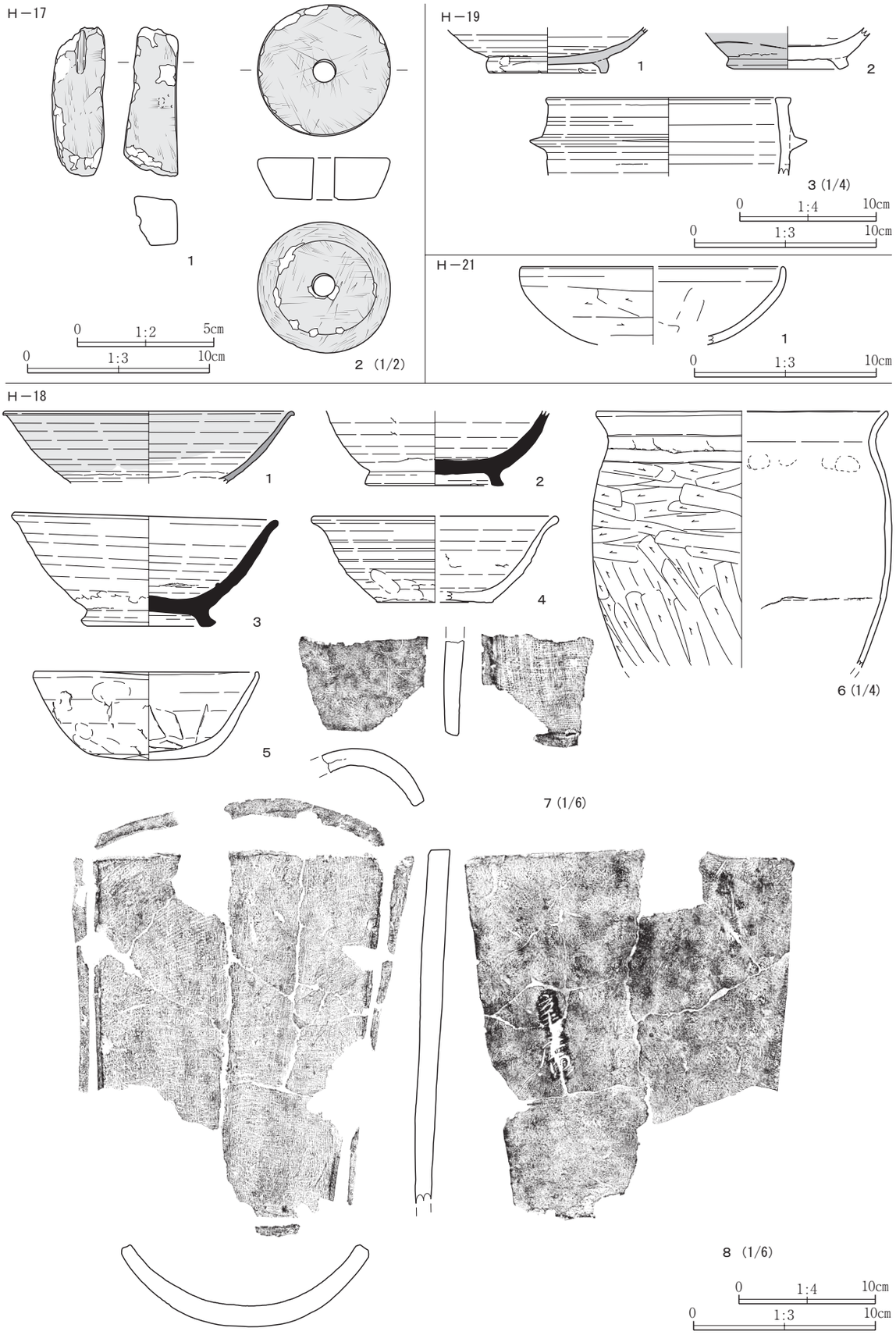


Fig.46　31区 H－17～19・21号住居跡出土遺物

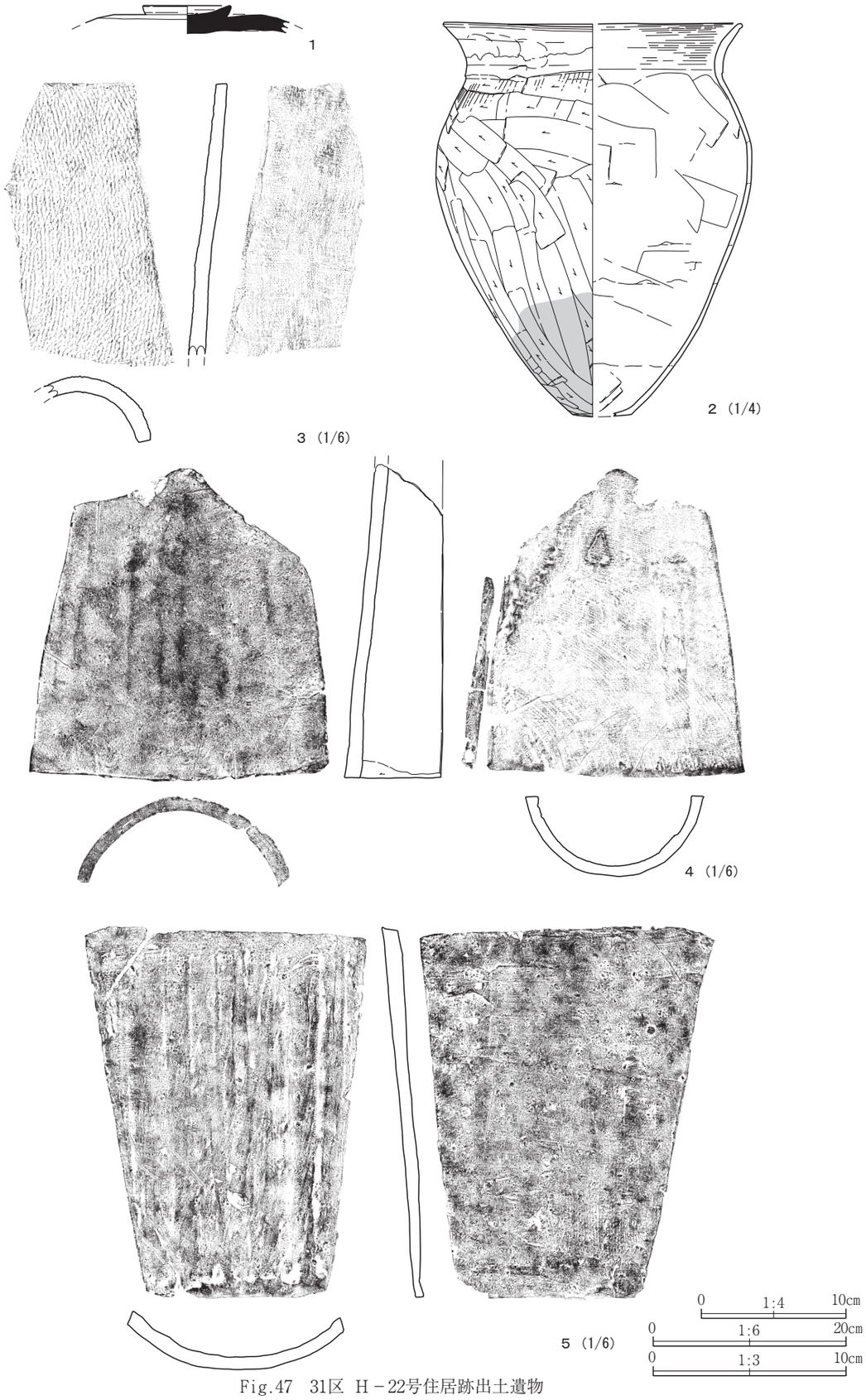


Fig.47　31区 Ｈ－22号住居跡出土遺物

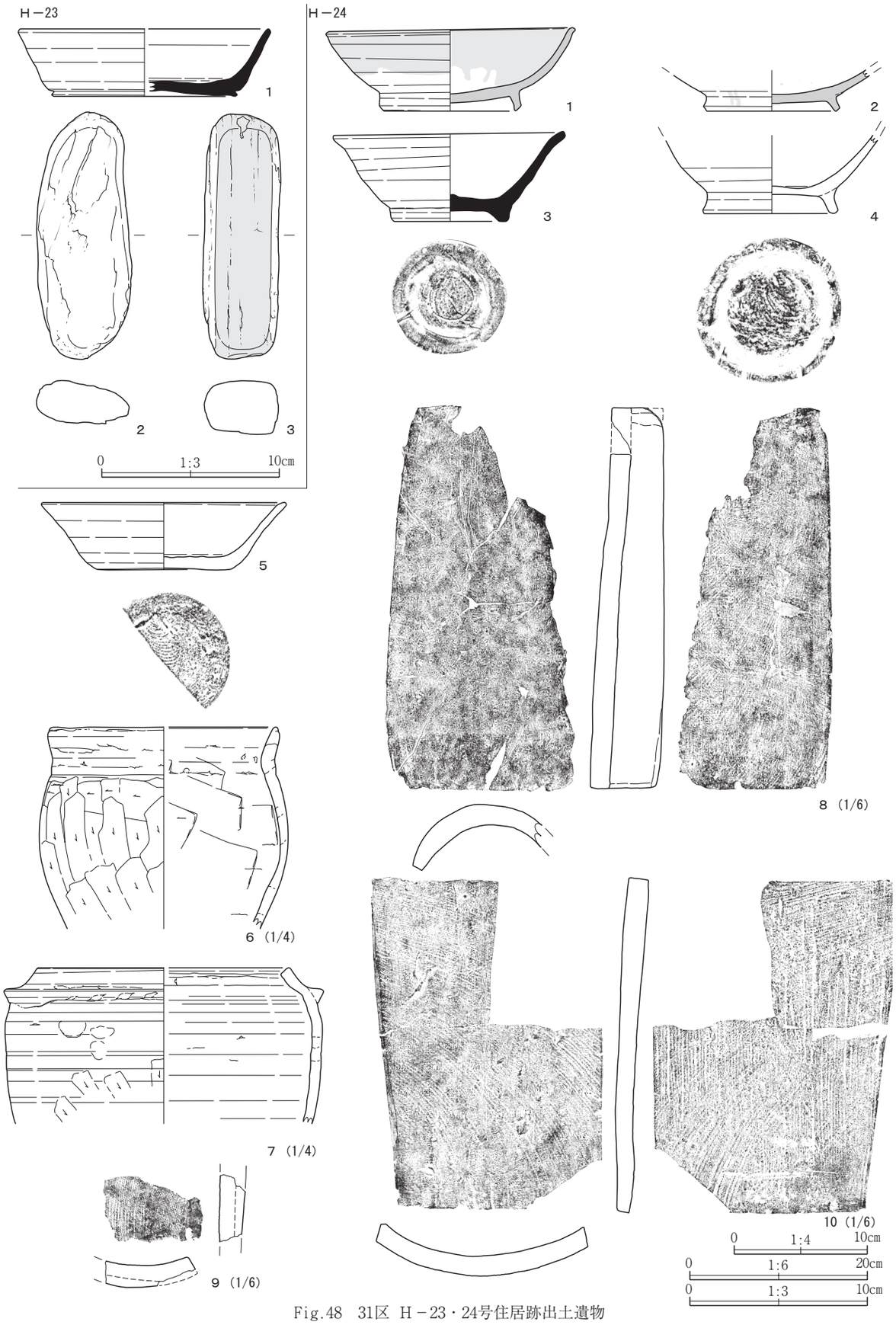


Fig.48　31区 H－23・24号住居跡出土遺物

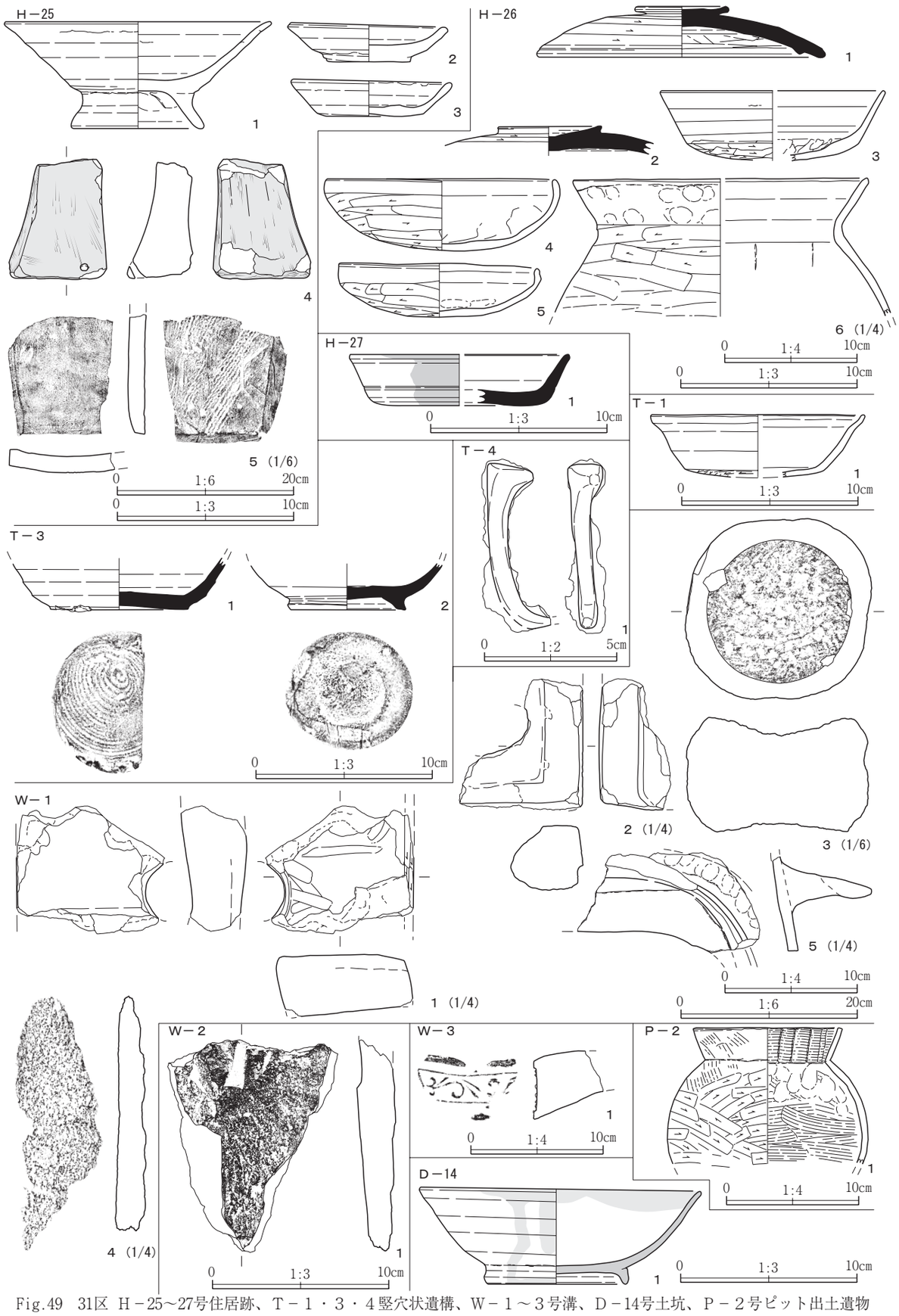


Fig.49　31区 Ｈ－25～27号住居跡、Ｔ－１・３・４竪穴状遺構、Ｗ－１～３号溝、Ｄ－14号土坑、Ｐ－２号ピット出土遺物

Fig.50　31区 遺構外出土遺物

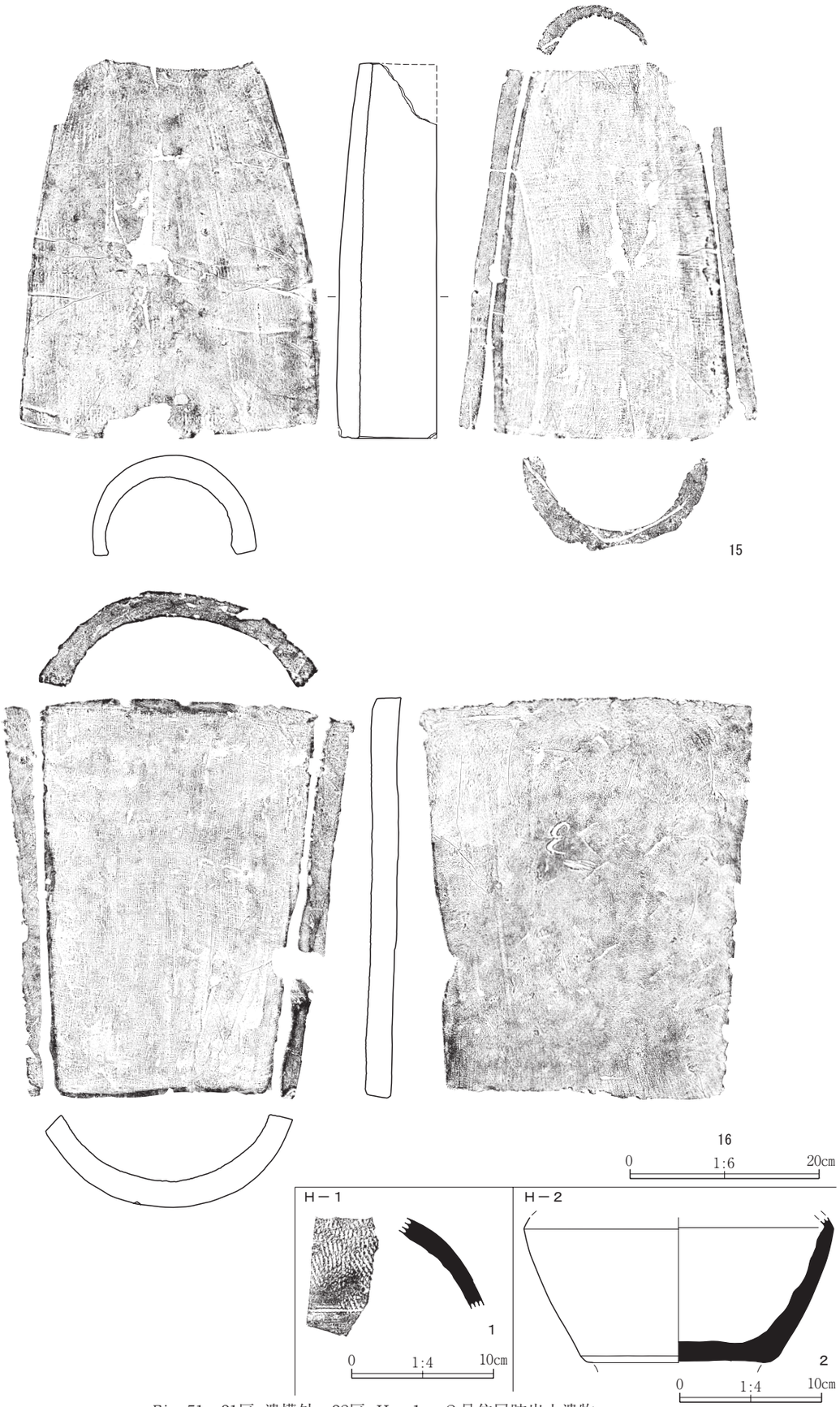


Fig.51　31区 遺構外、32区 Ｈ－１・２号住居跡出土遺物

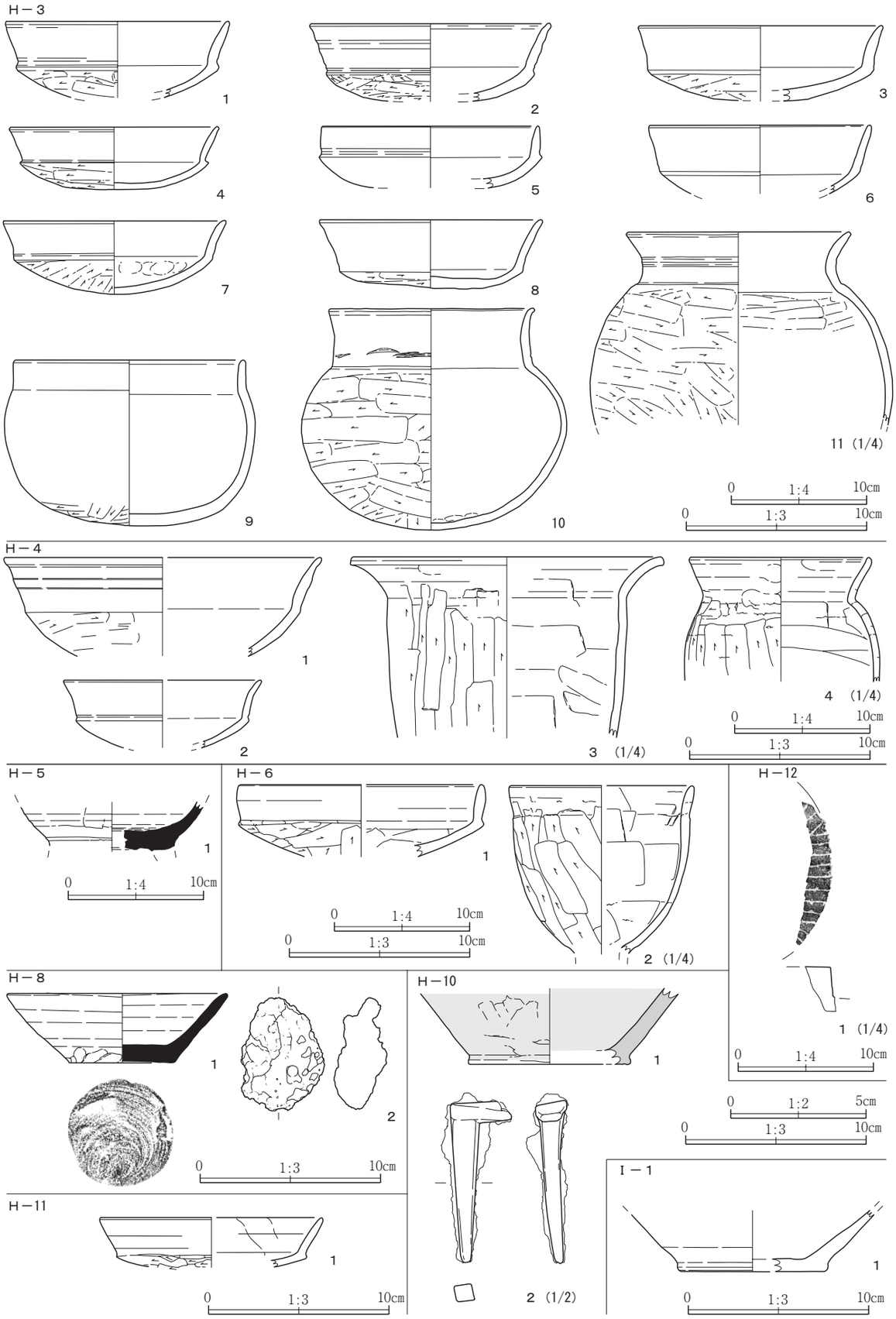


Fig.51　31区 遺構外、32区 H－１～３号住居跡出土遺物

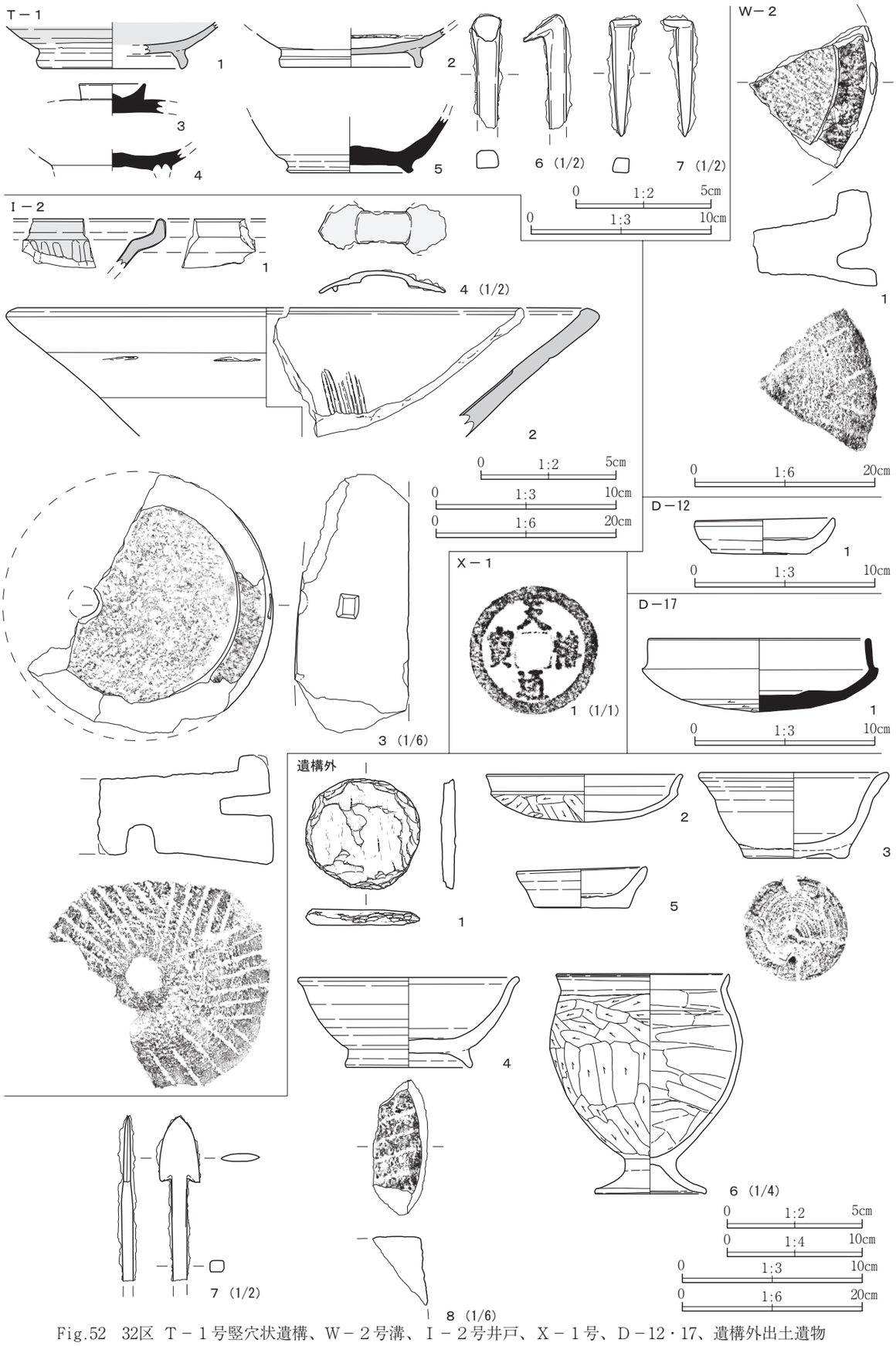
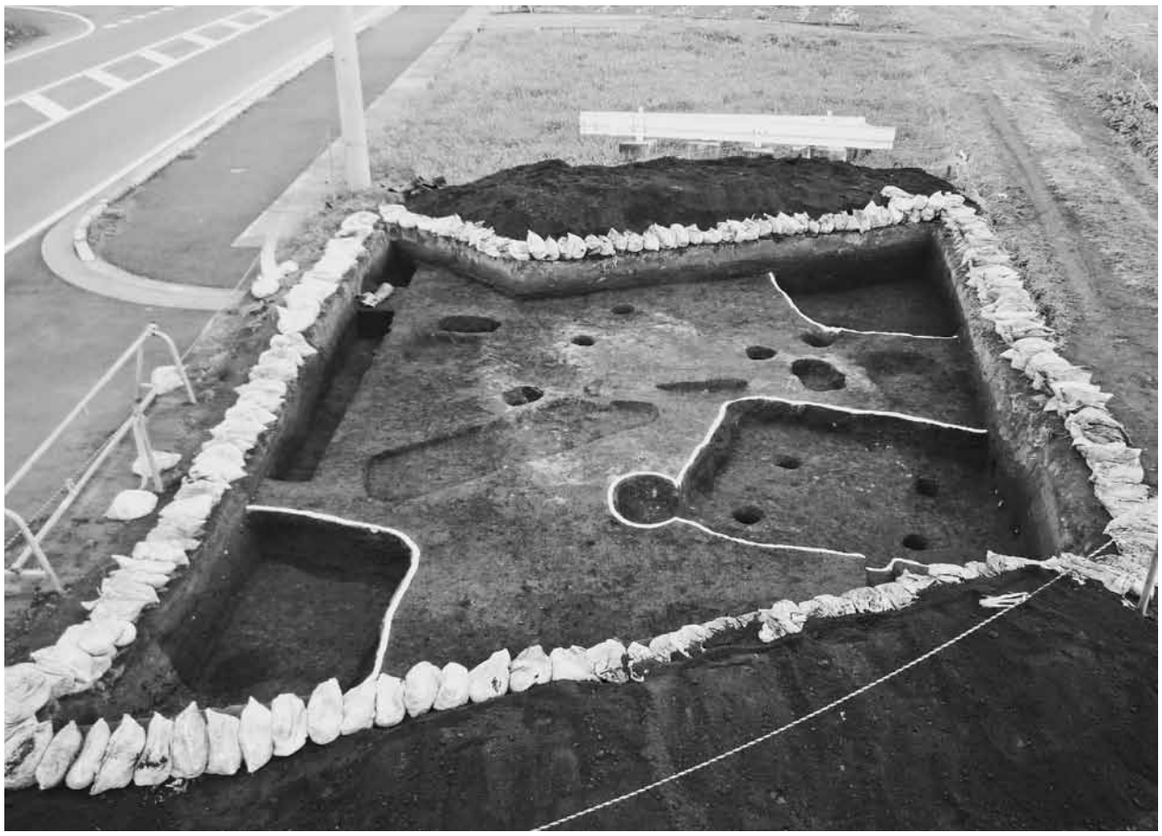


Fig.52　32区　T－1号竪穴状遺構、W－2号溝、I－2号井戸、X－1号、D－12・17、遺構外出土遺物



31区西端部調査区全景（南から）

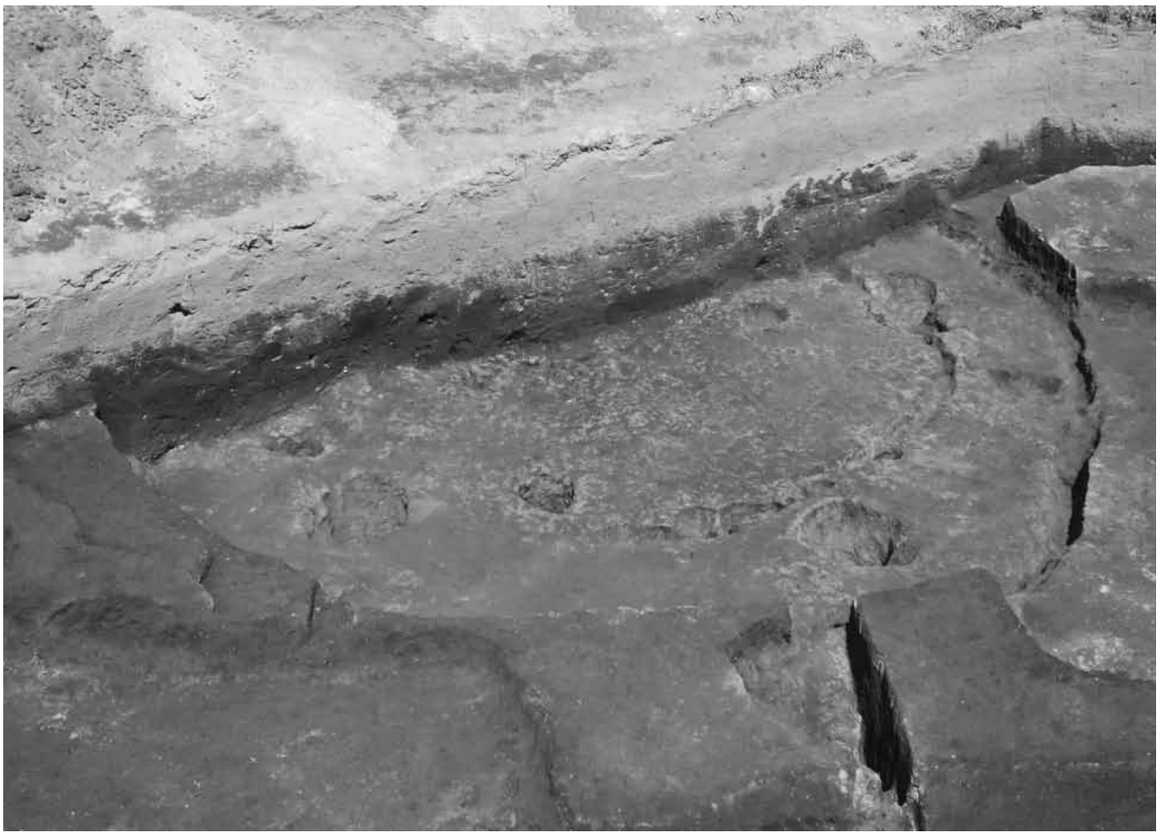
31区西側調査区全景（西から）

31区中央部調査区全景（下が南）

31区東側調査区全景（下が南）

31区西端部　Ｊ－１号住居跡全景（東から）

31区西側　Ｊ－１号住居跡遺物出土状況（西から）



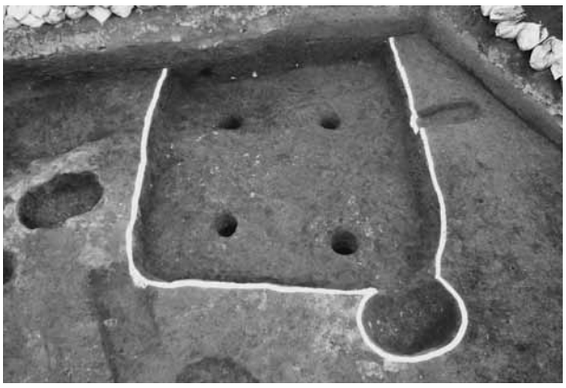
31区西側　Ｊ－２号住居跡全景（南から）

31区西側　Ｊ－２号住居跡炉跡全景（東から）

31区西端部　Ｈ－１号住居跡遺物全景（東から）

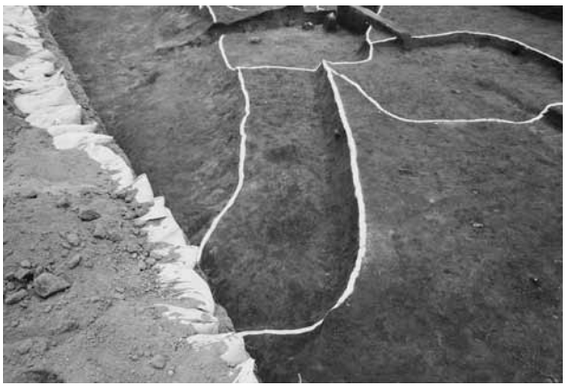
31区西端　Ｈ－１号住居跡断面（南から）

31区西端部　Ｈ－２号住居跡全景（北から）



31区西端部　Ｈ－３号住居跡全景（西から）

31区西端部　Ｈ－４号住居跡全景（南から）



31区西側　Ｈ－５住居跡全景（西から）

31区西側　Ｈ－６・７号住居跡全景（西から）

31区西側　Ｈ－７号住居跡遺物出土状況（西から）

31区西側　Ｈ－８号住居跡全景（西から）

31区西側　Ｈ－８号住居跡遺物出土状況（南西から）

31区西側　Ｈ－９号住居跡全景（西から）

31区西側　Ｈ－10号住居跡全景（西から）

31区西側　Ｈ－11号住居跡全景（東から）

31区西側　Ｈ－12号住居跡全景（西から）

31区西側　H－12号住居跡竈全景（西から）

31区西側　H－12号住居跡貯蔵穴遺物出土状況（西から）

31区中央部　H－13号住居跡遺物出土状況（南から）

31区中央部　H－14号住居跡全景（西から）

31区中央部　H－15・16号住居跡全景（南から）

31区中央部　H－17号住居跡全景（北から）

31区中央部　H－18号住居跡全景（西から）

31区中央部　H－18号住居跡竈全景（西から）

31区中央部　H－19号住居跡全景（北から）

31区東側　H－20号住居跡全景（北東から）

31区東側　H－21号住居跡全景（西から）

31区東側　H－22号住居跡全景（西から）

31区東側　H－22号住居竈遺物出土状況①（北西から）

31区東側　H－22号竈遺物出土状況②（南東から）

31区東側　H－23号住居跡全景（西から）

31区東側　H－24号住居跡全景（西から）

31区東側　Ｈ－24号住居跡遺物出土状況（西から）

31区東側　Ｈ－25号住居跡全景（西から）

31区東側　Ｈ－25号住居跡竈全景（西から）

31区東側　Ｈ－26号住居跡全景（西から）

31区東側　Ｈ－27号住居跡・Ｄ－24号土坑全景（南から）

31区西側　Ｗ－１号溝全景（東から）

31区西側　Ｗ－１号溝断面（西から）

31区東側　Ｗ－７号溝全景（北から）

31区東側　Ｗ－７号溝セクション（北から）

31区西側　Ｐ－１～５、ＪＤ－４検出状況（南から）

31区西側　ＪＤ－５号土坑全景（北から）

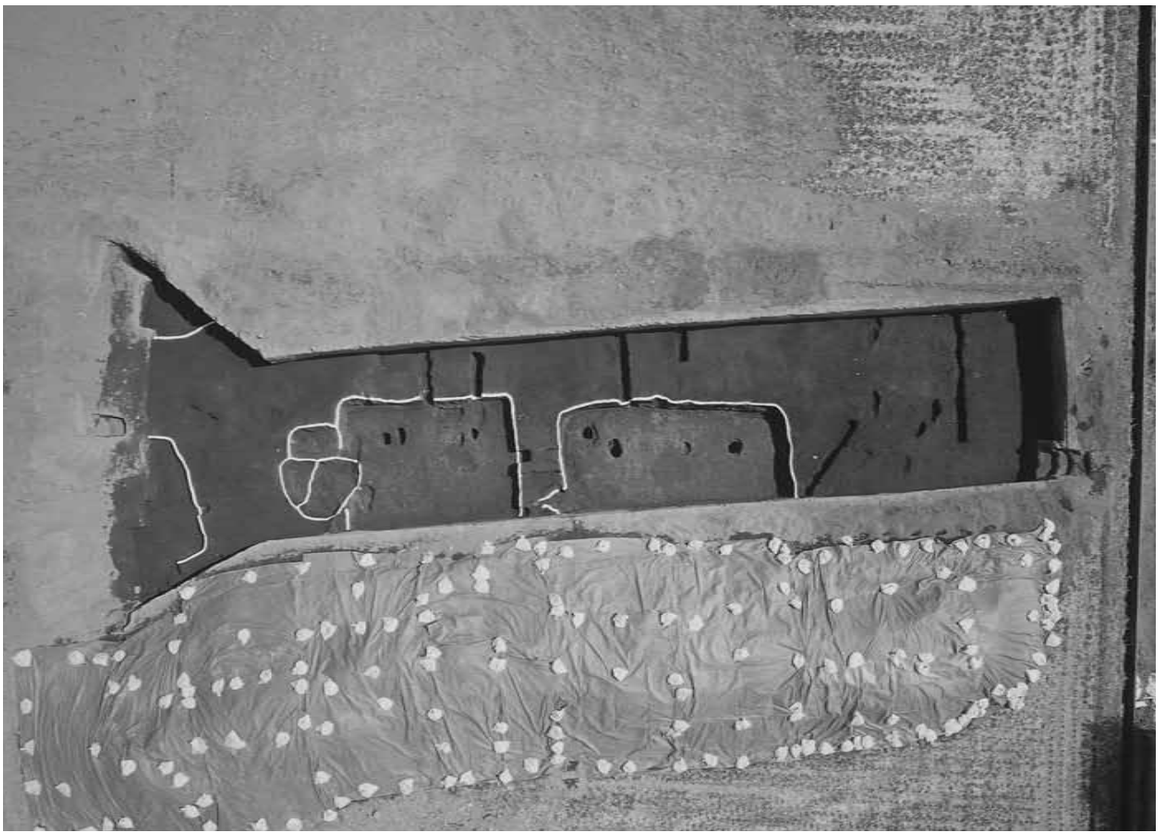
31区西側　ＪＤ－６号土坑全景（北から）

31区東側　ＪＤ－７号土坑全景（東から）

31区東側　ＪＤ－７号土坑遺物出土状況（東から）

31区中央部調査風景（東から）

31区東側調査風景（西から）



32区北側調査区全景（下が西）

32区南側調査区全景（下が西）

32区北側　Ｈ－１号住居跡全景（南から）

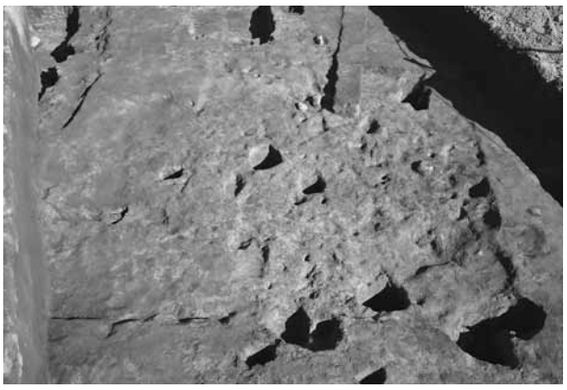
32区北側　Ｈ－２号住居跡全景（南西から）

32区北側　Ｈ－３号住居跡全景（東から）

32区北側　Ｈ－４号住居跡全景（南から）

32区南側　Ｈ－５号住居跡全景（東から）

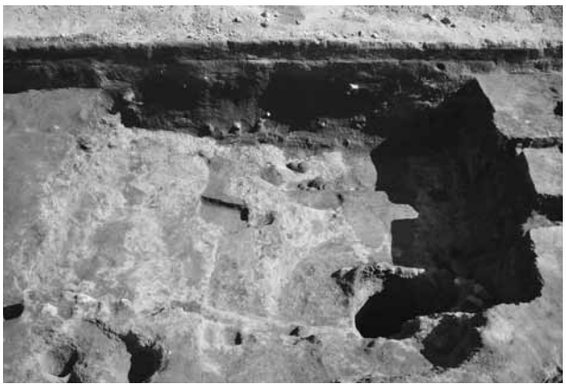
32区南側　Ｈ－６号住居跡全景（西から）



32区南側　Ｈ－７号住居跡全景（南から）

32区南側　Ｈ－8号住居跡全景（南から）

32区南側　Ｈ－９号住居跡全景（西から）



32区南側　Ｈ－10号住居跡全景（西から）

32区南側　Ｈ－11号住居跡全景（東から）

32区南側　Ｈ－12号住居跡全景（東から）

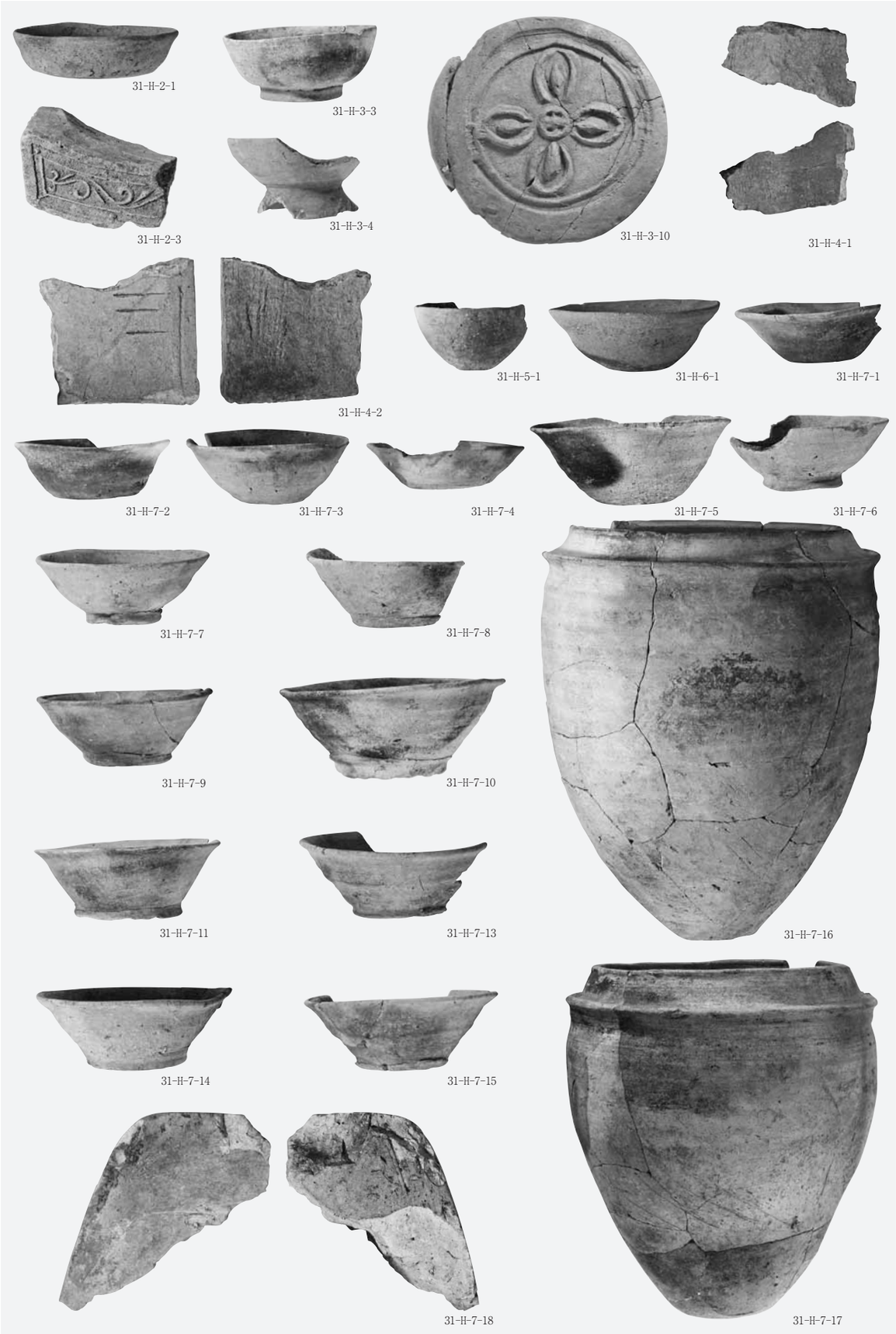
32区南側　Ｗ－１号溝全景（西から）

32区南側　Ｗ－２号溝全景（南から）

32区南側　Ｉ－２号井戸全景（南から）

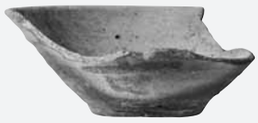
32区南側調査風景（北西から）

31-J-1-1
31-J-2-2
31-J-2-3
31-J-2-4
31-J-1-3
31-J-2-1
31-J-2-5
31-J-2-6
31-J-2-7
31-J-2-8
31-J-2-9
31-JD-1-1
31-J-2-11
31-J-2-12
31-J-2-13
31-H-1-1
31-H-1-2
31-JD-7-1
31-H-1-3
31-JD-7-2
31-H-1-4
31-J-2-10


31-H-2-1
31-H-3-3
31-H-2-3
31-H-3-4
31-H-3-10
31-H-4-1
31-H-4-2
31-H-5-1
31-H-6-1
31-H-7-1
31-H-7-2
31-H-7-3
31-H-7-4
31-H-7-5
31-H-7-6
31-H-7-7
31-H-7-8
31-H-7-9
31-H-7-10
31-H-7-11
31-H-7-13
31-H-7-16
31-H-7-14
31-H-7-15
31-H-7-18
31-H-7-17

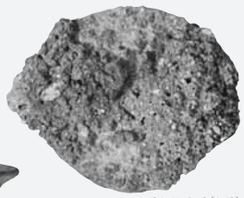
31-H-9-1

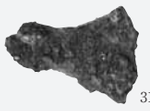
31-H-9-2


31-H-9-3

31-H-9-4

31-H-9-5


31-H-9-6(1/2)


31-H-10-3(1/2)

31-H-10-1

31-H-10-2

31-H-10-4(1/2)

31-H-12-2

31-H-12-3

31-H-12-6

31-H-12-7

31-H-12-9(1/2)

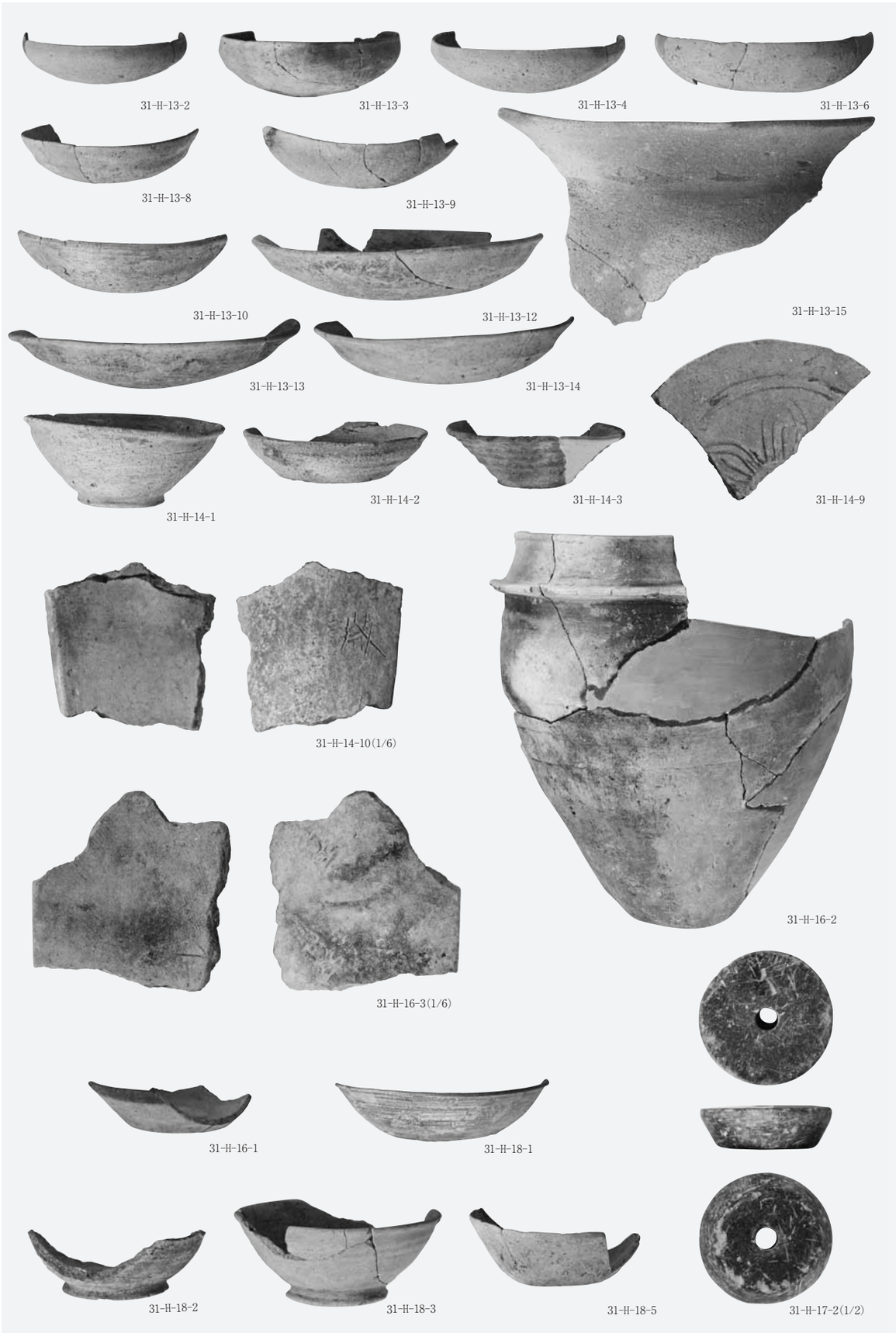
31-H-12-11

31-H-12-15

31-H-12-12(1/1)

31-H-12-13(1/6)

31-H-12-17(1/6)


31-H-13-2
31-H-13-3
31-H-13-4
31-H-13-6
31-H-13-8
31-H-13-9
31-H-13-15
31-H-13-10
31-H-13-12
31-H-13-13
31-H-13-14
31-H-14-1
31-H-14-2
31-H-14-3
31-H-14-9
31-H-14-10(1/6)
31-H-16-2
31-H-16-3(1/6)
31-H-16-1
31-H-18-1
31-H-18-2
31-H-18-3
31-H-18-5
31-H-17-2(1/2)

31-H-18-8(1/6)

31-H-23-1

31-H-23-2

31-H-23-3

31-H-22-2

31-H-22-4

31-H-24-1

31-H-24-3

31-H-24-5

31-H-22-5(1/6)

31-H-24-6

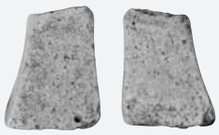
31-H-24-7

31-H-24-8(1/6)

31-H-24-9

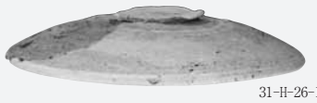
31-H-25-1

31-H-25-2



31-H-25-4

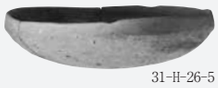
31-H-25-3



31-H-26-1

31-H-26-3

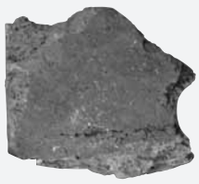
31-H-26-4



31-H-26-5

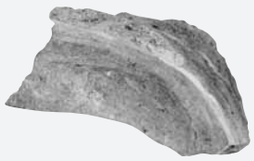
31-H-24-10(1/6)

31-H-26-6



31-W-1-1

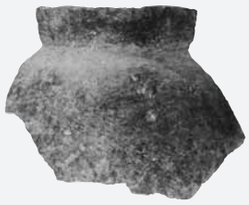
31-W-1-2



31-W-1-5

31-W-1-3

31-W-1-4



31-P-2-1

31-遺構外-1

31-遺構外-2

31-遺構外-3

31-遺構外-4

31-遺構外-5

31-遺構外-6

31-遺構外-7

31-遺構外-8

31-遺構外-9

31-遺構外-10

31-遺構外-11

31-遺構外-12(1/2)

31-遺構外-14(1/6)

32-H-3-2

32-H-3-7

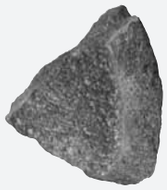
32-H-3-11

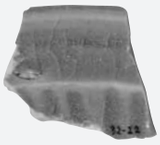
31-遺構外-16(1/6)

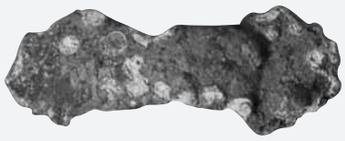
32-H-3-10

32-H-4-1

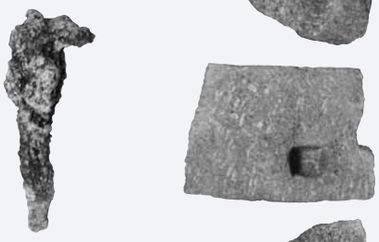
32-H-6-1




32-I-2-1(1/2)

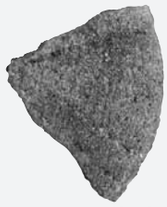


32-I-2-4(1/1)


32-H-10-2(1/2)

32-D-12-1

32-D-17-1


32-W-2-1(1/6)

32-X-1-1(1/1)

32-遺構外-1(1/2)

32-遺構外-4

32-I-2-3(1/6)

32-遺構外-6

32-遺構外-7(1/2)

報 告 書 抄 録

フ リ ガ ナ	モトソウジャオウミイセキグン（24）
書　　名	元総社蒼海遺跡群（24）
副 書 名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
編 著 者 名	山下歳信・前田和昭
編 集 機 関	技研測量設計株式会社
発 行 機 関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
発行機関所在地	前橋市三俣町二丁目10-２
発 行 年 月 日	西暦2009年３月19日

フリガナ	フ リ ガ ナ	コ ー ド		位 置		調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所 在 地	市町村	遺跡番号	北緯	東経			
モトソウジャオウミイセキグン 元総社蒼海遺跡群 （24）	マエバシシモトソウジャマチ 前橋市元総社町 1715-2ほか	10201	20A130-24	36°23'25"	139°01'52"	20090106 20090211	約1,665㎡	前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特記事項
元総社蒼海遺跡群 （24）	集落跡	縄文時代 古墳時代 奈良・平安時代 中世	竪穴住居跡２軒、土坑７基 竪穴住居跡５軒 竪穴住居跡27軒 竪穴状遺構６軒 溝跡７条、土坑64基 方形竪穴５軒、井戸２基、溝４条	縄文土器、石器 土師器、須恵器 土師器、須恵器、灰釉陶器 鉄製品、石製品、皇朝十二銭 銅製品、石製品、北宋銭	

元 総 社 蒼 海 遺 跡 群（24）

2009年３月16日　印刷
2009年３月19日　発行

発　　行　　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三俣町２丁目10-２
TEL　027-231-9531

印　　刷　　朝日印刷工業株式会社
前橋市元総社町67